

令和 6 年度

決算に係る主要な施策の 成果に関する実績報告書

一般会計

国民健康保険特別会計

水道事業会計

下水道事業会計

病院事業会計



八幡平市
Hachimantai City

目 次

一般会計

1 款 議 会 費	・ ・ ・ ・ ・	1
2 款 総 務 費	・ ・ ・ ・ ・	2
3 款 民 生 費	・ ・ ・ ・ ・	19
4 款 衛 生 費	・ ・ ・ ・ ・	35
5 款 労 働 費	・ ・ ・ ・ ・	45
6 款 農林水産業費	・ ・ ・ ・ ・	46
7 款 商 工 費	・ ・ ・ ・ ・	59
8 款 土 木 費	・ ・ ・ ・ ・	67
9 款 消 防 費	・ ・ ・ ・ ・	76
10 款 教 育 費	・ ・ ・ ・ ・	81

特別会計

国民健康保険特別会計	・ ・ ・ ・ ・	99
------------	-----------	----

公営企業会計

水道事業会計	・ ・ ・ ・ ・	102
下水道事業会計	・ ・ ・ ・ ・	106
病院事業会計	・ ・ ・ ・ ・	111

令和6年度決算に係る主要な施策の成果に関する実績報告書について

本実績報告書は、主な事務事業の実績をまとめたものであることから、事業名や金額が決算書と一致していない場合があります。各項目の意味については、下記を参照してください。

事務事業名		総合計画上の位置付け		所管課 (下段括弧書きは旧所管課)	
令和 6 年度 主要事業実績報告書					
事務事業名	議会運営事務			所管課	議会事務局
基本目標	6	社会基盤の整備と行政経営の方針			
施策	24	協働による行政経営			
				決算額(千円)	5,122
				予算事業名	
一般会計	款	01	議会費	項	01
目	01	議会費	事業	000400	議会運営費
事務事業の目的	(1)対象(誰、何に対して事業を行うのですか?)			◆対象指標(上段:予算要求時点、下段:決算時点)	
	①議員			①	議員の数
	②市民				17人
	(2)意図(この事業により対象をどのような状態にした)			23,581人	
	①他市町村の所管事務調査			22,949人	
	②会議の記録の保存				
	(3)指標以外に考えられる成果			◆成果(活動)指標(上段:計画値、下段:実績値)	
	・議会活動の活性化			①	所管事務調査件数
	・市民が正確な情報を得ることができる。				4件
	・議員の資質の向上				6件
・正確な会議録を保存する。			②	議会、委員会開催日数	
・広く情報提供することで、八幡平市の議会活動に関心及び理解を得る。				120日	
				100日	
事業概要					
◆議会改革等に係る講師を招いて研修会を実施した。 ◆定例会、臨時会、各常任委員会等を開催した。 ◆総務教育常任委員会及び産業民生常任委員会の所管事務調査を実施した。 ◆市議会本会議及び予算・決算特別委員会の会議の発言と会議経過を記録し、保持するとともに、各総合支所や図書館等公共の施設に閲覧用として配置し、市民等に情報を提供した。また、市ホームページにデータで公開し、不特定多数に広く情報を提供した。 ◆タブレット端末を活用し、ペーパーレス化の推進、情報伝達のスピードアップ、議会活動の効率化を図った。					
【事業評価】 振り返り結果から見た改革改善策の具体的内容					
改革改善の内容	☐ (1)目的妥当性 ☒ (2)有効性 ☒ (3)効率性 ☐ (4)公正・公平性 ☐ (5)市民協働 有効性:職員も研修や情報収集に努め、議会活動が活発に行われるよう補助していく。 効率性:反訳システム導入に向けて検討していく。				

成果指標及び事業の実績を踏まえて、改革改善の必要な事業については、項目ごとにその内容について記載しています。

一 般 会 計

議 会 費	・ ・ ・ ・ ・	1
総 務 費	・ ・ ・ ・ ・	2
民 生 費	・ ・ ・ ・ ・	19
衛 生 費	・ ・ ・ ・ ・	35
労 働 費	・ ・ ・ ・ ・	45
農林水産業費	・ ・ ・ ・ ・	46
商 工 費	・ ・ ・ ・ ・	59
土 木 費	・ ・ ・ ・ ・	67
消 防 費	・ ・ ・ ・ ・	76
教 育 費	・ ・ ・ ・ ・	81

令和 6 年度 主要事業実績報告書

事務事業名	議会運営事務		
基本目標	6	社会基盤の整備と行政経営の方針	
施策	24	協働による行政経営	

所管課	議会事務局
決算額(千円)	5,122

一般会計		款	01	議会費	項	01	議会費
目	01	議会費	事業	000400	議会運営費		
事務事業の目的	(1)対象(誰、何に対して事業を行うのですか?)				◆対象指標(上段:予算要求時点、下段:決算時点)		
	①議員				①	議員の数	17人
	②市民						17人
	(2)意図(この事業により対象をどのような状態にしたいのですか?)				②	人口	23,581人
	①他市町村の所管事務調査						22,949人
	②会議の記録の保存				◆成果(活動)指標(上段:計画値、下段:実績値)		
目的	(3)指標以外に考えられる成果				①	所管事務調査件数	4件
	・議会活動の活性化						6件
	・市民が正確な情報を得ることができる。				②	議会、委員会開催日数	120日
	・議員の資質の向上						100日
・議員の資質の向上							
・広く情報提供することで、八幡平市の議会活動に関心及び理解を得る。							
事業概要							
◆議会改革等に係る講師を招いて研修会を実施した。 ◆定例会、臨時会、各常任委員会等を開催した。 ◆総務教育常任委員会及び産業民生常任委員会の所管事務調査を実施した。 ◆市議会本会議及び予算・決算特別委員会の会議の発言と会議経過を記録し、保持するとともに、各総合支所や図書館等公共の施設に閲覧用として配置し、市民等に情報を提供した。また、市ホームページにデータで公開し、不特定多数に広く情報を提供した。 ◆タブレット端末を活用し、ペーパーレス化の推進、情報伝達のスピードアップ、議会活動の効率化を図った。							
【事業評価】 振り返り結果から見た改革改善策の具体的内容							
改革改善の内容		☐ (1)目的妥当性 ☒ (2)有効性 ☒ (3)効率性 ☐ (4)公正・公平性 ☐ (5)市民協働 有効性:職員も研修や情報収集に努め、議会活動が活発に行われるよう補助していく。 効率性:反訳システム導入に向けて検討していく。					

事務事業名	政務調査活動		
基本目標	6	社会基盤の整備と行政経営の方針	
施策	24	協働による行政経営	

所管課	議会事務局
決算額(千円)	3,417

一般会計		款	01	議会費	項	01	議会費
目	01	議会費	事業	000400	議会運営費		
事務事業の目的	(1)対象(誰、何に対して事業を行うのですか?)				◆対象指標(上段:予算要求時点、下段:決算時点)		
	市議会議員				①	政務活動費交付議員数	17人
	(2)意図(この事業により対象をどのような状態にしたいのですか?)				②		
	・議員活動を充実させる。				◆成果(活動)指標(上段:計画値、下段:実績値)		
	・市民の考えや他市町村の先進事例などを市政に反映させる。				①	研修先箇所数	12件
	(3)指標以外に考えられる成果						6件
目的	・議会活動の活性化				②	政務活動費の使用率	100%
	・議員の資質の向上						83.75%
事業概要							
◆議員の調査研究その他の活動に資するため、政務活動費を交付した。 ◆議員から提出された政務活動費交付額に対する収支報告書の内容を審査し交付金の精算を行った。 ◆交付金の精算後、市長に対し収支報告書の写しを送付した。 ◆提出された政務活動費収支報告書を市ホームページ、議会広報等で公開した。							
【事業評価】 振り返り結果から見た改革改善策の具体的内容							
改革改善の内容		☐ (1)目的妥当性 ☐ (2)有効性 ☐ (3)効率性 ☐ (4)公正・公平性 ☐ (5)市民協働					

令和 6 年度 主要事業実績報告書

事務事業名	人材育成事業	
基本目標	6	社会基盤の整備と行政経営の方針
施策	24	協働による行政経営

所管課	総務課
決算額(千円)	6,301

一般会計			款	02	総務費		項	01	総務管理費	
目	01	一般管理費		事業	000400		人材育成事業			
事業 事業 の 目 的	(1)対象(誰、何に対して事業を行うのですか?)						◆対象指標(上段:予算要求時点、下段:決算時点)			
	①職員						①	職員数	369人	
									357人	
	(2)意図(この事業により対象をどのような状態にしたいのですか?)						②			
	①政策立案能力や専門的知識などの向上を図る。									
	◆成果(活動)指標(上段:計画値、下段:実績値)									
(3)指標以外に考えられる成果						①	研修受講延べ人数	295人		
職員の資質の向上が図られることにより、市民サービスの質が向上する。								477人		
						②				
事業概要										
◆庁内研修の実施、庁外研修への派遣及び人事評価により、人材育成を図った。										
◆庁内研修:新規採用職員研修、政策法務研修、行政手続研修などを実施した。										
◆庁外研修:岩手県市町村職員研修協議会、盛岡広域首長懇談会人材育成部会、日本経営協会、自治大学校、東北自治研修所、東北経済産業局、名護市などが実施する研修に職員を派遣した。										
◆人事評価:能力評価及び業績評価を実施した。										
【事業評価】 振り返り結果から見た改革改善策の具体的内容										
改革改善 の内容		☐ (1)目的妥当性 ☐ (2)有効性 ☐ (3)効率性 ☐ (4)公正・公平性 ☐ (5)市民協働								

事務事業名	行政連絡員活動事業	
基本目標	5	ふれあいを大切にする、人情あふれるまちづくり
施策	17	コミュニティを大切にするまちづくり

所管課	まちづくり推進課
決算額(千円)	21,148

一般会計			款	02	総務費	項	01	総務管理費
目	01	一般管理費		事業	000900	行政連絡員活動事業		
事業 事業 の 目 的	(1)対象(誰、何に対して事業を行うのですか?)					◆対象指標(上段:予算要求時点、下段:決算時点)		
	市民					①	人口	23,581人 22,949人
	(2)意図(この事業により対象をどのような状態にしたいのですか?)					②	行政区数	99行政区 99行政区
	行政連絡員を通して市民に行政情報を周知する。							
	(3)指標以外に考えられる成果					◆成果(活動)指標(上段:計画値、下段:実績値)		
						①	配布回数	24回 24回
②						配布世帯数	8,862世帯 9,025世帯	
事業概要								
◆行政連絡員会議を開催し、事業概要を説明するとともに、辞令交付を行った。 ◆市内の各行政区に対し、行政情報などの印刷物を配布して市民に周知した。 ◆行政連絡員に報償費を支払った。								
【事業評価】 振り返り結果から見た改革改善策の具体的内容								
改革改善 の内容		☐ (1)目的妥当性 ☐ (2)有効性 ☐ (3)効率性 ☐ (4)公正・公平性 ☐ (5)市民協働						

令和 6 年度 主要事業実績報告書

事務事業名	広報活動事業	
基本目標	6	社会基盤の整備と行政経営の方針
施策	22	情報通信の積極的活用

所管課	企画財政課
決算額(千円)	12,954

一般会計			款	02	総務費	項	01	総務管理費
目	02	文書広報費	事業	000300	広報活動事業			
事務事業の目的	(1)対象(誰、何に対して事業を行うのですか？)					◆対象指標(上段:予算要求時点、下段:決算時点)		
	市民および広報紙を希望する市外在住者					①	人口	23,581人 22,949人
	(2)意図(この事業により対象をどのような状態にしたいのですか？)					②		
	市政情報や市民活動について発信し、行政と市民の間で情報を共有する。					◆成果(活動)指標(上段:計画値、下段:実績値)		
	(3)指標以外に考えられる成果					①	広報アンケート【読む頻度】いつも及びときどき読んでいる人の割合	90% 92.6%
	・情報を共有することによって、市民からまちづくりについての意見や問題提起が行われる。					②	広報アンケート【満足度】ほぼ及びまあまあ満足している人の割合	90% 89.7%
事業概要								
◆毎月広報紙を発行し、行政連絡員を通じて、市内全世帯に配布した。 ◆広報紙に広告を掲載し、歳入を確保した。 ◆市公式LINEの運用により、各種情報を発信した。								
【事業評価】 振り返り結果から見た改革改善策の具体的内容								
改革改善の内容		☐ (1)目的妥当性 ☐ (2)有効性 ☐ (3)効率性 ☐ (4)公正・公平性 ☐ (5)市民協働						

事務事業名	公有財産管理事業	
基本目標	6	社会基盤の整備と行政経営の方針
施策	24	協働による行政経営

所管課	総務課
決算額(千円)	61,084

一般会計			款	02	総務費		項	01	総務管理費	
目	05	財産管理費		事業	000300	公有財産管理事業				
事務事業の目的	(1)対象(誰、何に対して事業を行うのですか?)						◆対象指標(上段:予算要求時点、下段:決算時点)			
	市有財産(行政財産、普通財産)全般						①	貸付等件数	160件	
									156件	
	(2)意図(この事業により対象をどのような状態にしたいのですか?)						②			
	利活用(賃貸借)を含め、適正に管理及び処分する。									
	(3)指標以外に考えられる成果						◆成果(活動)指標(上段:計画値、下段:実績値)			
・適正に管理することにより老朽建物における施設災害、人的被害等の管理責任を防ぐことができる。 ・遊休地等の有効活用(賃貸借)及び売却等を行うことにより、コスト削減及び財源確保を望める。						①	解体撤去件数	0件		
								1件		
事業概要										
◆行政財産、普通財産の適正な管理(状況把握、維持管理、貸付、処分等)を行った。										
◆払下げの希望がある土地については、状況を確認し払下げを行った。										
【事業評価】 振り返り結果から見た改革改善策の具体的内容										
改革改善の内容		☐ (1)目的妥当性 ☐ (2)有効性 ☐ (3)効率性 ☐ (4)公正・公平性 ☐ (5)市民協働								

令和 6 年度 主要事業実績報告書

事務事業名	庁舎管理事業	
基本目標	6	社会基盤の整備と行政経営の方針
施策	24	協働による行政経営

所管課	総務課
決算額(千円)	147,277

一般会計		款	02	総務費	項	01	総務管理費
目	05	財産管理費	事業	000400	庁舎管理費		
事務事業の目的	(1)対象(誰、何に対して事業を行うのですか?)				◆対象指標(上段:予算要求時点、下段:決算時点)		
	本庁舎・多目的ホール、総合支所庁舎				①	管理する施設数	3箇所 3箇所
	(2)意図(この事業により対象をどのような状態にしたいのですか?)				②		
	施設機能を安全かつ快適に利用できるように維持する。				◆成果(活動)指標(上段:計画値、下段:実績値)		
	(3)指標以外に考えられる成果				①	未修繕箇所	0箇所 0箇所
	施設利用者及び職員の安全性、利便性及び快適性が図られる。				②	苦情及び要望件数	0件 0件
事業概要							
◆庁舎等の機能及び安全を維持するため、専門業者に委託し自家用電気工作物、消防設備、エレベータ等の設備保守点検を行った。 ◆庁舎等の安全を確保し快適に保つため、警備、清掃等の業務委託を行うほか、故障箇所等が発生した場合は速やかに修繕、改修及び新設等を行った。 ◆電気、水道などの光熱水費について、ランニングコスト削減のために、空調温度設定やこまめな消灯を呼びかけた。 ◆事務の効率化を図るため、適宜、事務機器類を更新した。							
【事業評価】 振り返り結果から見た改革改善策の具体的内容							
改革改善の内容		☐ (1)目的妥当性 ☐ (2)有効性 ☐ (3)効率性 ☐ (4)公正・公平性 ☐ (5)市民協働					

事務事業名	公用車管理事業	
基本目標	6	社会基盤の整備と行政経営の方針
施策	24	協働による行政経営

所管課	総務課
決算額(千円)	19,564

一般会計		款	02	総務費	項	01	総務管理費
目	05	財産管理費	事業	000500	公用車管理費		
事務事業の目的	(1)対象(誰、何に対して事業を行うのですか?)				◆対象指標(上段:予算要求時点、下段:決算時点)		
	本庁、各総合支所で集中管理している公用車				①	管理台数	39台 39台
	(2)意図(この事業により対象をどのような状態にしたいのですか?)				②		
	効率的に使用できる状態で維持管理する。				◆成果(活動)指標(上段:計画値、下段:実績値)		
	(3)指標以外に考えられる成果				①	常時稼働できる台数	39台 39台
	故障車が減り、公用車利用に支障を来さない。				②		
事業概要							
◆定期点検、法定点検等の整備を実施することにより、故障車を減らし効率的に使用できる状態を維持管理を行った。 ・本庁 公用車25台(バス含む。)、市長車1台、議長車1台 ・西根総合支所 2台 ・安代総合支所 10台 ・車両購入 2台(小型乗用自動車)							
【事業評価】 振り返り結果から見た改革改善策の具体的内容							
改革改善の内容		☐ (1)目的妥当性 ☐ (2)有効性 ☐ (3)効率性 ☐ (4)公正・公平性 ☐ (5)市民協働					

令和 6 年度 主要事業実績報告書

事務事業名	市有林造成事業	
基本目標	2	ともに学び働き、暮らし豊かなまちづくり
施策	07	山林の保全と林業の活性化

所管課	農林課
決算額(千円)	31,407

一般会計			款	02	総務費	項	01	総務管理費
目	06	財産造成費	事業	000300	市有林造成事業			
事務事業の目的	(1)対象(誰、何に対して事業を行うのですか?)					◆対象指標(上段:予算要求時点、下段:決算時点)		
	市有林					①	市有林面積	2,244ha
								2,244ha
	(2)意図(この事業により対象をどのような状態にしたいのですか?)					②		
	市有林の循環利用により財産形成を図る。					◆成果(活動)指標(上段:計画値、下段:実績値)		
	(3)指標以外に考えられる成果					①	事業実施面積	27ha
目的	市有林の公益性の高い多面的機能を発揮させるとともに、定期的な伐採、造林、保育等森林整備事業の実施により、森林組合等林業事業者の育成と地域林業の活性化が図られる。							25ha
						②	公売実施面積	0ha
								0ha
事業概要								
◆伐期を迎えつつある森林資源を活用し、持続可能な森林経営を実現するため、市有林の森林整備事業等や適正な維持管理を行った。								
・市有林維持管理(2,244ha)								
・森林整備事業(造林5.08ha、下刈り19.61ha、合計24.69ha)								
・グリーン成長総合対策事業(間伐6.78ha)								
・毎木調査(27ha)								
【事業評価】 振り返り結果から見た改革改善策の具体的内容								
改革改善の内容	☐ (1)目的妥当性 ☐ (2)有効性 ☐ (3)効率性 ☐ (4)公正・公平性 ☐ (5)市民協働							

事務事業名	コミュニティバス運行事業	
基本目標	6	社会基盤の整備と行政経営の方針
施策	19	交通網・道路網の維持・整備

所管課	まちづくり推進課
決算額(千円)	109,060

一般会計			款	02	総務費	項	01	総務管理費
目	07	企画費	事業	001300	コミュニティバス運行事業			
事務事業の目的	(1)対象(誰、何に対して事業を行うのですか?)					◆対象指標(上段:予算要求時点、下段:決算時点)		
	移動手段が必要な市民					①	人口	23,581人
								22,949人
	(2)意図(この事業により対象をどのような状態にしたいのですか?)					②		
	最低限の通院手段や外出手段を確保							
	(3)指標以外に考えられる成果							
目的	高齢者の社会参加					①	利用者数	43,000人
	運転免許返納による高齢者の交通事故抑止							28,322人
						②		
事業概要								
◆路線バスが運行していない地域住民の移動手段を確保するため、コミュニティバスを運行した。 ・西根・松尾地区:西根4路線、松尾2路線運行、1乗車100円 ・安代地区:荒沢路線、田山路線、浄法寺路線(廃止代替路線)、1乗車100円(二戸市内での降車は200円) ※田山地域については、定時定路線とデマンドの混合運行を実施 ・地域内幹線(兄畑駅—荒屋新町—市立病院):JR花輪線の空白時間帯に週に2日(火曜日と金曜日)1往復の運行を実施 ・安代地区田山地域に居住する平館高等学校の生徒に対し、朝のみ通学(JR花輪線荒屋新町駅まで)を支援する車両を運行(運賃は無料) ◆コミュニティバスの路線や公共交通施策に関し協議を行う八幡平市地域公共交通活性化協議会を主催し、運営した。								
【事業評価】 振り返り結果から見た改革改善策の具体的内容								
改革改善の内容		☐ (1)目的妥当性 ☐ (2)有効性 ☐ (3)効率性 ☐ (4)公正・公平性 ☐ (5)市民協働						

令和 6 年度 主要事業実績報告書

事務事業名	協働によるまちづくり推進事業	
基本目標	5	ふれあいを大切にする、人情あふれるまちづくり
施策	17	コミュニティを大切にするまちづくり

所管課	まちづくり推進課
決算額(千円)	15,380

一般会計			款	02	総務費	項	01	総務管理費
目	07	企画費	事業	001800	協働によるまちづくり推進事業			
事務事業の目的	(1)対象(誰、何に対して事業を行うのですか?)					◆対象指標(上段:予算要求時点、下段:決算時点)		
	①地域振興協議会 ②自治会					①	地域振興協議会数	12協議会
								12協議会
	(2)意図(この事業により対象をどのような状態にしたいのですか?)					②	自治会数	145自治会
	地域のニーズに合った事業の実施							145自治会
	(3)指標以外に考えられる成果					◆成果(活動)指標(上段:計画値、下段:実績値)		
	地域の活性化と住民連携及び行政との協働の促進					①	事業実施数	120事業
133事業								
②						予算執行率	100%	
	98.5%							
事業概要								
◆地域住民の協働による公共性・公益性のあるまちづくり事業に対して補助した。 ・一般事業:西根地区(6,902千円)、松尾地区(4,000千円)、安代地区(3,958千円) ・特別事業:地域連携事業4件(520千円)								
【事業評価】 振り返り結果から見た改革改善策の具体的内容								
改革改善の内容		☐ (1)目的妥当性 ☐ (2)有効性 ☐ (3)効率性 ☐ (4)公正・公平性 ☐ (5)市民協働						

令和 6 年度 主要事業実績報告書

事務事業名	姉妹・友好都市交流事業	
基本目標	6	社会基盤の整備と行政経営の方針
施策	23	広域での連携と交流

所管課	まちづくり推進課
決算額(千円)	569

一般会計		款	02	総務費	項	01	総務管理費
目	07	企画費	事業	002200	姉妹・友好都市交流事業		
事務事業の目的	(1)対象(誰、何に対して事業を行うのですか?)				◆対象指標(上段:予算要求時点、下段:決算時点)		
	八幡平市民、宮古市民、名護市民				①	人口	23,581人 22,949人
	(2)意図(この事業により対象をどのような状態にしたいのですか?)				②		
	相互理解の深化、友好意識の高揚				◆成果(活動)指標(上段:計画値、下段:実績値)		
	(3)指標以外に考えられる成果				①	交流事業数	5件 3件
	相互交流による物流量の増加、交流人口による経済効果、職員の資質向上				②	参加人数	100人 63人
事業概要							
◆宮古市イベントへの参加(産業まつりに郷土芸能団体等出演交流) ◆八幡平山賊まつりでの物販支援(名護市、宮古市ブース) ◆名護さくら祭りへの参加(名護さくらの女王に協賛品を提供) ◆かりゆし着用の実施(クールビズ期間)							
【事業評価】 振り返り結果から見た改革改善策の具体的内容							
改革改善の内容		☐ (1)目的妥当性 ☒ (2)有効性 ☐ (3)効率性 ☐ (4)公正・公平性 ☐ (5)市民協働 有効性:市の未来を担う児童・生徒の相互交流が図られるよう検討する。					

事務事業名	地域おこし協力隊事業	
基本目標	1	未来への希望にもえるまちづくり
施策	01	住んでしあわせを感じるまちづくり

所管課	まちづくり推進課
決算額(千円)	13,628

一般会計		款	02	総務費	項	01	総務管理費
目	07	企画費	事業	002300	地域おこし協力隊事業		
事務事業の目的	(1)対象(誰、何に対して事業を行うのですか?)				◆対象指標(上段:予算要求時点、下段:決算時点)		
	地域おこし協力隊の隊員数の増				①	地域おこし協力隊員数	4人 3人
	(2)意図(この事業により対象をどのような状態にしたいのですか?)				②		
	隊員が、市内に定住することで、市の人口が増える。				◆成果(活動)指標(上段:計画値、下段:実績値)		
	(3)指標以外に考えられる成果				①	任期終了後の定住者数	1人 1人
	出生数、婚姻数、起業数、新規商品開発数、交流人口数、マスコミ掲載数、税収の増				②		
事業概要							
◆地域活性化と定住促進を図るため、地域おこし協力隊員3人を任用した。(継続1人、新規2人)							
【事業評価】 振り返り結果から見た改革改善策の具体的内容							
改革改善の内容		☐ (1)目的妥当性 ☐ (2)有効性 ☐ (3)効率性 ☐ (4)公正・公平性 ☐ (5)市民協働					

令和 6 年度 主要事業実績報告書

事務事業名	自治会活動支援事業	
基本目標	5	ふれあいを大切にする、人情あふれるまちづくり
施策	17	コミュニティを大切にするまちづくり

所管課	まちづくり推進課
決算額(千円)	19,952

一般会計			款	02	総務費	項	01	総務管理費
目	07	企画費	事業	002500	自治会活動支援事業			
事務事業の目的	(1)対象(誰、何に対して事業を行うのですか?)					◆対象指標(上段:予算要求時点、下段:決算時点)		
	①自治会 ②建設工事費補助金希望自治会					①	自治会数	145自治会 145自治会
	(2)意図(この事業により対象をどのような状態にしたいのですか?)					②	建設工事費補助自治会数	6自治会 6自治会
	①活動に要する負担を軽減する。 ②自治集会所建設等の財政負担を軽減する。							
	(3)指標以外に考えられる成果					◆成果(活動)指標(上段:計画値、下段:実績値)		
						①	自治会活動費補助金交付額	11,494千円 11,266千円
②						建設工事費補助金交付額	7,508千円 7,475千円	
							事業概要	
◆自治会活動に要する経費に対して、予算の範囲内で補助金を交付した。 ・補助金の基準:均等割(1自治会あたり47,000円)+世帯割(1世帯あたり470円×世帯数) ◆自治集会所の建設、増改築(上下水道への接続を含む。)に要する経費に対して、予算の範囲内で補助金を交付した。 ・新築:建物の床面積33㎡以上の新築(付帯設備の整備を含む。)に要する経費の1/2以内、補助上限700万円 ・増改築等:増改築、修繕、給排水施設の改修及び付帯設備の整備に要する経費(50万円以上)の1/2以内、補助上限150万円 ◆自治会活動費補助金 西根地区 5,374千円(52自治会) 松尾地区 2,196千円(26自治会) 安代地区 3,696千円(67自治会)								
【事業評価】 振り返り結果から見た改革改善策の具体的内容								
改革改善の内容		☐ (1)目的妥当性 ☐ (2)有効性 ☐ (3)効率性 ☐ (4)公正・公平性 ☐ (5)市民協働						

事務事業名	国際交流支援事業	
基本目標	6	社会基盤の整備と行政経営の方針
施策	23	広域での連携と交流

所管課	まちづくり推進課
決算額(千円)	556

一般会計			款	02	総務費		項	01	総務管理費	
目	07	企画費		事業	002600	国際交流支援事業				
事務事業の目的	(1)対象(誰、何に対して事業を行うのですか?)						◆対象指標(上段:予算要求時点、下段:決算時点)			
	市民 タマサート大学日本訪問学生						①	人口	23,581人	
									22,949人	
	(2)意図(この事業により対象をどのような状態にしたいのですか?)						②	タマサート大学訪問学生人数	6人	
	国際交流事業への参加により、国際理解を深める。 タマサート大学生に日本(八幡平市)への理解を深めてもらうとともに、ホストファミリーとの交流の継続、訪日旅行の際の目的地として八幡平市を選択してもらえるようにする。								7人	
	(3)指標以外に考えられる成果						◆成果(活動)指標(上段:計画値、下段:実績値)			
タマサート大学生が帰国後及び卒業後、タイ王国国内で八幡平市のPRに貢献、旅行等での来日(来市) 市のタイ王国での観光事業展開への協力(通訳等)						①	国際交流事業参加人数	200人		
								304人		
						②				
事業概要										
◆八幡平市国際交流協会と連携し、国際交流事業を推進した。 ◆タイ王国タマサート大学八幡平市ホームステイプログラムの実施について、八幡平市ホストファミリーの会と連携して行った。 ◆タイ王国タマサート大学国際インターンシッププログラムも内容等について検討を行った。										
【事業評価】 振り返り結果から見た改革改善策の具体的内容										
改革改善の内容		☐ (1)目的妥当性 ☐ (2)有効性 ☐ (3)効率性 ☐ (4)公正・公平性 ☐ (5)市民協働								

令和 6 年度 主要事業実績報告書

事務事業名	ふるさと応援寄附金推進事業	
基本目標	6	社会基盤の整備と行政経営の方針
施策	24	協働による行政経営

所管課	企画財政課
決算額(千円)	261,295

一般会計			款	02	総務費	項	01	総務管理費
目	07	企画費	事業	003100	ふるさと応援寄附金推進事業			
事務事業の目的	(1)対象(誰、何に対して事業を行うのですか？)					◆対象指標(上段:予算要求時点、下段:決算時点)		
	・当市出身者 ・当市を応援してくださる市外在住者					①	八幡平市ふるさと会会員数	800人
								800人
	(2)意図(この事業により対象をどのような状態にしたいのですか？)					②		
	・当市を応援してくださる方から、寄附をいただく。							
	(3)指標以外に考えられる成果					◆成果(活動)指標(上段:計画値、下段:実績値)		
・事業者の売上向上、販路拡大 ・観光客誘致、集客 ・本市認知度の向上					①	八幡平市ふるさと応援寄附金申込件数	10,000件	
							6,524件	
					②	八幡平市ふるさと応援寄附金額	250百万円	
							249百万円	
事業概要								
◆ふるさと納税制度の趣旨に基づき、市外に居住する本市出身の方や、市の取組に共感してくださる方に対して寄附を募り、八幡平市を外から応援していただくためのPR活動及び寄附金の取扱いを行った。								
◆市の魅力を全国に発信し、寄附を広く集めるため、インターネットによる寄附申込みサイト及びクレジットカード決済システム、マルチペイメントサービスを活用し、寄附金を受け入れ、寄附者に対して返礼品の贈呈を行った。								
【事業評価】 振り返り結果から見た改革改善策の具体的内容								
改革改善の内容	☐ (1)目的妥当性 ☐ (2)有効性 ☐ (3)効率性 ☐ (4)公正・公平性 ☐ (5)市民協働							

事務事業名	電算システム管理事業	
基本目標	6	社会基盤の整備と行政経営の方針
施策	22	情報通信の積極的活用

所管課	総務課
決算額(千円)	179,572

一般会計			款	02	総務費	項	01	総務管理費
目	09	電子計算費	事業	000300	電算システム管理事業			
事務事業の目的	(1)対象(誰、何に対して事業を行うのですか?)					◆対象指標(上段:予算要求時点、下段:決算時点)		
	情報システム					①	情報システム及び機器の稼働	365日
								365日
	(2)意図(この事業により対象をどのような状態にしたいのですか?)					②	情報セキュリティの確保	365日
	情報システムを適正に管理し、計画的に導入・更新することにより、事務の効率化及び高度なセキュリティの確保を図る。							365日
						◆成果(活動)指標(上段:計画値、下段:実績値)		
目的	(3)指標以外に考えられる成果					①	システム停止回数	0回
	電子自治体の構築により、市民サービスの向上が図られる。							0回
						②	セキュリティ侵害	0回
								0回
事業概要								
◆情報システム及び機器の管理、更新、導入を実施した。 主な事業内容 ・統合型GIS航空写真更新13,530千円 ・内部情報系システム機器(パソコン165台等)購入45,403千円 ◆情報セキュリティ強化を図った。 主な事業内容 ・職員向けセキュリティ研修								
【事業評価】 振り返り結果から見た改革改善策の具体的内容								
改革改善の内容		☐ (1)目的妥当性 ☐ (2)有効性 ☐ (3)効率性 ☐ (4)公正・公平性 ☐ (5)市民協働						

令和 6 年度 主要事業実績報告書

事務事業名	ホームページ管理運営事業	
基本目標	6	社会基盤の整備と行政経営の方針
施策	22	情報通信の積極的活用

所管課	企画財政課
決算額(千円)	2,411

一般会計	款	02	総務費	項	01	総務管理費
目	09	電子計算費	事業	000500	ホームページ管理運営事業	
事務事業の目的	(1)対象(誰、何に対して事業を行うのですか?)				◆対象指標(上段:予算要求時点、下段:決算時点)	
	インターネットを利用して情報を収集している市内外の住民				①	人口
						23,581人 22,949人
	(2)意図(この事業により対象をどのような状態にしたいのですか?)				②	
	必要な情報をいつでも得られる。					
目的	(3)指標以外に考えられる成果				◆成果(活動)指標(上段:計画値、下段:実績値)	
	市が保有する情報を常に更新するとともに、分かりやすく発信(提供)し、市民と行政が情報を共有することによって、開かれた市政の推進が図られ、市民との信頼関係が構築される。				①	年間ページビュー(3月末)
						1,300,000ページ 1,505,620ページ
					②	サイト訪問回数
					390,000回 454,100回	
事業概要						
◆全ての人が使いやすいホームページとなるよう、内容の充実などを図るため、次のことを委託した。 ・市のホームページの運用及び保守 ・市職員研修の開催 ・JIS試験の実施						
【事業評価】 振り返り結果から見た改革改善策の具体的内容						
改革改善の内容	☐ (1)目的妥当性 ☐ (2)有効性 ☐ (3)効率性 ☐ (4)公正・公平性 ☐ (5)市民協働					

事務事業名	交通安全普及推進事業	
基本目標	6	社会基盤の整備と行政経営の方針
施策	21	安心・安全なまちづくり

所管課	防災安全課
決算額(千円)	6,374

一般会計	款	02	総務費	項	01	総務管理費
目	12	交通安全対策費	事業	000300	交通安全普及推進事業	
事務事業の目的	(1)対象(誰、何に対して事業を行うのですか?)				◆対象指標(上段:予算要求時点、下段:決算時点)	
	市民				①	人口
						23,581人 22,949人
	(2)意図(この事業により対象をどのような状態にしたいのですか?)				②	
	交通安全への理解促進と交通事故の減少					
目的	(3)指標以外に考えられる成果				◆成果(活動)指標(上段:計画値、下段:実績値)	
					①	人身事故発生件数
						20件 22件
					②	
事業概要						
◆交通安全啓発を季節運動(春の運動4月、夏の運動7月、秋の運動9月、冬の運動12月)に合わせて、交通安全協会、交通安全母の会、交通指導隊、岩手警察署等と協力して実施した。 ◆交通安全教室(小学校、中学校、幼稚園、保育所・園)を実施した。 ◆交通安全指導用啓発物品の購入及び配布をした。 ◆交通安全協会補助金を交付した。 ◆運転免許証自主返納支援事業を実施した。						
【事業評価】 振り返り結果から見た改革改善策の具体的内容						
改革改善の内容	☐ (1)目的妥当性 ☐ (2)有効性 ☐ (3)効率性 ☐ (4)公正・公平性 ☐ (5)市民協働					

令和 6 年度 主要事業実績報告書

事務事業名	交通指導員設置事業	
基本目標	6	社会基盤の整備と行政経営の方針
施策	21	安心・安全なまちづくり

所管課	防災安全課
決算額(千円)	7,024

一般会計		款	02	総務費	項	01	総務管理費
目	12	交通安全対策費	事業	000400	交通指導員設置事業		
事業 事業の 目的	(1)対象(誰、何に対して事業を行うのですか?)				◆対象指標(上段:予算要求時点、下段:決算時点)		
	市民、交通指導員				①	人口	23,581人 22,949人
	(2)意図(この事業により対象をどのような状態にしたいのですか?)				②	交通指導員数	33人 30人
	交通指導員を育成・確保し、定期パトロールやイベント、教室等での交通安全指導を通じ、市民の安全の確保と市民意識の向上を図る。				◆成果(活動)指標(上段:計画値、下段:実績値)		
	(3)指標以外に考えられる成果				①	人身事故発生件数	20件 22件
					②		
事業概要							
◆交通安全教室(小学校、中学校、幼稚園、保育所・園)を実施した。 ◆交通安全定期巡回広報を実施した。 ◆イベント祭礼等における交通安全を確保した。(岩手警察署等と協力)							
【事業評価】 振り返り結果から見た改革改善策の具体的内容							
改革改善の内容		☐ (1)目的妥当性 ☐ (2)有効性 ☐ (3)効率性 ☐ (4)公正・公平性 ☐ (5)市民協働					

事務事業名	地域安全普及推進事業	
基本目標	6	社会基盤の整備と行政経営の方針
施策	21	安心・安全なまちづくり

所管課	防災安全課
決算額(千円)	10,061

一般会計		款	02	総務費	項	01	総務管理費
目	13	地域安全対策費	事業	000300	地域安全普及推進事業		
事業 事業の 目的	(1)対象(誰、何に対して事業を行うのですか?)				◆対象指標(上段:予算要求時点、下段:決算時点)		
	市民				①	人口	23,581人 22,949人
	(2)意図(この事業により対象をどのような状態にしたいのですか?)				②		
	防犯地域安全への理解の促進と刑法犯罪件数の減少				◆成果(活動)指標(上段:計画値、下段:実績値)		
	(3)指標以外に考えられる成果				①	刑法犯罪発生件数	30件 20件
					②		
事業概要							
◆地域安全啓発を季節運動(春の運動4月、夏の運動9月、秋の運動10月、年末の運動12月～1月)に合わせて、防犯協会、防犯隊、岩手警察署等と協力し実施した。 ◆防犯灯を新設した。 ◆防犯灯の維持管理を行った。 ◆防犯協会補助金を交付した。(市管理防犯灯約1,000灯分の電気料と修繕を防犯協会から支出、防犯チラシの配布や防犯研修会を実施) ◆防犯灯LED化工事を行った。							
【事業評価】 振り返り結果から見た改革改善策の具体的内容							
改革改善の内容		☐ (1)目的妥当性 ☐ (2)有効性 ☐ (3)効率性 ☐ (4)公正・公平性 ☐ (5)市民協働					

令和 6 年度 主要事業実績報告書

事務事業名	空家等対策事業		
基本目標	6	社会基盤の整備と行政経営の方針	
施策	21	安心・安全なまちづくり	

所管課	防災安全課
決算額(千円)	10,984

一般会計			款	02	総務費		項	01	総務管理費	
目	13	地域安全対策費		事業	000600		空家等対策事業			
事務事業の目的	(1)対象(誰、何に対して事業を行うのですか?)						◆対象指標(上段:予算要求時点、下段:決算時点)			
	市内の空家等						①	空家等件数	1,200棟	
									1,166棟	
	(2)意図(この事業により対象をどのような状態にしたいのですか?)						②	特定空家等候補件数	350棟	
	市内の空家等のうち適切な管理が行われていない空家の減少								378棟	
	◆成果(活動)指標(上段:計画値、下段:実績値)									
	(3)指標以外に考えられる成果						①	助言・指導件数	30件	
	空家等の有効活用								28件	
						②	空き家バンク登録件数	15件		
								14件		
事業概要										
◆空家等の適切な管理と予防のため、調査や指導を行った。(特定空家等に対する措置及び対策)										
◆空家相談会を開催した。										
◆地域の活性化、まちの魅力向上に向けた流通・活用の促進のため空き家バンクを実施した。										
【事業評価】 振り返り結果から見た改革改善策の具体的内容										
改革改善の内容		☐ (1)目的妥当性 ☐ (2)有効性 ☐ (3)効率性 ☐ (4)公正・公平性 ☐ (5)市民協働								

事務事業名	コミュニティセンター等管理事業		
基本目標	5	ふれあいを大切にする、人情あふれるまちづくり	
施策	17	コミュニティを大切にするまちづくり	

所管課	まちづくり推進課
決算額(千円)	184,644

一般会計			款	02	総務費	項	01	総務管理費
目	14	コミュニティセンター費	事業	000300	コミュニティセンター等管理事業			
事務事業の目的	(1)対象(誰、何に対して事業を行うのですか?)					◆対象指標(上段:予算要求時点、下段:決算時点)		
	コミュニティセンター利用者及び事業参加者					①	コミュニティセンター数	12か所
	(2)意図(この事業により対象をどのような状態にしたいのですか?)					②	松尾ふれあい文化伝承館	12か所
	コミュニティセンターが適正に管理され、事業が適正に行われる。							1か所
	(3)指標以外に考えられる成果					◆成果(活動)指標(上段:計画値、下段:実績値)		
	来館者数(利用者数)、事業実施回数、利用(事業)満足度					①	事業の実施数	500事業
						②	コミュニティセンター利用者数	551事業
事業概要								
◆コミュニティセンターの管理運営について、地域振興協議会へ指定管理を行った。								
◆生涯学習、生涯スポーツ事業の実施を支援した。								
◆コミュニティセンターの改修、修繕等を実施した。								
【事業評価】 振り返り結果から見た改革改善策の具体的内容								
改革改善の内容		☐ (1)目的妥当性 ☐ (2)有効性 ☐ (3)効率性 ☐ (4)公正・公平性 ☐ (5)市民協働						

令和 6 年度 主要事業実績報告書

事務事業名	市民センター維持管理事業	
基本目標	3	心身ともに健康で、活力に満ちたまちづくり
施策	13	心豊かな人生を送る学習機会の充実

所管課	西根総合支所
決算額(千円)	13,327

一般会計		款	02	総務費	項	01	総務管理費
目	15	市民センター費	事業	000600	市民センター維持管理事業		
事業 事業 の 目的	(1)対象(誰、何に対して事業を行うのですか?)				◆対象指標(上段:予算要求時点、下段:決算時点)		
	①市民				①	人口	23,581人
	②施設利用者						22,949人
	(2)意図(この事業により対象をどのような状態にしたいのですか?)				②	世帯	10,610世帯
	安全で快適な施設の利用ができる。						10,745世帯
	(3)指標以外に考えられる成果				◆成果(活動)指標(上段:計画値、下段:実績値)		
				①	施設利用者数	10,000人	
						12,612人	
				②			
事業概要							
◆西根地区市民センターの維持管理及び貸館業務を行った。 ・消防設備等の保守点検業務を行った。 ・清掃業務を行った。 ・会議用テーブル、イス及びエアコンの購入を行った。 ・夜間等に警備員を配置した。							
【事業評価】 振り返り結果から見た改革改善策の具体的内容							
改革改善の内容		☐ (1)目的妥当性 ☒ (2)有効性 ☒ (3)効率性 ☐ (4)公正・公平性 ☐ (5)市民協働 耐震基準を満たしているが、老朽化が進んでおり、引き続き予防保全を含めた計画的な改修を行う。 貸館業務が主な業務であるため、今後も管理運営のあり方について検討する。					

事務事業名	賦課事業	
基本目標	6	社会基盤の整備と行政経営の方針
施策	24	協働による行政経営

所管課	税務課
決算額(千円)	24,422

一般会計		款	02	総務費	項	02	徴税費
目	02	賦課徴収費	事業	000300	賦課事業		
事業 事業 の 目的	(1)対象(誰、何に対して事業を行うのですか?)				◆対象指標(上段:予算要求時点、下段:決算時点)		
	納税義務者				①	納税義務者数	45,183人
							44,874人
	(2)意図(この事業により対象をどのような状態にしたいのですか?)				②		
	適正かつ公正な賦課を行う。						
	(3)指標以外に考えられる成果				◆成果(活動)指標(上段:計画値、下段:実績値)		
不服申し立て件数				①	賦課修正等件数	0件	
						51件	
				②			
事業概要							
◆市民税、固定資産税、軽自動車税、入湯税、たばこ税等の税について、適正かつ公正な賦課を行った。 ・各税の納税通知書作成送付 ・各税の賦課に必要な諸業務の委託 ・市県民税申告受付の実施							
【事業評価】 振り返り結果から見た改革改善策の具体的内容							
改革改善の内容		☐ (1)目的妥当性 ☐ (2)有効性 ☐ (3)効率性 ☐ (4)公正・公平性 ☐ (5)市民協働					

令和 6 年度 主要事業実績報告書

事務事業名	収納事業	
基本目標	6	社会基盤の整備と行政経営の方針
施策	24	協働による行政経営

所管課	税務課
決算額(千円)	26,406

一般会計			款	02	総務費	項	02	徴税費
目	02	賦課徴収費	事業	000400	収納事業			
事務事業の目的	(1)対象(誰、何に対して事業を行うのですか？)					◆対象指標(上段:予算要求時点、下段:決算時点)		
	納税義務者					①	納税義務者数	45,183人 44,874人
	(2)意図(この事業により対象をどのような状態にしたいのですか？)					②		
	適正かつ公正な収納事務を行う。					◆成果(活動)指標(上段:計画値、下段:実績値)		
	(3)指標以外に考えられる成果					①	滞納者数	1,000人 968人
	納税意識の向上					②	市税収納率	90% 93.6%
事業概要								
◆適正に市税を収納するため、関係法令に基づき次の業務を行った。 ・収納消込、口座振替、過誤納金還付充当業務 ・納付相談、督促状発送、催告書発送業務 ・各種調査、滞納処分、執行停止、不納欠損業務 ・市税等電話納付案内業務(委託)								
【事業評価】 振り返り結果から見た改革改善策の具体的内容								
改革改善の内容		☐ (1)目的妥当性 ☐ (2)有効性 ☐ (3)効率性 ☐ (4)公正・公平性 ☐ (5)市民協働						

事務事業名	戸籍住民基本台帳事務	
基本目標	6	社会基盤の整備と行政経営の方針
施策	24	協働による行政経営

所管課	市民課
決算額(千円)	53,952

一般会計			款	02	総務費	項	03	戸籍住民基本台帳費
目	01	戸籍住民基本台帳費	事業	000300		戸籍住民基本台帳事務		
事務事業の目的	(1)対象(誰、何に対して事業を行うのですか?)					◆対象指標(上段:予算要求時点、下段:決算時点)		
	①八幡平市に本籍を有する者及び市内に住所を有する者					①	本籍数	14,750戸籍
	②各種証明書の交付請求をする者及び一般旅券の発給を申請する者							14,010戸籍
	(2)意図(この事業により対象をどのような状態にしたいのですか?)					②	住民登録数	23,581人
	①戸籍の身分関係及び住民記録が正確に登録され、適切に保存される。							22,949人
	②各種証明書の交付及び旅券発給に係る事務が正確かつ迅速に処理される。					◆成果(活動)指標(上段:計画値、下段:実績値)		
	(3)指標以外に考えられる成果					①	戸籍届出・住民異動届出件数	3,800件
	住民に信頼される窓口業務を遂行することにより、住民が満足して利用できる。							4,761件
						②	各種証明書交付件数	33,000件
								29,490件
事業概要								
◆当市に本籍を有する者等からの届出等(出生・死亡・婚姻・離婚等)による身分事項を戸籍簿に登録し、戸籍に関する諸証明を交付した。								
◆市内に住所を有する者等からの異動届出等による住民記録を住民基本台帳に登録し、住民基本台帳に関する諸証明を交付した。								
◆市内に住所を有する者の印鑑登録の受付及び印鑑証明書を交付した。								
◆本来の運行要件を満たしていない自動車を新規登録や検査などのために臨時的に運行できるよう、希望する個人、事業者に臨時運行許可を行った。								
◆一般旅券発給申請の受理及び交付等を行った。								
◆外国人住民の居住地届出等事務及び法務省端末との情報連携処理を行った。								
◆マイナンバーカードの交付等の事務を行った。								
◆柏台郵便局に住民票等諸証明の発行業務を委託した。								
繰越事業								
現年44,649千円								
明許 9,303千円								
【事業評価】 振り返り結果から見た改革改善策の具体的内容								
改革改善の内容		☐ (1)目的妥当性 ☐ (2)有効性 ☐ (3)効率性 ☐ (4)公正・公平性 ☐ (5)市民協働						

その他事業の成果について

関連する事務事業名	人材育成事業		
成果の内容	1 庁内研修		
		研修名	研修期間 人数
		新規採用職員研修	4/9～4/10 7人
		政策法務研修	5/24・5/28 24人
		行政手続研修	6/26 83人
		接遇研修	8/28 44人
		契約事務等研修	10/24 22人
		コンプライアンス研修	11/19 41人
		政策形成研修	11/21 26人
		マネジメント研修	2/17 26人
		認知症サポーター養成講座	2/26 25人
	2 庁外研修		
		主催者・研修名	研修期間 人数
		岩手県市町村職員研修協議会	
		新規採用職員研修（前期）	4/10～4/12 ほか 8人
		新規採用職員研修（後期）	10/9～10/11 ほか 4人
		一般職員研修基礎Ⅰ	8/28～8/30 ほか 5人
		一般職員研修基礎Ⅱ	5/15～5/17 ほか 10人
		一般職員研修基礎Ⅲ	8/21～8/23 ほか 11人
		監督者級研修	5/15～5/17 ほか 9人
		管理者級研修	6/27～6/28 ほか 4人
		財産管理事務研修	4/23 10人
		リーダー養成研修	8/21 ほか 6人
		法規事務研修	6/18～6/19 1人
		財務事務研修	7/9～7/11 2人
		契約事務研修	7/12 2人
		公営企業事務研修	8/5～8/6 3人
		税務事務研修	8/26～8/27 2人
		公務員倫理指導者養成研修	4/24～4/26 1人
		政策形成講座	5/8～5/10 1人
		政策法務講座	5/13～5/14 2人
		管理者級能力開発講座	6/25～6/26 ほか 6人
		監督者級選択講座（OJT・コーチング）	7/17～7/18 ほか 10人
		監督者級選択講座（ファシリテーション）	7/19 ほか 10人
		中堅職員能力向上講座	9/2～9/6 2人
		メンタルヘルス研修	5/27 2人
		クレーム対応研修	5/28 2人
		地方公務員災害補償基金岩手県支部	
		冬道安全運転講習会	10/25 ほか 1人
		盛岡広域首長懇談会人材育成部会	
		管理者等特別研修（コンプライアンス・ハラスメント研修）	5/14 2人
		管理者等特別研修（危機管理）	5/21 1人
		職員特別研修（ワークライフバランス研修）	8/22 1人
		職員特別研修（コンプライアンス研修）	11/6 1人

職員応対マナー研修（接遇マイスター養成）	7/17	5人
職員応対マナー研修（接遇マイスターレベルアップ）	11/13	3人
フォロワーシップ研修	9/11～9/12	3人
業務改善研修～タイムマネジメントを中心に～	10/17～10/18	6人
説明力向上研修	11/7～11/8	6人
クレーム対応能力向上研修	11/19～11/20	7人
岩手県市町村振興協会		
パソコン研修	8/20 ほか	2人
市町村職員研修会	10/3	1人
自治大学校		
第2部課程第206期	10/10～12/25	1人
第1部・第2部特別課程第48期	1/31～2/28	1人
東北自治研修所		
接遇研修指導者養成研修	5/29～5/31	1人
日本経営協会		
行政管理講座（オンライン）	6/13～6/14 ほか	5人
岩手県		
人材育成等専門家等による講演会	8/5	1人
子育て支援セミナー	11/19	3人
公務人材開発協会		
給与実務研修会	8/30	1人
名護市		
派遣実務研修	4/1～3/31	1人
東北経済産業局		
行政事務研修	4/1～3/31	1人
一般社団法人地方自治研究機構		
法務実務研究セミナー	7/17～7/18	1人
ボイラ・クレーン安全協会		
刈払機取扱作業安全衛生教育講習	5/24	4人
岩手労働基準協会		
テールゲートリフター特別教育	5/30	6人
岩手クレーン学校		
テールゲートリフター特別教育	5/31	1人

3 自主研修

主催者・研修名	研修期間	人数
		-

関連する事務事業名	収納事業			
成果の内容	市税の収納状況について			
	税 目	調定額（千円）	収納額（千円）	収納率（％）
	個 人 市 民 税	841,309	820,836	97.6
	法 人 市 民 税	233,355	231,256	99.1
	固 定 資 産 税	2,073,731	1,872,960	90.3
	国有資産等所在 市町村交付金	96,225	96,225	100.0
	軽自動車税	111,214	106,709	95.9
	軽自動車税 環境性能割	7,428	7,428	100.0
	たばこ税	201,054	201,054	100.0
	入 湯 税	70,186	64,626	92.1
	計	3,634,505	3,401,096	93.6
	(千円未満を切り捨てていますので、計は一致しません。)			

関連する事務事業名	戸籍住民基本台帳事務										
成果の内容	1 登録人口、世帯数（R 7 年 3 月末） 住民基本台帳人口移動状況（単位：世帯、人）										
	月	プラス要因			マイナス要因			増減		当月末日現在	
		出生	転入	その他	死亡	転出	職権 削除	世帯	人口	世帯	人口
	4	3	65	0	48	101	0	6	△81	10,606	23,281
	5	3	41	0	38	38	2	1	△34	10,607	23,247
	6	9	32	0	43	38	1	3	△41	10,610	23,206
	7	5	47	0	40	73	1	△11	△62	10,599	23,144
	8	7	77	1	37	38	4	20	6	10,619	23,150
	9	6	96	1	36	35	0	69	32	10,688	23,182
	10	5	53	0	34	53	1	3	△30	10,691	23,152
	11	1	56	0	28	40	1	12	△12	10,703	23,140
	12	3	131	0	44	50	1	84	39	10,787	23,179
	1	10	61	0	47	36	11	9	△23	10,796	23,156
	2	1	29	0	42	59	5	△28	△76	10,768	23,080
	3	4	73	0	48	157	3	△23	△131	10,745	22,949
	計	57	761	2	485	718	30	145	△413		
	2 謄本、抄本、証明書等の発行										
	区 分	戸籍	住民票	印鑑証明	印鑑登録	臨時運行	その他	合計			
	本 庁	8,585	7,371	3,076	444	106	177	19,759			
	西 根	1,836	2,748	1,924	172	371	42	7,093			
	柏台郵便局	4	22	18				44			
安 代	593	668	563	56	21	24	1,925				
田 山	184	221	225	26		13	669				
合 計	11,202	11,030	5,806	698	498	256	29,490				
※郵便請求取扱件数 2,103件											
3 戸籍届											
出生	死亡	婚姻	離婚	転籍	その他	計					
129件	579件	216件	60件	76件	119件	1,179件					
4 旅券申請者数											
月	新 規			訂 正	増 補	計					
	10年	5 年	子供								
4 月	7	2	1			10					
5 月	14	5	3			22					
6 月	7	1	0			8					
7 月	2	6	0			8					
8 月	2	7	0			9					
9 月	4	5	1			10					
10月	8	7	0			15					
11月	7	2	0			9					
12月	2	6	0			8					
1 月	8	5	1			14					
2 月	3	0	0			3					
3 月	8	4	1			13					
計	72	50	7			129					
5 個人番号カード交付件数 2,271 件											

令和 6 年度 主要事業実績報告書

事務事業名	出会い支援事業	
基本目標	1	未来への希望にもえるまちづくり
施策	02	安心して子育てができるまちづくり

所管課	地域福祉課
決算額(千円)	2,695

一般会計		款	03	民生費	項	01	社会福祉費
目	01	社会福祉総務費	事業	000300	出会い支援事業		
事業 事業 の 目 的	(1)対象(誰、何に対して事業を行うのですか?)				◆対象指標(上段:予算要求時点、下段:決算時点)		
	結婚を望む20歳以上の独身男女				①	いきいき岩手結婚サポートセンター入会登録者数	10人 2人
	(2)意図(この事業により対象をどのような状態にしたいのですか?)				②		
	出会いの機会を支援し、成婚に結び付ける。				◆成果(活動)指標(上段:計画値、下段:実績値)		
	(3)指標以外に考えられる成果				①	成婚組数	2組 0組
	結婚を望む独身男女の出会いの支援を進めることで、地域の活性化、少子化対策を図る。				②		
事業概要							
◆いきいき岩手結婚サポートセンター入会登録料助成:実績なし ◆結婚に伴う経済的負担を軽減するため、新婚世帯に対し、新生活にかかる引っ越しや家賃等の費用を支援した。 ◆出会いの場を提供する事業を行う企業・団体等に対するイベント経費の補助:実績なし							
【事業評価】 振り返り結果から見た改革改善策の具体的内容							
改革改善の内容		☐ (1)目的妥当性 ☐ (2)有効性 ☐ (3)効率性 ☐ (4)公正・公平性 ☐ (5)市民協働					

事務事業名	社会福祉協議会育成事業	
基本目標	3	心身ともに健康で、活力に満ちたまちづくり
施策	10	地域を見守る福祉の推進

所管課	地域福祉課
決算額(千円)	66,838

一般会計		款	03	民生費	項	01	社会福祉費
目	01	社会福祉総務費	事業	000400	社会福祉協議会育成事業		
事業 事業 の 目 的	(1)対象(誰、何に対して事業を行うのですか?)				◆対象指標(上段:予算要求時点、下段:決算時点)		
	八幡平市社会福祉協議会				①	補助対象事業数	6事業 5事業
	(2)意図(この事業により対象をどのような状態にしたいのですか?)				②		
	充実した事業実施による健全な活力ある地域福祉の推進				◆成果(活動)指標(上段:計画値、下段:実績値)		
	(3)指標以外に考えられる成果				①	事業参加延べ人数	3,000人 3,260人
	高齢者や障がい者等への支援、見守り体制が強化される。				②	福祉ボランティア団体等登録会員数	400人 341人
事業概要							
◆地域福祉推進の中核を担う、八幡平市社会福祉協議会に対し運営費を補助した。							
【事業評価】 振り返り結果から見た改革改善策の具体的内容							
改革改善の内容		☐ (1)目的妥当性 ☐ (2)有効性 ☐ (3)効率性 ☐ (4)公正・公平性 ☐ (5)市民協働					

令和 6 年度 主要事業実績報告書

事務事業名	民生児童委員活動支援事業		
基本目標	3	心身ともに健康で、活力に満ちたまちづくり	
施策	10	地域を見守る福祉の推進	

所管課	地域福祉課
決算額(千円)	7,502

一般会計		款	03	民生費	項	01	社会福祉費
目	01	社会福祉総務費		事業	000800	民生児童委員活動支援事業	
事務事業の目的	(1)対象(誰、何に対して事業を行うのですか?)				◆対象指標(上段:予算要求時点、下段:決算時点)		
	民生連絡員(民生児童委員)				①	民生連絡員数	106人
							105人
	(2)意図(この事業により対象をどのような状態にしたいのですか?)				②		
	市の民生事務を円滑に行ってもらう。						
	(3)指標以外に考えられる成果				◆成果(活動)指標(上段:計画値、下段:実績値)		
・地域活動の活発化 ・避難行動要支援者(災害時の避難に支援を要する人)への支援の充実				①	活動件数	31,000件	
						23,883件	
					②		
事業概要							
◆民生連絡員は、市の民生事務を円滑にし市民福祉の向上を図ることを目的に、市長が民生委員に対し同時委嘱している。各民生連絡員が相談・連絡調整等に関する事務を円滑に行うことができるよう、活動に対し支援を行なった。							
【事業評価】 振り返り結果から見た改革改善策の具体的内容							
改革改善の内容	☐ (1)目的妥当性 ☐ (2)有効性 ☐ (3)効率性 ☐ (4)公正・公平性 ☐ (5)市民協働						

事務事業名	生活支援ハウス運営事業		
基本目標	3	心身ともに健康で、活力に満ちたまちづくり	
施策	09	元気に長生き高齢社会の実現	

所管課	地域福祉課 (健康福祉課)
決算額(千円)	9,776

一般会計			款	03	民生費	項	01	社会福祉費
目	01	社会福祉総務費	事業	001500	生活支援ハウス運営事業			
事務事業の目的	(1)対象(誰、何に対して事業を行うのですか？)					◆対象指標(上段:予算要求時点、下段:決算時点)		
	高齢者(概ね60歳以上)					①	60歳以上の人口	11,849人
								11,631人
	(2)意図(この事業により対象をどのような状態にしたいのですか？)					②	高齢者の一人暮らし及び高齢者のみ世帯数	2,883世帯
	居住機能及びデイサービス機能を総合的に提供する。							2,986世帯
	(3)指標以外に考えられる成果					◆成果(活動)指標(上段:計画値、下段:実績値)		
	高齢者の一人世帯及び夫婦のみ世帯の自宅における事故を防ぐ。 介護予防					①	居住部門利用者数(延べ)	90人
							69人	
					②	デイサービス利用者数(延べ)	5,000人	
							3,905人	
事業概要								
◆指定管理による生活支援ハウスの管理運営を行った。 ・期間 平成29年4月1日～令和9年3月31日(10年間) ・令和6年度の指定管理料 9,127千円								
【事業評価】 振り返り結果から見た改革改善策の具体的内容								
改革改善の内容		☐ (1)目的妥当性 ☐ (2)有効性 ☐ (3)効率性 ☐ (4)公正・公平性 ☐ (5)市民協働						

令和 6 年度 主要事業実績報告書

事務事業名	生活困窮者自立支援事業		
基本目標	3	心身ともに健康で、活力に満ちたまちづくり	
施策	10	地域を見守る福祉の推進	

所管課	地域福祉課
決算額(千円)	12,988

一般会計			款	03	民生費	項	01	社会福祉費
目	01	社会福祉総務費	事業	001900	生活困窮者自立支援事業			
事務事業の目的	(1)対象(誰、何に対して事業を行うのですか?)					◆対象指標(上段:予算要求時点、下段:決算時点)		
	現に経済的に困窮し、最低限度の生活を維持することができなくなるおそれのある、生活保護受給者以外の生活困窮者で、自立が見込める者					①	新規相談件数	40件 35件
						②		
	(2)意図(この事業により対象をどのような状態にしたいのですか?)							
	相談・支援を行うことによって、自立の促進を図る。					◆成果(活動)指標(上段:計画値、下段:実績値)		
目的	(3)指標以外に考えられる成果					①	支援により就労及び増収となった者の人数	2人 0人
	経済的自立だけではなく、日常生活や社会生活における自立、ひきこもり等の孤立状態の解消にも配慮するものであり、相互に支え合う地域づくりの推進が図られる。					②	住居確保給付金給付世帯数	4世帯 0世帯
事業概要								
◆生活困窮者自立相談支援事業(委託による):生活困窮者からの相談を受け、次のような業務を行った。 ①生活困窮者の抱えている課題を評価・分析し、そのニーズを把握した。 ②ニーズに応じた支援が計画的かつ継続的に行われるよう、自立支援計画を策定した。 ③自立支援計画に基づく各種支援が包括的に行われるよう、関係機関との連絡調整を実施した。 ◆住居確保給付金:対象となる事案がなかった。 ◆生活困窮者就労準備支援事業(委託による) 就労に向けた準備が整っていない生活困窮者に対して、一般就労に向けた準備の支援を行った。 ◆生活困窮者家計改善支援事業(委託による) 家計に課題を抱える生活困窮者に対して、家計の改善に向けて、必要な情報提供や助言・指導を行った。								
【事業評価】 振り返り結果から見た改革改善策の具体的内容								
改革改善の内容		☐ (1)目的妥当性 ☐ (2)有効性 ☐ (3)効率性 ☐ (4)公正・公平性 ☐ (5)市民協働						

事務事業名	障害者施設等措置事業		
基本目標	3	心身ともに健康で、活力に満ちたまちづくり	
施策	10	地域を見守る福祉の推進	

所管課	地域福祉課
決算額(千円)	15,825

一般会計			款	03	民生費	項	01	社会福祉費
目	02	障害者福祉費		事業	000400	障害者施設等措置費		
事務事業の目的	(1)対象(誰、何に対して事業を行うのですか?)					◆対象指標(上段:予算要求時点、下段:決算時点)		
	やむを得ない事由による措置の対象となる障がい者					①	措置対象障がい者	4人
								4人
	(2)意図(この事業により対象をどのような状態にしたいのですか?)					②		
	障がい福祉サービスを受けることができる。							
	(3)指標以外に考えられる成果					◆成果(活動)指標(上段:計画値、下段:実績値)		
					①	措置者数	4人	
							4人	
事業概要								
◆やむを得ない事由(家族から虐待を受けているなど障害福祉サービスを利用することが著しく困難と認められるような状況)により、契約による障害福祉サービスの利用ができない障がい者に対し、市が施設に委託して障害福祉サービスを提供した。 ・年金等の収入額に応じて利用者の自己負担額が定められている。 ・国1/2 県1/4負担								
【事業評価】 振り返り結果から見た改革改善策の具体的内容								
改革改善の内容		☐ (1)目的妥当性 ☐ (2)有効性 ☐ (3)効率性 ☐ (4)公正・公平性 ☐ (5)市民協働						

令和 6 年度 主要事業実績報告書

事務事業名	心身障害者医療費助成事業	
基本目標	3	心身ともに健康で、活力に満ちたまちづくり
施策	08	心も体も健やかに暮らせるまちづくり

所管課	市民課
決算額(千円)	73,642

一般会計			款	03	民生費	項	01	社会福祉費
目	02	障害者福祉費	事業	000500	心身障害者医療費助成事業			
事務事業の目的	(1)対象(誰、何に対して事業を行うのですか?)					◆対象指標(上段:予算要求時点、下段:決算時点)		
	①市内に住所を有する重度障害者					①	重度障害者等助成対象者数	741人
	②市内に住所を有する身体障害者等							691人
	(2)意図(この事業により対象をどのような状態にしたいのですか?)					②	身体障害者等助成対象者数	177人
	・適正な医療の確保により心身の健康が保持される。 ・医療費に係る経済的負担を解消する。							175人
	◆成果(活動)指標(上段:計画値、下段:実績値)							
目的	(3)指標以外に考えられる成果					①	重度障害者給付件数	16,000件
	・経済的不安を解消し、生活の安定を図る。 ・心身の健康を保持する。 ・早期に受診できることから、疾病の重篤化が予防できる。							15,271件
						②	身体障害者等給付件数	1,900件
								3,005件
事業概要								
【重度心身障害者】 ◆身体障害者手帳1・2級、障害基礎年金1級、特別児童扶養手当1級、療育手帳A該当者を対象に、医療費の一部負担金分について助成した。(所得制限あり、医療機関で支払った一部負担金のうち、課税世帯は1ヵ月1医療機関ごとに外来1,500円、入院5,000円を超えた分を助成している。非課税世帯及び高校生以下は、一部負担金分が全額助成となる。) 給付方法は、対象者が一旦一部負担金を支払い、後日市から給付する「償還払い方式」。受給者への支払いは受診月の翌々月の月末を原則としている。 ◆医療機関からの診療報酬明細書等医療費データの審査及び集計事務を国保連への委託により行った。								
【身体障害者等】 ◆身体障害者手帳3級、特別児童扶養手当2級、障害基礎年金2級該当者を対象に、医療費の一部負担金のうち総医療費の1割分を助成した。(所得制限あり) 給付方法は、対象者が一旦一部負担金を支払い、後日市から給付する「償還払い方式」。受給者への支払いは受診月の翌々月の月末を原則としている。 ◆市の独自事業である。								
【事業評価】 振り返り結果から見た改革改善策の具体的内容								
改革改善の内容	☐ (1)目的妥当性 ☐ (2)有効性 ☐ (3)効率性 ☐ (4)公正・公平性 ☐ (5)市民協働							

事務事業名	特別障害者手当等給付事業	
基本目標	3	心身ともに健康で、活力に満ちたまちづくり
施策	10	地域を見守る福祉の推進

所管課	地域福祉課
決算額(千円)	5,054

一般会計			款	03	民生費	項	01	社会福祉費
目	02	障害者福祉費	事業	000600	特別障害者手当等給付事業			
事務事業の目的	(1)対象(誰、何に対して事業を行うのですか?)					◆対象指標(上段:予算要求時点、下段:決算時点)		
	常時特別な介護を要する程度の障がいのある者(児)					①	受給者数(年度当初)	22人
								23人
	(2)意図(この事業により対象をどのような状態にしたいのですか?)					②	受給者数(年度末)	28人
	在宅で日常生活する際の経済的負担の軽減を図る。							21人
						◆成果(活動)指標(上段:計画値、下段:実績値)		
(3)指標以外に考えられる成果					①	新規認定件数(転入含む)	6件	
住み慣れた地域や社会で日常生活を送ることができるように、また、サービス利用等で社会参加ができるようになる。							②	手当の支給延べ人数
事業概要								
◆著しく重度の障害の状態であるため、日常生活において常時特別な介護を要する在宅の障がい者(児)が対象 ・特別障害者手当:20歳以上(令和6年度の月額28,840円) ・障害児福祉手当:20歳未満(令和6年度の月額15,690円) ◆国庫負担 3/4								
【事業評価】 振り返り結果から見た改革改善策の具体的内容								
改革改善の内容		☐ (1)目的妥当性 ☒ (2)有効性 ☐ (3)効率性 ☐ (4)公正・公平性 ☐ (5)市民協働						
		広報やホームページによる制度の周知とともに、手帳交付時の案内を的確に行う。						

令和 6 年度 主要事業実績報告書

事務事業名	自立支援給付事業		
基本目標	3	心身ともに健康で、活力に満ちたまちづくり	
施策	10	地域を見守る福祉の推進	

所管課	地域福祉課
決算額(千円)	877,226

一般会計		款	03	民生費	項	01	社会福祉費
目	02	障害者福祉費		事業	000700	自立支援給付事業	
事務事業の目的	(1)対象(誰、何に対して事業を行うのですか?)				◆対象指標(上段:予算要求時点、下段:決算時点)		
	障がい者(児)				①	障がい者(児)数	1,622人
							1,584人
	(2)意図(この事業により対象をどのような状態にしたいのですか?)				②	更生医療・育成医療・療養介護 医療利用希望者数	15人
	自立した日常生活及び社会生活を送ることができる。						14人
	(3)指標以外に考えられる成果				◆成果(活動)指標(上段:計画値、下段:実績値)		
				①	障害福祉サービス・補装具延べ 利用者数	7,144人	
						7,135人	
				②	更生医療・育成医療・療養介護 医療延べ利用者数	159人	
156人							
事業概要							
① 障害福祉サービス等給付費 居宅介護、施設入所、グループホーム、生活介護(送迎、食事、入浴等)、就労継続支援A型・B型など							
② 自立支援医療給付費 自立支援医療(更生医療、育成医療)、療養介護医療							
③ 補装具費給付費 車いす、義肢、補聴器などの支援を行った。							
※ ①～③ 国 1/2、県 1/4負担							
【事業評価】 振り返り結果から見た改革改善策の具体的内容							
改革改善 の内容		☐ (1)目的妥当性 ☐ (2)有効性 ☐ (3)効率性 ☐ (4)公正・公平性 ☐ (5)市民協働					

事務事業名	障害者地域生活支援事業		
基本目標	3	心身ともに健康で、活力に満ちたまちづくり	
施策	10	地域を見守る福祉の推進	

所管課	地域福祉課
決算額(千円)	33,848

一般会計		款	03	民生費	項	01	社会福祉費
目	02	障害者福祉費		事業	001000	障害者地域生活支援事業	
事務事業の目的	(1)対象(誰、何に対して事業を行うのですか?)				◆対象指標(上段:予算要求時点、下段:決算時点)		
	障がい者(児)				①	障がい者(児)数	1,622人
							1,584人
	(2)意図(この事業により対象をどのような状態にしたいのですか?)				②		
	自立した日常生活及び社会生活を送ることができる。						
	(3)指標以外に考えられる成果				◆成果(活動)指標(上段:計画値、下段:実績値)		
					①	日常生活用具利用件数	260件
							185件
					②	地域生活支援事業利用者数	80人
							58人
事業概要							
◆自立支援給付事業と併せて実施することにより、障害福祉サービスの充実を図った。 相談支援事業、日常生活用具(特殊寝台、ストマ装具、紙おむつなど)給付事業、移動支援事業、地域活動支援センター事業、日中一時支援事業など ◆補助対象分については、国 1/2、県 1/4の予算の範囲内で補助金が交付される。							
【事業評価】 振り返り結果から見た改革改善策の具体的内容							
改革改善の内容		☐ (1)目的妥当性 ☐ (2)有効性 ☐ (3)効率性 ☐ (4)公正・公平性 ☐ (5)市民協働					

令和 6 年度 主要事業実績報告書

事務事業名	老人生活支援事業		
基本目標	3	心身ともに健康で、活力に満ちたまちづくり	
施策	09	元気に長生き高齢社会の実現	

所管課	地域福祉課 (健康福祉課)
決算額(千円)	18,618

一般会計		款	03	民生費	項	01	社会福祉費
目	03	老人福祉費	事業	000301	老人生活支援事業		
事務事業の目的	(1)対象(誰、何に対して事業を行うのですか?)				◆対象指標(上段:予算要求時点、下段:決算時点)		
	高齢者(概ね60歳以上)				①	60歳以上の人口	11,849人 11,631人
	(2)意図(この事業により対象をどのような状態にしたいのですか?)				②	一人暮らしの高齢者数	1,585人 1,637人
	日常生活の利便性の向上を図り、福祉の増進を図る。				◆成果(活動)指標(上段:計画値、下段:実績値)		
	(3)指標以外に考えられる成果				①	利用者数	240人 202人
					②	温泉利用負担者数(延べ)	30,000人 31,674人
事業概要							
◆日常生活に不安のある一人暮らし高齢者や要援護高齢者、その家族等に対し、介護保険サービス以外のサービスを提供することで、安心して衛生的な生活が送れるよう支援した。 ・在宅要介護者等紙おむつ給付事業 ・訪問理美容サービス事業 ・寝具類等洗濯乾燥消毒サービス事業(令和6年度実績なし) ・緊急通報システム運営事業 ・生活管理指導短期宿泊事業 ・高齢者日常生活用具給付事業 ・温泉利用負担金事業 ・除雪支援活動助成金交付事業							
【事業評価】 振り返り結果から見た改革改善策の具体的内容							
改革改善の内容		☐ (1)目的妥当性 ☐ (2)有効性 ☐ (3)効率性 ☒ (4)公正・公平性 ☐ (5)市民協働 温泉利用負担金事業について、森乃湯温泉館と他の民間事業者の温泉施設とのバランスを考慮しながら見直しを検討していく必要がある。					

事務事業名	老人保護措置事業		
基本目標	3	心身ともに健康で、活力に満ちたまちづくり	
施策	09	元気に長生き高齢社会の実現	

所管課	地域福祉課 (健康福祉課)
決算額(千円)	22,619

一般会計		款	03	民生費	項	01	社会福祉費
目	03	老人福祉費	事業	000400	老人保護措置事業		
事務事業の目的	(1)対象(誰、何に対して事業を行うのですか?)				◆対象指標(上段:予算要求時点、下段:決算時点)		
	65歳以上の高齢者				①	65歳以上の人口	10,035人 9,936人
	(2)意図(この事業により対象をどのような状態にしたいのですか?)				②		
	養護老人ホームに入所することにより、心身の健康保持及び生活の安定を図ることができる。				◆成果(活動)指標(上段:計画値、下段:実績値)		
	(3)指標以外に考えられる成果				①	措置者数	11人 9人
					②		
事業概要							
◆65歳以上の高齢者で、環境上又は経済的な理由により、在宅での生活が困難な者を入所措置し、養護した。							
【事業評価】 振り返り結果から見た改革改善策の具体的内容							
改革改善の内容		☐ (1)目的妥当性 ☐ (2)有効性 ☐ (3)効率性 ☐ (4)公正・公平性 ☐ (5)市民協働					

令和 6 年度 主要事業実績報告書

事務事業名	敬老事業	
基本目標	3	心身ともに健康で、活力に満ちたまちづくり
施策	09	元気に長生き高齢社会の実現

所管課	地域福祉課 (健康福祉課)
決算額(千円)	5,869

一般会計			款	03	民生費	項	01	社会福祉費
目	03	老人福祉費	事業	000800	敬老事業			
事業 事業 の 目 的	(1)対象(誰、何に対して事業を行うのですか？)					◆対象指標(上段:予算要求時点、下段:決算時点)		
	地域敬老事業費補助金対象者:75歳以上の者 長寿祝金対象者:満100歳に達する日において、その日まで引き続き10年以上本市に住民登録している者					①	75歳以上の人口	6,067人 5,884人
	(2)意図(この事業により対象をどのような状態にしたいのですか？)					②		
	高齢者に対し、感謝の意を表し、長寿を祝う。					◆成果(活動)指標(上段:計画値、下段:実績値)		
	(3)指標以外に考えられる成果					①	地域敬老事業費補助金の交付 対象となった75歳以上の者	4,246人 4,212人
						②		
事業概要								
令和3年度より地域で開催する敬老事業の経費の一部を補助する補助金制度を創設した。 ◆敬老記念品の贈呈 ・77歳(392人)、88歳(229人)の方に記念品を贈呈した。 ◆地域敬老事業費補助金 ・地域で開催する敬老事業の経費の一部を補助した。 ◆長寿祝金の贈呈 ・満100歳に達する日において、その日まで引き続き10年以上、本市に住民登録している者に対し、3万円分の八幡平市共通商品券と祝状、花束を贈呈した。 ・令和6年度は15名。								
【事業評価】 振り返り結果から見た改革改善策の具体的内容								
改革改善 の内容		☐ (1)目的妥当性 ☐ (2)有効性 ☐ (3)効率性 ☒ (4)公正・公平性 ☐ (5)市民協働 地域敬老事業は、地域団体によっては実施が難しいところもあり、自治会組織自体がない地域もある。実施の地域を増やすことでより公平性を保つことができる。						

事務事業名	シルバー人材センター運営費補助	
基本目標	3	心身ともに健康で、活力に満ちたまちづくり
施策	09	元気に長生き高齢社会の実現

所管課	地域福祉課 (健康福祉課)
決算額(千円)	8,200

一般会計			款	03	民生費	項	01	社会福祉費
目	03	老人福祉費	事業	001100	シルバー人材センター運営事業			
事業 事業 の 目 的	(1)対象(誰、何に対して事業を行うのですか？)					◆対象指標(上段:予算要求時点、下段:決算時点)		
	高齢者(60歳以上) (交付対象)八幡平市シルバー人材センター					①	60歳以上の人口	11,849人
								11,631人
	(2)意図(この事業により対象をどのような状態にしたいのですか？)					②	会員数	153人
	就業の機会の確保と社会参加により、自立が促される。							155人
						◆成果(活動)指標(上段:計画値、下段:実績値)		
(3)指標以外に考えられる成果					①	就労延べ人員	11,750人	
高齢者の就労が促進される。							12,199人	
					②	受注契約金額	62,300千円	
							72,429千円	
事業概要								
◆市シルバー人材センターの運営費を補助した。								
【事業評価】 振り返り結果から見た改革改善策の具体的内容								
改革改善 の内容		☐ (1)目的妥当性 ☐ (2)有効性 ☐ (3)効率性 ☐ (4)公正・公平性 ☐ (5)市民協働						

令和 6 年度 主要事業実績報告書

事務事業名	高齢者等温泉館管理運営事業	
基本目標	3	心身ともに健康で、活力に満ちたまちづくり
施策	09	元気に長生き高齢社会の実現

所管課	地域福祉課 (健康福祉課)
決算額(千円)	62,316

一般会計			款	03	民生費	項	01	社会福祉費
目	03	老人福祉費	事業	001700	高齢者等温泉館管理運営事業			
事務事業の目的	(1)対象(誰、何に対して事業を行うのですか?)					◆対象指標(上段:予算要求時点、下段:決算時点)		
	65歳以上の高齢者					①	65歳以上の人口	10,035人 9,936人
	(2)意図(この事業により対象をどのような状態にしたいのですか?)					②		
	娯楽や入浴により健康で生きがいのある生活を送る。					◆成果(活動)指標(上段:計画値、下段:実績値)		
	(3)指標以外に考えられる成果					①	65歳以上の利用者数(延べ)	70,000人 63,412人
						②		
事業概要								
◆「七時雨憩の湯」の管理運営を行った。 ・指定管理 令和4年度～令和8年度(5年間) ・令和6年度の指定管理料 28,346千円 ◆「なかやま温泉館」の管理運営を行った。 ・指定管理 令和4年度～令和8年度(5年間) ・令和6年度の指定管理料 11,292千円 ◆「綿帽子温泉館」の管理運営を行った。 ・指定管理 令和4年度～令和8年度(5年間) ・令和6年度の指定管理料 16,200千円								
【事業評価】 振り返り結果から見た改革改善策の具体的内容								
改革改善の内容		☐ (1)目的妥当性 ☐ (2)有効性 ☐ (3)効率性 ☒ (4)公正・公平性 ☐ (5)市民協働 将来的に、65歳以上の高齢者の利用料金について、民間事業者の温泉施設とのバランスを考慮しながら検討していく必要がある。						

事務事業名	介護予防・日常生活支援総合事業	
基本目標	3	心身ともに健康で、活力に満ちたまちづくり
施策	09	元気に長生き高齢社会の実現

所管課	地域福祉課 (健康福祉課)
決算額(千円)	17,295

一般会計			款	03	民生費	項	01	社会福祉費
目	05	地域包括支援センター費	事業	000300	介護予防・日常生活支援総合事業			
事務事業の目的	(1)対象(誰、何に対して事業を行うのですか?)					◆対象指標(上段:予算要求時点、下段:決算時点)		
	65歳以上の高齢者					①	65歳以上の人口	10,035人 9,936人
	(2)意図(この事業により対象をどのような状態にしたいのですか?)					②		
	生活機能の維持向上が図られ、要支援・要介護認定される状態にならない。					◆成果(活動)指標(上段:計画値、下段:実績値)		
	(3)指標以外に考えられる成果					①	介護予防教室等参加者数	4,300人 5,058人
	・住み慣れた地域で、高齢者が生きがいをもち、生き生きとした生活を送ることができる。 ・健康寿命の延伸 ・介護給付費や医療費の削減					②	要支援・要介護認定率	20.1% 19.1%
事業概要								
◆介護予防・生活支援サービス事業 第1号訪問事業、第1号通所事業を利用するための介護予防ケアマネジメント業務を行った。 ◆一般介護予防事業 ・介護予防教室・高齢者健康教室(委託)、リハビリ強化型運動教室(委託)、介護予防のための健康教室(直営)、介護予防教室「いきいき！カレッジ」(直営)を行った。 ・シルバーリハビリ体操指導者養成事業…シルバーリハビリ体操指導者を養成し、体操の普及と啓発と自主運営のシルバーリハビリ体操を行う通いの場の運営支援を行った。 ・ふれあいいきいきサロン事業(委託)・・・地域で高齢者が集い交流等を行った。 ・高齢者ニュースポーツ大会開催事業(委託)・・・高齢者のニュースポーツ大会を開催した。 ・介護支援ボランティアポイントモデル事業…高齢者が行ったボランティア活動に対しポイントを付与し、市内共通商品券と交換することで、高齢者の社会参加活動を推進した。								
【事業評価】 振り返り結果から見た改革改善策の具体的内容								
改革改善の内容		☐ (1)目的妥当性 ☐ (2)有効性 ☐ (3)効率性 ☐ (4)公正・公平性 ☐ (5)市民協働						

令和 6 年度 主要事業実績報告書

事務事業名	包括的支援事業 (地域包括支援センター運営・社会保障充実)	
基本目標	3	心身ともに健康で、活力に満ちたまちづくり
施策	09	元気に長生き高齢社会の実現

所管課	地域福祉課 (健康福祉課)
決算額(千円)	24,187

一般会計		款	03	民生費	項	01	社会福祉費
目	05	地域包括支援センター費		事業	000400	包括的支援事業(地域包括支援センター運営)	
事務事業の目的	(1)対象(誰、何に対して事業を行うのですか？)				◆対象指標(上段:予算要求時点、下段:決算時点)		
	65歳以上の高齢者及びその支援者				①	65歳以上の人口	10,035人 9,936人
	(2)意図(この事業により対象をどのような状態にしたいのですか？)				②		
	要介護状態等になっても、可能な限り住み慣れた地域でその人らしい生活が継続できる。				◆成果(活動)指標(上段:計画値、下段:実績値)		
	(3)指標以外に考えられる成果				①	65歳以上の要支援・要介護認定者数	1,924人 1,873人
	高齢者の生活や介護に対する不安が軽減する。				②		
事業概要							
◆地域包括支援センター運営(12,744千円) ・総合相談支援業務…総合相談、地域包括支援ネットワークの構築、実態把握、ランチ(総合相談窓口)の委託(3か所)を行った。 ・権利擁護業務…高齢者虐待及び消費者被害の防止、成年後見センターの運営(成年後見制度等の啓発・利用支援、盛岡北部成年後見ネットワーク事業(法人後見連絡会等)、地域連携ネットワーク会議)を行った。 ・包括的・継続的ケアマネジメント支援業務…関係機関との連携体制構築支援、介護支援専門員のネットワーク構築支援を行った。 ◆社会保障充実(11,443千円) ・生活支援体制整備事業(委託)…生活支援コーディネーターが地域資源を掘り起こし情報提供を行った。協議体会議や意見交換会を開催し、支援の方向性を確認した。 ・認知症総合支援事業…認知症初期集中支援チームによる支援(委託)、認知症地域支援推進員の配置、認知症カフェ開催やケア向上を目的とした普及啓発を行った。 ・地域ケア会議…介護支援専門員等の支援、ネットワーク強化及び地域課題解決に向け検討した。 ・在宅医療・介護連携推進事業…盛岡北部行政事務組合との協働による関係機関との連携体制の強化に努めた。							
【事業評価】 振り返り結果から見た改革改善策の具体的内容							
改革改善の内容		☐ (1)目的妥当性 ☐ (2)有効性 ☐ (3)効率性 ☐ (4)公正・公平性 ☐ (5)市民協働					

事務事業名	地域包括支援センター任意事業	
基本目標	3	心身ともに健康で、活力に満ちたまちづくり
施策	09	元気に長生き高齢社会の実現

所管課	地域福祉課 (健康福祉課)
決算額(千円)	2,358

一般会計		款	03	民生費	項	01	社会福祉費
目	05	地域包括支援センター費	事業	000600	地域包括支援センター任意事業		
事務事業の目的	(1)対象(誰、何に対して事業を行うのですか？)				◆対象指標(上段:予算要求時点、下段:決算時点)		
	65歳以上の高齢者 家族等支援者				①	65歳以上の人口	10,035人 9,936人
	(2)意図(この事業により対象をどのような状態にしたいのですか？)				②		
	住み慣れた地域でその人らしい生活を継続できる。 家族等が支援を継続できる。				◆成果(活動)指標(上段:計画値、下段:実績値)		
	(3)指標以外に考えられる成果				①	配食見守りサービス件数	4,000件 2,236件
					②	認知症サポーター養成講座 受講者数	200人 173人
事業概要							
◆家族介護支援事業(委託) 介護教室及び介護者交流会を実施する事業所に対し、開催に係る費用を助成した。 ◆認知症高齢者等見守り推進事業 認知症高齢者等の見守りを推進するため、ひとり歩きによる行方不明を早期発見できる仕組みの備わった用品(GPS等機器)を購入した者に購入費の一部を助成した。 ◆認知症サポーター養成講座等 認知症の方やその家族を地域で支える体制づくりのため、認知症に対する正しい知識の普及啓発を図るためのサポーター養成講座、行方不明になるおそれのある認知症高齢者に対する声かけ練習会を実施した。 ◆成年後見制度利用支援事業 成年後見制度の市長申立てに要する費用を負担する。低所得高齢者の後見活動を行う後見人等に対して、報酬を助成した。 ◆住宅改修理由書作成事務費補助 住宅改修理由書を作成する居宅介護支援事業者に対し、作成事務費を補助した。 ◆配食見守りサービス事業(委託) 在宅の食事づくりの困難な一人暮らし高齢者等に対して、栄養バランスのとれた弁当を提供し、併せて安否確認を実施した。							
【事業評価】 振り返り結果から見た改革改善策の具体的内容							
改革改善の内容		☐ (1)目的妥当性 ☐ (2)有効性 ☐ (3)効率性 ☐ (4)公正・公平性 ☐ (5)市民協働					

令和 6 年度 主要事業実績報告書

事務事業名	指定介護予防支援事業	
基本目標	3	心身ともに健康で、活力に満ちたまちづくり
施策	09	元気に長生き高齢社会の実現

所管課	地域福祉課 (健康福祉課)
決算額(千円)	6,546

一般会計		款	03	民生費	項	01	社会福祉費
目	05	地域包括支援センター費	事業	000700	指定介護予防支援事業		
事務事業の目的	(1)対象(誰、何に対して事業を行うのですか？)				◆対象指標(上段:予算要求時点、下段:決算時点)		
	要介護認定において要支援1、2の認定を受け、介護予防サービスの利用を受けようとする者				①	要介護認定において要支援1、2の認定者数	328人
							342人
	(2)意図(この事業により対象をどのような状態にしたいのですか？)				②		
	要介護状態にならずに、自立した生活を送ることができる。						
	(3)指標以外に考えられる成果				◆成果(活動)指標(上段:計画値、下段:実績値)		
適切な介護予防サービスを利用することにより、生活機能の維持改善が図られ、住み慣れた地域において安心して自立した生活を営むことができる。				①	介護予防サービス・支援計画書作成数	2,000件	
						2,601件	
				②	要支援から要介護となった者の割合	36%	
						36.8%	
事業概要							
◆要支援1、2と認定され介護予防サービスの利用を希望される高齢者等のケアマネジメントを行った。(アセスメント、ケアプラン作成、担当者会議、関係機関との連絡調整、モニタリング、給付管理等)							
◆ケアマネジメントの一部を指定居宅介護支援事業者に委託、ケアマネジャーの支援、連絡調整を行った。							
【事業評価】 振り返り結果から見た改革改善策の具体的内容							
改革改善の内容		☐ (1)目的妥当性 ☐ (2)有効性 ☐ (3)効率性 ☐ (4)公正・公平性 ☐ (5)市民協働					

事務事業名	児童扶養手当支給事業	
基本目標	1	未来への希望にもえるまちづくり
施策	02	安心して子育てができるまちづくり

所管課	健康こども課 (地域福祉課)
決算額(千円)	73,609

一般会計			款	03	民生費	項	02	児童福祉費
目	01	児童福祉総務費	事業	000600	児童扶養手当支給事業			
事務事業の目的	(1)対象(誰、何に対して事業を行うのですか？)					◆対象指標(上段:予算要求時点、下段:決算時点)		
	ひとり親家庭等					①	受給資格者数	190人 183人
	(2)意図(この事業により対象をどのような状態にしたいのですか？)					②		
	生活の安定と自立の促進を図る。					◆成果(活動)指標(上段:計画値、下段:実績値)		
	(3)指標以外に考えられる成果					①	給付人数	150人 146人
						②	給付金額(千円)	83,397 73,323
事業概要								
◆父母の離婚、死亡等によって父又は母と生計を同じくしていない児童や、父又は母が重度の障害の状態にある児童を養育している者に児童扶養手当(所得制限あり)を支給した。 従前の年3回(4月、8月、12月)支給から、令和元年11月以降は年6回(奇数月)の支給へ変更した。 国庫負担 1/3								
【事業評価】 振り返り結果から見た改革改善策の具体的内容								
改革改善の内容		☐ (1)目的妥当性 ☐ (2)有効性 ☐ (3)効率性 ☐ (4)公正・公平性 ☐ (5)市民協働						

令和 6 年度 主要事業実績報告書

事務事業名	保育等実施事業	
基本目標	1	未来への希望にもえるまちづくり
施策	02	安心して子育てができるまちづくり

所管課	健康こども課 (地域福祉課)
決算額(千円)	667,755

一般会計			款	03	民生費	項	02	児童福祉費
目	02	児童措置費	事業	000300	保育等実施事業			
事業 事業 の 目的	(1)対象(誰、何に対して事業を行うのですか?)					◆対象指標(上段:予算要求時点、下段:決算時点)		
	市内の私立保育園、市内の認定こども園、入所を委託する市外の保育所(園)、新制度に移行した幼稚園、認定こども園、地域型保育施設					①	市内私立保育園等数	9か所
								9か所
	(2)意図(この事業により対象をどのような状態にしたいのですか?)					②	市内私立保育園等入所児童数	460人
	就学前の子どもの保育の充実を図る							422人
	(3)指標以外に考えられる成果					◆成果(活動)指標(上段:計画値、下段:実績値)		
					①	市内私立保育園等入所率	100%	
							100%	
事業概要								
◆私立保育園等に対し、基準に基づいて保育費用を支出した。 ・保育所運営業務委託料(東慈寺保育園及び市外委託分) ・施設型等給付費(私立認定こども園・私立幼稚園・市外の認定子ども園等) ・地域型保育給付費(私立保育園、家庭的保育等) ・施設等利用給付費(認可外保育施設、一時預かり事業等) 満3歳以上 国1/2、県1/4 満3歳未満 国60%、県20%								
【事業評価】 振り返り結果から見た改革改善策の具体的内容								
改革改善 の内容		☐ (1)目的妥当性 ☐ (2)有効性 ☒ (3)効率性 ☐ (4)公正・公平性 ☐ (5)市民協働						
		現在利用しているシステムを今後も継続して利用するか、それとも他システムを利用するか検討が必要。						

事務事業名	特別保育事業実施事業	
基本目標	1	未来への希望にもえるまちづくり
施策	02	安心して子育てができるまちづくり

所管課	健康こども課 (地域福祉課)
決算額(千円)	61,780

一般会計			款	03	民生費		項	02	児童福祉費	
目	02	児童措置費		事業	000400	特別保育事業実施事業				
事業 事業 の 目的	(1)対象(誰、何に対して事業を行うのですか?)						◆対象指標(上段:予算要求時点、下段:決算時点)			
	市内の私立保育園、地域型保育施設とその入所児童、在宅の児童						①	市内私立保育園等入所児童数		460人
	(2)意図(この事業により対象をどのような状態にしたいのですか?)						②	在宅児童数	422人	
	希望する保育サービス等が受けられる。								50人	
	(3)指標以外に考えられる成果						②		94人	
									◆成果(活動)指標(上段:計画値、下段:実績値)	
						①			特別保育利用児童数	200人
								171人		
事業概要										
◆私立保育施設が一時保育、延長保育を行う場合に補助金を交付した。(国1/3、県1/3) ・私立保育所等一時保育促進事業費補助金(9施設) ・私立保育所等延長保育事業費補助金(7施設) ◆子育て支援センターに対し、運営費を補助した。(国1/3、県1/3) ・地域子育て支援拠点事業費補助金(森の子保育園) ◆私立保育所等運営事業費補助金(市単独) ・障がい児支援保育事業、看護師等雇用事業、歯科健診実施事業 ◆産休等代替職員費補助金(全額県単独補助)										
【事業評価】 振り返り結果から見た改革改善策の具体的内容										
改革改善 の内容		☐ (1)目的妥当性 ☐ (2)有効性 ☐ (3)効率性 ☐ (4)公正・公平性 ☐ (5)市民協働								

令和 6 年度 主要事業実績報告書

事務事業名	放課後児童健全育成事業	
基本目標	1	未来への希望にもえるまちづくり
施策	02	安心して子育てができるまちづくり

所管課	健康こども課 (地域福祉課)
決算額(千円)	118,032

一般会計			款	03	民生費	項	02	児童福祉費
目	02	児童措置費	事業	000500	放課後児童健全育成事業			
事務事業の目的	(1)対象(誰、何に対して事業を行うのですか？)					◆対象指標(上段:予算要求時点、下段:決算時点)		
	小学校の放課後に保育が必要な児童					①	小学校に在籍する児童	886人
								848人
	(2)意図(この事業により対象をどのような状態にしたいのですか？)					②		
	放課後を安全で健全に過ごすことにより、健やかな成長を図る。							
	(3)指標以外に考えられる成果					◆成果(活動)指標(上段:計画値、下段:実績値)		
保護者が安心して子どもを預け働くことができる。					①	学童保育クラブ登録児童数	537人	
							511人	
					②			
事業概要								
◆公設の12学童保育クラブ(指定管理8、業務委託4)の管理運営を行った。								
◆私設学童保育クラブ(1施設)に対し、運営費の補助を行った。								
◆補助基本額の国1/3、県1/3								
【事業評価】 振り返り結果から見た改革改善策の具体的内容								
改革改善の内容		☐ (1)目的妥当性 ☐ (2)有効性 ☐ (3)効率性 ☐ (4)公正・公平性 ☐ (5)市民協働						

事務事業名	児童手当等支給事業	
基本目標	1	未来への希望にもえるまちづくり
施策	02	安心して子育てができるまちづくり

所管課	健康こども課 (地域福祉課)
決算額(千円)	260,531

一般会計			款	03	民生費	項	02	児童福祉費
目	02	児童措置費	事業	000600 児童手当等支給事業				
事務事業の目的	(1)対象(誰、何に対して事業を行うのですか？)					◆対象指標(上段:予算要求時点、下段:決算時点)		
	児童(0歳から18歳に達する日以後の最初の3月31日までの間にある)を養育している保護者					①	支給対象児童延べ人数	21,216人 21,737人
						②		
	(2)意図(この事業により対象をどのような状態にしたいのですか？)					◆成果(活動)指標(上段:計画値、下段:実績値)		
	経済的負担の軽減					①	給付延べ人数(児童数)	21,216人 21,737人
	(3)指標以外に考えられる成果					②	給付金額(千円)	236,160 257,055
児童の健全な育成								
事業概要								
◆対象児童を養育する保護者に対し児童手当を支給した。 ①令和6年9月分までについては、15歳に達した後、最初の3月31日までの間にある児童を養育する保護者に対し、3歳未満及び小学生以下の第3子以降の児童については月額1万5千円、それ以外の児童は1万円(所得制限あり)を支給した。所得制限を超過した場合は、児童1人に対し一律5千円(特例給付)を支給した。 6、10月に、前月以前4か月分の手当てをそれぞれ支給した。 ②令和6年10月の制度改正により、対象児童が「0歳から18歳に達する日以後の最初の3月31日までの間にある子」とされ、令和6年10月以降分について適用になった。制度改正後は所得制限がなくなり、3歳未満の児童には月額1万5千円、それ以外の児童には1万円、第3子以降の児童については3万円を支給した。 また、支給回数も年6回(偶数月に前月分までを支給)に変更となり、12、2月に前月及び前々月分の手当てをそれぞれ支給した。								
国庫負担 被用者3歳未満 全額、非被用者3歳未満 13/15、3歳以上 7/9 県負担 非被用者3歳未満 1/15、3歳以上 1/9								
【事業評価】 振り返り結果から見た改革改善策の具体的内容								
改革改善の内容		☐ (1)目的妥当性 ☐ (2)有効性 ☐ (3)効率性 ☐ (4)公正・公平性 ☐ (5)市民協働						

令和 6 年度 主要事業実績報告書

事務事業名	障害児等福祉対策事業		
基本目標	1	未来への希望にもえるまちづくり	
施策	02	安心して子育てができるまちづくり	

所管課	地域福祉課
決算額(千円)	66,115

一般会計			款	03	民生費	項	02	児童福祉費
目	02	児童措置費	事業	000700	障害児等福祉対策事業			
事務事業の目的	(1)対象(誰、何に対して事業を行うのですか？)					◆対象指標(上段:予算要求時点、下段:決算時点)		
	・18歳未満の身体・知的・精神障がい児または難病を持つ児 ・小児慢性特定疾患児と保護者					①	障害児通所利用希望者数	37人
								42人
	(2)意図(この事業により対象をどのような状態にしたいのですか？)					②	小児慢性特定疾患児	9人
	障がい児通所事業所に通うことで日常生活における基本的動作等を身に付ける。 用具の給付により日常生活の便宜が図られる。							10人
	(3)指標以外に考えられる成果					◆成果(活動)指標(上段:計画値、下段:実績値)		
					①	障害児通所延べ利用者数	646人	
							668人	
					②	小児慢性特定疾患日常生活用具給付者数	1人	
		0人						
事業概要								
◆未就学児には、日常生活における基本的な動作の指導、知識技能の付与、集団生活への適応訓練の支援した。就学児には生活能力の向上に必要な訓練、社会との交流の促進を支援した。 ・障害児入所給付費等負担金 国1/2 県1/4 ◆小児慢性特定疾患児の身体欠損又は身体機能の損傷を補い、日常生活を容易にするとともに日常生活の便宜を図るものであるが、実績がなかった。 ・小児慢性特定疾病対策補助金 県1/2								
【事業評価】 振り返り結果から見た改革改善策の具体的内容								
改革改善の内容		☐ (1)目的妥当性 ☐ (2)有効性 ☐ (3)効率性 ☐ (4)公正・公平性 ☐ (5)市民協働						

事務事業名	保育所施設管理運営事業		
基本目標	1	未来への希望にもえるまちづくり	
施策	02	安心して子育てができるまちづくり	

所管課	健康こども課 (地域福祉課)
決算額(千円)	87,968

一般会計			款	03	民生費		項	02	児童福祉費	
目	03	児童福祉施設費		事業	000300		保育所施設管理運営事業			
事務事業の目的	(1)対象(誰、何に対して事業を行うのですか?)						◆対象指標(上段:予算要求時点、下段:決算時点)			
	保育を必要とする児童						①	公立保育所数	4施設	
									4施設	
	(2)意図(この事業により対象をどのような状態にしたいのですか?)						②	公立保育所入所児童数	105人	
	安心・安全な保育を提供する								106人	
	(3)指標以外に考えられる成果						◆成果(活動)指標(上段:計画値、下段:実績値)			
							①	年度当初の待機児童数	0人	
0人										
							②	年度末の待機児童数	0人	
						0人				
事業概要										
◆保育所の管理運営を良好に行った。 ・保育所設置基準を満たすため、各保育所に臨時保育士等を必要数配置した。 ・施設の点検や修繕等の維持管理を行った。										
【事業評価】 振り返り結果から見た改革改善策の具体的内容										
改革改善の内容		☐ (1)目的妥当性 ☐ (2)有効性 ☐ (3)効率性 ☐ (4)公正・公平性 ☐ (5)市民協働								

令和 6 年度 主要事業実績報告書

事務事業名	子ども医療費助成事業	
基本目標	1	未来への希望にもえるまちづくり
施策	02	安心して子育てができるまちづくり

所管課	市民課
決算額(千円)	74,845

一般会計		款	03	民生費		項	02	児童福祉費	
目	04	母子福祉費		事業	000301	子ども医療費助成事業			
事務事業の目的	(1)対象(誰、何に対して事業を行うのですか?)					◆対象指標(上段:予算要求時点、下段:決算時点)			
	市内に住所を有する子ども (「子ども」とは出生の日から18歳に達する年度末までの者)					①	市内の子どもの対象者数	2,418人	
								2,311人	
	(2)意図(この事業により対象をどのような状態にしたいのですか?)					②			
	①適正な医療の確保による子どもの心身の健康の保持 ②医療費に係る経済的負担の解消								
	(3)指標以外に考えられる成果					◆成果(活動)指標(上段:計画値、下段:実績値)			
・子どもを持つ家庭の医療費に係る経済的負担を解消する。 ・子育て支援施策が充実し、出生者数、転入者数の増が見込まれる。 ・早期に受診できることから、疾病の重篤化が予防できる。					①	給付件数	30,000件		
							31,910件		
					②	給付額	70,200千円		
							69,376千円		
事業概要									
◆高校生世代までの子どもを対象に、医療費の自己負担分全額を助成した。									
◆給付方法は、未就学児から高校生世代までが窓口での負担を要しない「現物給付方式」。									
【事業評価】 振り返り結果から見た改革改善策の具体的内容									
改革改善の内容		☐ (1)目的妥当性 ☐ (2)有効性 ☐ (3)効率性 ☐ (4)公正・公平性 ☐ (5)市民協働							

事務事業名	ひとり親医療費助成事業	
基本目標	1	未来への希望にもえるまちづくり
施策	02	安心して子育てができるまちづくり

所管課	市民課
決算額(千円)	14,937

一般会計		款	03	民生費		項	02	児童福祉費	
目	04	母子福祉費		事業	000302	ひとり親医療費助成事業			
事務事業の目的	(1)対象(誰、何に対して事業を行うのですか?)					◆対象指標(上段:予算要求時点、下段:決算時点)			
	市内に住所を有するひとり親家庭					①	市内のひとり親家庭の人数		477人
									434人
	(2)意図(この事業により対象をどのような状態にしたいのですか?)					②			
	①適正な医療の確保により心身の健康が保持される。 ②医療費に係る経済的負担の解消								
	(3)指標以外に考えられる成果					◆成果(活動)指標(上段:計画値、下段:実績値)			
・経済的不安を解消し、生活の安定を図る。 ・心身の健康が保持される。 ・早期に受診できることから、疾病の重篤化が予防できる。					①	給付件数		5,000件	
								5,435件	
					14,453千円				
事業概要									
◆18歳までの児童を扶養する配偶者のいない者及びその児童を対象に、医療費の一部負担金分について助成した。(所得制限あり、課税世帯は1ヵ月1医療機関ごとに外来で1,500円、入院で5,000円を超えた分を助成する。非課税世帯及び高校生以下は、一部負担金分を全額助成。) 給付方法は、対象者が一旦一部負担金を支払い、後日市から給付する「償還払い方式」。 ◆医療機関からの診療報酬明細書等医療費データの審査及び集計事務を国保連への委託により行った。									
【事業評価】 振り返り結果から見た改革改善策の具体的内容									
改革改善の内容		☐ (1)目的妥当性 ☐ (2)有効性 ☐ (3)効率性 ☐ (4)公正・公平性 ☐ (5)市民協働							

令和 6 年度 主要事業実績報告書

事務事業名	妊産婦医療費助成事業	
基本目標	1	未来への希望にもえるまちづくり
施策	02	安心して子育てができるまちづくり

所管課	市民課
決算額(千円)	2,472

一般会計			款	03	民生費	項	02	児童福祉費
目	04	母子福祉費	事業	000303	妊産婦医療費助成事業			
事務事業の目的	(1)対象(誰、何に対して事業を行うのですか?)					◆対象指標(上段:予算要求時点、下段:決算時点)		
	①市内に住所を有する妊産婦					①	市内の妊産婦の対象者数	55人
								34人
	(2)意図(この事業により対象をどのような状態にしたいのですか?)					②		
	①適正な医療の確保により心身の健康が保持され、安心して出産できる。 ②医療費に係る経済的負担を解消する。							
	(3)指標以外に考えられる成果					◆成果(活動)指標(上段:計画値、下段:実績値)		
・母体の適切な健康管理により胎児の健康が保持増進される。 ・子育て支援施策が充実し、出生者数、転入者数の増が見込まれる。 ・早期に受診できることから、疾病の重篤化が予防できる。					①	給付件数	550件	
							311件	
							2,442千円	
事業概要								
◆妊産婦を対象に、妊娠5ヶ月に達する日の属する月の初日から出産した日の翌月末日までの期間、医療費の一部負担金分を助成した。(所得制限なし、課税世帯は1ヵ月1医療機関ごとに外来1,500円、入院5,000円を超えた分を助成している。非課税世帯は、一部負担金分を全額助成。)								
◆給付方法は、対象者が窓口での負担を要しない「現物給付方式」。								
◆医療機関からの診療報酬明細書等医療費データの審査及び集計事務を国保連への委託により行った。								
【事業評価】 振り返り結果から見た改革改善策の具体的内容								
改革改善の内容	☐ (1)目的妥当性 ☐ (2)有効性 ☐ (3)効率性 ☐ (4)公正・公平性 ☐ (5)市民協働							

事務事業名	生活保護扶助費	
基本目標	3	心身ともに健康で、活力に満ちたまちづくり
施策	10	地域を見守る福祉の推進

所管課	地域福祉課
決算額(千円)	213,139

一般会計			款	03	民生費	項	03	生活保護費
目	02	扶助費	事業	000300	生活保護扶助費			
事務事業の目的	(1)対象(誰、何に対して事業を行うのですか?)					◆対象指標(上段:予算要求時点、下段:決算時点)		
	生活保護法に基づく生活保護受給者					①	生活保護受給者数	200人
								157人
	(2)意図(この事業により対象をどのような状態にしたいのですか?)					②	生活保護受給世帯数	158世帯
	困窮の程度に応じ、必要な保護(金品及び現物支給)を行い、自立を助長する。							135世帯
	(3)指標以外に考えられる成果					◆成果(活動)指標(上段:計画値、下段:実績値)		
					①	被保護率	8%	
							7.15%	
事業概要								
◆生活保護法で定める生活困窮者に対し、最低限度の生活を保障するため、保護申請世帯の調査・保護決定事務等を実施し、保護費認定事務により必要な扶助を行った。(保護の種類:生活扶助・住宅扶助・教育扶助・出産扶助・生業扶助・葬祭扶助・医療扶助・介護扶助)								
◆被保護者の自立を助長するため、相談に応じ、必要な助言を行った。								
【事業評価】 振り返り結果から見た改革改善策の具体的内容								
改革改善の内容		☐ (1)目的妥当性 ☐ (2)有効性 ☐ (3)効率性 ☐ (4)公正・公平性 ☐ (5)市民協働						

その他の事業の成果について

関連する事務事業名	保育等実施事業、保育所施設管理運営事業																																																																																																												
成果の内容	※令和7年3月31日時点（保育のみ）																																																																																																												
	保育実施状況（私立） (単位：人) <table> <tr> <th rowspan="2">保育園等名</th><th colspan="2">令和5年度</th><th colspan="2">令和6年度</th><th rowspan="2">児童数の増減</th></tr> <tr> <th>定員</th><th>児童数</th><th>定員</th><th>児童数</th></tr> <tr> <td>東 慈 寺 保 育 園</td><td>60</td><td>69</td><td>60</td><td>61</td><td>△8</td></tr> <tr> <td>杉の子こども園</td><td>90</td><td>87</td><td>90</td><td>85</td><td>△2</td></tr> <tr> <td>森の子保育園</td><td>12</td><td>12</td><td>12</td><td>11</td><td>△1</td></tr> <tr> <td>平 館 こ ど も 園</td><td>80</td><td>79</td><td>80</td><td>64</td><td>△15</td></tr> <tr> <td>大 更 こ ど も 園</td><td>90</td><td>99</td><td>90</td><td>97</td><td>△2</td></tr> <tr> <td>あしろこども園</td><td>30</td><td>29</td><td>30</td><td>27</td><td>△2</td></tr> <tr> <td>畑 保 育 園</td><td>12</td><td>18</td><td>12</td><td>23</td><td>5</td></tr> <tr> <td>ままいろはうす</td><td>5</td><td>5</td><td>5</td><td>4</td><td>△1</td></tr> <tr> <td>合 計</td><td>379</td><td>398</td><td>379</td><td>372</td><td>△26</td></tr> </table> 保育実施状況（公立） (単位：人) <table> <tr> <th rowspan="2">保育所名</th><th colspan="2">令和5年度</th><th colspan="2">令和6年度</th><th rowspan="2">児童数の増減</th></tr> <tr> <th>定員</th><th>児童数</th><th>定員</th><th>児童数</th></tr> <tr> <td>寺 田 保 育 所</td><td>60</td><td>23</td><td>60</td><td>18</td><td>△5</td></tr> <tr> <td>松 尾 保 育 所</td><td>150</td><td>65</td><td>150</td><td>62</td><td>△3</td></tr> <tr> <td>柏 台 保 育 所</td><td>45</td><td>18</td><td>45</td><td>13</td><td>△5</td></tr> <tr> <td>田 山 保 育 所</td><td>50</td><td>16</td><td>50</td><td>13</td><td>△3</td></tr> <tr> <td>合 計</td><td>305</td><td>122</td><td>305</td><td>106</td><td>△16</td></tr> </table>					保育園等名	令和5年度		令和6年度		児童数の増減	定員	児童数	定員	児童数	東 慈 寺 保 育 園	60	69	60	61	△8	杉の子こども園	90	87	90	85	△2	森の子保育園	12	12	12	11	△1	平 館 こ ど も 園	80	79	80	64	△15	大 更 こ ど も 園	90	99	90	97	△2	あしろこども園	30	29	30	27	△2	畑 保 育 園	12	18	12	23	5	ままいろはうす	5	5	5	4	△1	合 計	379	398	379	372	△26	保育所名	令和5年度		令和6年度		児童数の増減	定員	児童数	定員	児童数	寺 田 保 育 所	60	23	60	18	△5	松 尾 保 育 所	150	65	150	62	△3	柏 台 保 育 所	45	18	45	13	△5	田 山 保 育 所	50	16	50	13	△3	合 計	305	122	305	106	△16
保育園等名	令和5年度		令和6年度		児童数の増減																																																																																																								
	定員	児童数	定員	児童数																																																																																																									
東 慈 寺 保 育 園	60	69	60	61	△8																																																																																																								
杉の子こども園	90	87	90	85	△2																																																																																																								
森の子保育園	12	12	12	11	△1																																																																																																								
平 館 こ ど も 園	80	79	80	64	△15																																																																																																								
大 更 こ ど も 園	90	99	90	97	△2																																																																																																								
あしろこども園	30	29	30	27	△2																																																																																																								
畑 保 育 園	12	18	12	23	5																																																																																																								
ままいろはうす	5	5	5	4	△1																																																																																																								
合 計	379	398	379	372	△26																																																																																																								
保育所名	令和5年度		令和6年度		児童数の増減																																																																																																								
	定員	児童数	定員	児童数																																																																																																									
寺 田 保 育 所	60	23	60	18	△5																																																																																																								
松 尾 保 育 所	150	65	150	62	△3																																																																																																								
柏 台 保 育 所	45	18	45	13	△5																																																																																																								
田 山 保 育 所	50	16	50	13	△3																																																																																																								
合 計	305	122	305	106	△16																																																																																																								

令和 6 年度 主要事業実績報告書

事務事業名	医師・看護師養成事業	
基本目標	3	心身ともに健康で、活力に満ちたまちづくり
施策	11	安心できる医療の充実

所管課	健康こども課 (健康福祉課)
決算額(千円)	6,391

一般会計			款	04	衛生費	項	01	保健衛生費
目	01	保健衛生総務費	事業	000400	医師・看護師養成事業			
事務事業の目的	(1)対象(誰、何に対して事業を行うのですか?)					◆対象指標(上段:予算要求時点、下段:決算時点)		
	将来、医師として医療に従事しようとする医科大学生及び医療に従事しようとする看護学生					①	市の養成事業を利用している修学生数(医師及び看護師)	4人
								2人
	(2)意図(この事業により対象をどのような状態にしたいのですか?)					②	国保連の養成事業を利用している修学生数(医師)	15人
	①医師は市内公立病院に勤務、看護師は市内医療機関等に従事 ②国保連医師養成事業で、県立及び市町村立病院に従事							0人
目的	(3)指標以外に考えられる成果					◆成果(活動)指標(上段:計画値、下段:実績値)		
	市内公立病院の医療内容の充実、地域に密着した医療の確保と市内医療機関等の看護師の充実、継続した公立病院の医師の確保					①	市内公立病院に従事した養成医師数及び市内医療機関等に 従事した養成看護師数	3人
								3人
					②	八幡平市への派遣医師数	1人	
								0人
事業概要								
◆将来、市内公立病院に医師として従事しようとする医学生及び市内医療施設において看護師として従事しようとする看護学生に対して、修学を容易にするとともに医療従事者の確保を図るため、修学資金(医師:月額貸付金30万円、看護師:月額8万円)の貸付を行った。養成医師については、現在、一定の人数を養成中であるため、令和3年度より新規の募集を中止している。 令和6年度の実績は、養成医師1人(継続)、養成看護師1人(継続)であった。 ◆岩手県国民健康保険団体連合会市町村医師養成事業実施規則により、医師養成事業に要する経費を負担した。また、岩手県市町村振興協会へ助成金申請を行った。 国保連の養成医師が、令和4年度に2人、令和5年度に1人、八幡平市立病院に配置された。								
【事業評価】 振り返り結果から見た改革改善策の具体的内容								
改革改善の内容	☐ (1)目的妥当性 ☐ (2)有効性 ☐ (3)効率性 ☐ (4)公正・公平性 ☐ (5)市民協働							

事務事業名	地域医療推進事業	
基本目標	3	心身ともに健康で、活力に満ちたまちづくり
施策	11	安心できる医療の充実

所管課	健康こども課 (健康福祉課)
決算額(千円)	3,876

一般会計			款	04	衛生費	項	01	保健衛生費
目	01	保健衛生総務費	事業	000600	地域医療推進事業			
事務事業の目的	(1)対象(誰、何に対して事業を行うのですか?)					◆対象指標(上段:予算要求時点、下段:決算時点)		
	市民					①	人口	23,581人 22,949人
	(2)意図(この事業により対象をどのような状態にしたいのですか?)					②		
	①必要な救命及び早期治療が受けられる。 ②休日でも医療機関で初期救急医療を受けられる。					◆成果(活動)指標(上段:計画値、下段:実績値)		
	(3)指標以外に考えられる成果					①	二次救急患者数(二次救急+小児救急)	2,600人 1,467人
	①急を要する疾病に対応する体制を整備し、高度な救急医療を受けられるようにすることで、住民の安心感につながる。 ②早期受診により、疾病の重症化が予防できる。					②	休日救急受診者数(八幡平市分)	1,900人 1,384人
事業概要								
◆盛岡保健医療圏の救急医療の確保及び地域医療の充実を図るため、取りまとめを担当している盛岡市に対し負担金を支出した。 ◆休日における日中の初期救急医療体制を確保するため、岩手西北医師会へ事業委託を行い、委託料を支出した。ただし、市内休日当番医の調整については、市が行った。								
【事業評価】 振り返り結果から見た改革改善策の具体的内容								
改革改善の内容		☐ (1)目的妥当性 ☐ (2)有効性 ☐ (3)効率性 ☐ (4)公正・公平性 ☐ (5)市民協働						

令和 6 年度 主要事業実績報告書

事務事業名	予防接種事業	
基本目標	3	心身ともに健康で、活力に満ちたまちづくり
施策	08	心も体も健やかに暮らせるまちづくり

所管課	健康こども課 (健康福祉課)
決算額(千円)	113,070

一般会計			款	04	衛生費		項	01	保健衛生費	
目	02	予防費		事業	000400		予防接種事業			
事業 事業 の 目 的	(1)対象(誰、何に対して事業を行うのですか?)						◆対象指標(上段:予算要求時点、下段:決算時点)			
	予防接種:市内に住所を有する乳幼児及び児童・生徒・対象となる成人 感染症予防:市民						①	定期予防接種の対象者数	29,047人	
									23,563人	
	(2)意図(この事業により対象をどのような状態にしたいのですか?)						②	任意予防接種の対象者数	3,553人	
	感染症予防の知識の普及や予防接種を行うことで、疾病の発症及びまん延、重症化を抑制し、市民の健康を守る。								3,394人	
							◆成果(活動)指標(上段:計画値、下段:実績値)			
	(3)指標以外に考えられる成果						①	定期予防接種の接種率	80%	
予防接種によって、集団感染の拡大を抑制することができる。								51.1%		
						②	任意予防接種の接種率	60%		
								35.9%		

事業概要	
◆各種病原体に対する免疫を持たない者へ、感染予防・発症予防・重症化予防・感染症のまん延予防を目的に予防接種を実施した。 (1) 定期予防接種 ① A類疾病…B型肝炎、Hib感染症、小児の肺炎球菌感染症、DPT-IPV(四種混合)、DPT-IPV-Hib(五種混合)、DT(二種混合)、結核(BCG)、麻疹風しん混合(MR)、水痘、日本脳炎、HPV感染症、ロタウイルス感染症 ② B類疾病…高齢者の季節性インフルエンザ、高齢者の肺炎球菌感染症、高齢者の新型コロナウイルス感染症 ③ 風しん予防接種(追加的対策)…令和4年度～令和6年度にかけて、昭和37年4月2日から昭和54年4月1日生まれの男性を対象に実施。対象者へ抗体検査を行い、抗体価の低い者へ予防接種を行った。 (2) 任意予防接種…インフルエンザ(幼児・小学生・中学生)、おたふくかぜ ◆感染症対策の実施 ① 感染症予防の知識の普及 ② 新型コロナウイルスワクチン接種の実施 現年: 112,999千円 明許: 71千円	
【事業評価】 振り返り結果から見た改革改善策の具体的内容	
改革改善の内容	☐ (1) 目的妥当性 ☒ (2) 有効性 ☐ (3) 効率性 ☐ (4) 公正・公平性 ☐ (5) 市民協働 通知内容、説明書類をわかりやすいものに改善する。また、未受診者を確認し随時接種勧奨を行う。

事務事業名	生活習慣病予防事業	
基本目標	3	心身ともに健康で、活力に満ちたまちづくり
施策	08	心も体も健やかに暮らせるまちづくり

所管課	健康こども課 (健康福祉課)
決算額(千円)	34,409

一般会計			款	04	衛生費	項	01	保健衛生費
目	03	保健事業費	事業	000400		生活習慣病予防事業		
事業 事業 の 目 的	(1)対象(誰、何に対して事業を行うのですか?)					◆対象指標(上段:予算要求時点、下段:決算時点)		
	各種検診ごとの対象者					①	精密検査未受診者数	100人
								156人
	(2)意図(この事業により対象をどのような状態にしたいのですか?)					②	5大がん検診対象者数(延べ)	27,544人
	がん及び脳血管疾患の早期発見・早期治療につなげ、疾患の重症化を防ぐ							25,287人
	(3)指標以外に考えられる成果					◆成果(活動)指標(上段:計画値、下段:実績値)		
	・自己の健康管理に関する意識・関心の向上 ・疾患の早期発見・早期治療により、重症化を防ぐ					①	精密検査受診率	90%
64.1%								
②						5大がん検診受診率	50%	
	33%							

事業概要	
◆生活習慣病予防検診の実施(集団検診) ・胃がん検診(40歳以上) ・大腸がん検診(35歳以上) ・肺がん検診(40歳以上。ハイリスク該当者は喀痰検査も実施。65歳以上は結核検診も兼ねる) ・子宮頸がん検診(20歳以上の偶数年齢の女性) ・乳がん検診(40歳以上の偶数年齢の女性) ・前立腺がん検診(50歳以上の男性) ・肝炎ウイルス検診(40歳の者、及び41歳以上で検査をしたことがない者) ・骨粗しょう症予防検診(20～70歳の5歳刻み年齢の女性) ・健康診査(40歳以上の生活保護受給世帯の者、その他) ・特定健診受診者の詳細な検査…貧血検査、眼底検査、心電図検査、血清クレアチニン検査 ◆健康手帳の交付(40歳の市民) ◆脳ドック受診費用助成 ◆医療用補正具購入費用助成(医療用全頭用ウィッグ及び乳房補正具購入費の2分の1を助成。上限2万円)	
【事業評価】 振り返り結果から見た改革改善策の具体的内容	
改革改善の内容	☐ (1) 目的妥当性 ☐ (2) 有効性 ☐ (3) 効率性 ☐ (4) 公正・公平性 ☐ (5) 市民協働

令和 6 年度 主要事業実績報告書

事務事業名	母子保健事業	
基本目標	3	心身ともに健康で、活力に満ちたまちづくり
施策	08	心も体も健やかに暮らせるまちづくり

所管課	健康こども課 (健康福祉課)
決算額(千円)	51,029

一般会計			款	04	衛生費	項	01	保健衛生費
目	03	保健事業費	事業	000500	母子保健事業			
事務事業の目的	(1)対象(誰、何に対して事業を行うのですか？)					◆対象指標(上段:予算要求時点、下段:決算時点)		
	①妊産婦					①	妊娠届出数	60人
	②乳幼児							57人
	(2)意図(この事業により対象をどのような状態にしたいのですか？)					②	出生数	70人
	①妊娠・出産・育児についての理解を深め、安心して子供を産み、育てられる。 ②疾病や障害の早期発見・早期対応により、重症化を予防する。							57人
	◆成果(活動)指標(上段:計画値、下段:実績値)							
目的	(3)指標以外に考えられる成果					①	各教室・相談利用の延べ人数	600人
	・妊娠を望む人・妊婦・保護者の経済的負担の解消、医療費の抑制 ・育児不安の軽減により、乳幼児虐待の未然防止ができる。 ・妊産婦・乳幼児の健康の保持、増進							333人
						②	乳幼児健診受診率	100%
								100%
事業概要								
妊娠期から子育て家庭に寄り添い、安心して出産及び子育てができるように各事業を実施した。 ◆母子健康手帳の交付、妊婦健診(子宮頸がん検診1回、妊婦一般14回、妊婦歯科1回)及び産婦健診(2回)の実施 ◆新生児聴覚検査(1回)、乳児健診(2回)及び集団健診(3～4か月児、6～7か月児、1歳児、1歳6か月児、3歳児、2歳6か月児歯科)の実施 ◆各種教室(もうすぐパパママ教室、離乳食教室、幼児教室)、各種健康相談(発達相談、産婦人科・小児科オンライン相談)、産後ケア事業(訪問型2回、デイサービス型2回)の実施 ◆ハイリスク妊産婦に対して、周産期母子医療センターまでの交通費等を助成 ◆未熟児療育医療給付事業 ◆出産・子育て応援給付金支給事業(妊娠期10万円、出産後50万円を支給)								
【事業評価】 振り返り結果から見た改革改善策の具体的内容								
改革改善の内容	☐ (1)目的妥当性 ☐ (2)有効性 ☐ (3)効率性 ☐ (4)公正・公平性 ☐ (5)市民協働							

事務事業名	精神保健事業	
基本目標	3	心身ともに健康で、活力に満ちたまちづくり
施策	08	心も体も健やかに暮らせるまちづくり

所管課	健康こども課 (健康福祉課)
決算額(千円)	151

一般会計			款	04	衛生費	項	01	保健衛生費
目	03	保健事業費	事業	000700	精神保健事業			
事務事業の目的	(1)対象(誰、何に対して事業を行うのですか?)					◆対象指標(上段:予算要求時点、下段:決算時点)		
	市民					①	人口	23,581人 22,949人
	(2)意図(この事業により対象をどのような状態にしたいのですか?)					②		
	・精神保健に関する正しい知識を持ち、適切な行動をとることができる。 ・精神疾患患者が治療をしながら地域で暮らし、社会復帰ができるようになる。					◆成果(活動)指標(上段:計画値、下段:実績値)		
	(3)指標以外に考えられる成果					①	ゲートキーパー養成研修受講者数	50人 272人
	・心の健康や自殺についての正しい知識を持つ市民の増加 ・悩みを抱えた際に、人を頼る等のセルフヘルプがとれる市民の増加					②		
事業概要								
◆ライフサイクルの中で生じる様々な問題(乳幼児・思春期のこころと行動の問題、精神障がい発症の危機、産後うつ、ストレス、アルコール依存、うつ病、認知症、介護の問題等)に対応するため、次の事業を実施し、精神保健の知識の普及・啓発を推進した。 ①相談事業:精神科医による個別相談の実施、保健師による電話相談・訪問等 ②人材育成:ゲートキーパー養成研修の開催、心のサポーター養成研修の開催 ③普及啓発:普及啓発キャンペーンの実施、こころの健康相談等の周知 ④早期発見・対応:うつスクリーニングの実施、産後うつスクリーニングの実施 ⑤社会復帰支援:精神障がい者を対象にデイケアを月1回開催 ◆自殺対策庁内連絡会の実施								
【事業評価】 振り返り結果から見た改革改善策の具体的内容								
改革改善の内容		☒ (1)目的妥当性 ☒ (2)有効性 ☐ (3)効率性 ☐ (4)公正・公平性 ☐ (5)市民協働						
		目的妥当性:自殺予防等の普及啓発は、キャンペーンの実施だけでは不十分。ライフステージに応じた研修会等を設ける必要がある。 有効性:多岐にわたる自殺の要因に対し、多方面からアプローチしていく必要がある。他部署や関係機関とのネットワークが必要である。						

令和 6 年度 主要事業実績報告書

事務事業名	高齢者保健・介護予防一体的実施事業	
基本目標	3	心身ともに健康で、活力に満ちたまちづくり
施策	09	元気に長生き高齢社会の実現

所管課	健康こども課 (健康福祉課)
決算額(千円)	314

一般会計			款	04	衛生費	項	01	保健衛生費
目	03	保健事業費	事業	000800	高齢者保健・介護予防一体的実施事業			
事務事業の目的	(1)対象(誰、何に対して事業を行うのですか？)					◆対象指標(上段:予算要求時点、下段:決算時点)		
	後期高齢者医療保険加入者					①	後期高齢者医療保険加入者数	5,356人 5,339人
	(2)意図(この事業により対象をどのような状態にしたいのですか？)					②	通いの場団体数	97団体 95団体
	・医療保険者による保健事業の継続的な支援が受けられる。 ・フレイルに関する正しい知識を持ち、フレイル予防に取り組むことができる。					◆成果(活動)指標(上段:計画値、下段:実績値)		
	(3)指標以外に考えられる成果					①	健康状態不明者の状態把握件数	120人 108人
	・多様な課題を抱える高齢者や健康状態不明な高齢者を把握し、必要な支援、サービスが受けられる。					②	通いの場等における健康教室参加者数	200人 248人
事業概要								
岩手県後期高齢者医療広域連合からの受託収入を財源として、高齢者の心身の多様な課題に対応し、きめこまかな支援を行うため、国民健康保険事業及び介護保険法に規定される地域支援事業(介護予防)と高齢者保健事業を一体的に実施した。								
【内容】								
・KDBシステムを活用し、地域の健康課題の分析や対象者の把握を行った。 ・高齢者に対する支援として、個別支援(ハイリスクアプローチ)及び通いの場等への積極的な関与等(ポピュレーションアプローチ)の事業展開を行った。								
【事業評価】 振り返り結果から見た改革改善策の具体的内容								
改革改善の内容	☐ (1)目的妥当性 ☒ (2)有効性 ☐ (3)効率性 ☐ (4)公正・公平性 ☐ (5)市民協働							
	令和6年度の医療、介護、健診等のデータを分析、評価し、次年度以降の事業内容に反映させる。							

事務事業名	生活環境保全対策事業	
基本目標	4	自然をはぐくみ、景観にすぐれたまちづくり
施策	15	自然環境、生活環境の保全

所管課	市民課
決算額(千円)	4,078

一般会計			款	04	衛生費		項	01	保健衛生費	
目	04	環境衛生費		事業	000300	生活環境保全対策事業				
事務事業の目的	(1)対象(誰、何に対して事業を行うのですか？)					◆対象指標(上段:予算要求時点、下段:決算時点)				
	環境審議会委員 公衆衛生組合					①	審議会委員数		15人	
									15人	
	(2)意図(この事業により対象をどのような状態にしたいのですか？)					②	組合員数		117人	
	環境基本計画の目的を実現するための意見、助言を受ける。 公衆衛生事業の推進								107人	
	(3)指標以外に考えられる成果					◆成果(活動)指標(上段:計画値、下段:実績値)				
					①	環境審議会開催数		2回		
								1回		
								40回		
					②	不法投棄パトロール実施回数		21回		
事業概要										
◆第2次八幡平市環境基本計画に関する事項について審議会を開催し、意見提言等を聴取し審議した。 ◆第2次八幡平市環境基本計画に基づき、事業を実施した。 ◆八幡平市公衆衛生組合連合会に対し八幡平市公衆衛生対策事業補助金を交付し、公衆衛生思想の普及・啓発活動、不法投棄パトロールなどの事業を実施した。										
【事業評価】 振り返り結果から見た改革改善策の具体的内容										
改革改善 の内容		☐ (1)目的妥当性 ☐ (2)有効性 ☐ (3)効率性 ☐ (4)公正・公平性 ☐ (5)市民協働								

令和 6 年度 主要事業実績報告書

事務事業名	再生可能エネルギー推進事業	
基本目標	4	自然をはぐくみ、景観にすぐれたまちづくり
施策	16	自然エネルギーの有効活用

所管課	まちづくり推進課
決算額(千円)	6,571

一般会計	款	04	衛生費	項	01	保健衛生費
目	04	環境衛生費	事業	000700	再生可能エネルギー推進事業	
事業 事業の 目的	(1)対象(誰、何に対して事業を行うのですか?)				◆対象指標(上段:予算要求時点、下段:決算時点)	
	・小水力発電所 ・市民				① 人口	23,581人 22,949人
	(2)意図(この事業により対象をどのような状態にしたいのですか?)				②	
	・再生可能エネルギー導入を促進しながら、災害に強いまちづくりや地球温暖化対策としての効果を目指す。 ・小水力発電でクリーンなエネルギーをつくり、売電収入を得る。				◆成果(活動)指標(上段:計画値、下段:実績値)	
	(3)指標以外に考えられる成果				① 再生可能エネルギー発電量	75,768kW 75,768kW
	・再生可能エネルギー関連施設視察による市内観光への寄与、環境学習の場の提供、市のクリーンイメージ向上、エネルギー自給率向上、二酸化炭素発生減少、防災対応				② 施設数	18箇所 18箇所
	事業概要					
	◆明治百年記念公園小水力発電所の維持管理及び見学者への対応を行った。 ◆市内の小学生・高校生向けに地熱に関する施設見学会を実施し、地熱資源活用学習の機会を提供した。 ◆地熱発電・地熱活用に関する取組状況を市内外に発信した。 ◆環境学習パンフレット「八幡平の環境学習」を活用し、市内の再生可能エネルギーに関する環境学習の受け入れに対応した。 ◆脱炭素社会実現向け、再生可能エネルギーの導入について民間事業者の開発について手続きを行った。 ◆地域新電力会社を令和6年7月23日付けで設立した。					
	【事業評価】 振り返り結果から見た改革改善策の具体的内容					
	改革改善の内容	☐ (1)目的妥当性 ☐ (2)有効性 ☐ (3)効率性 ☐ (4)公正・公平性 ☐ (5)市民協働				

事務事業名	斎場管理事業	
基本目標	4	自然をはぐくみ、景観にすぐれたまちづくり
施策	15	自然環境、生活環境の保全

所管課	清掃センター
決算額(千円)	27,062

一般会計	款	04	衛生費	項	01	保健衛生費
目	07	斎場費	事業	000300	斎場管理事業	
事業 事業の 目的	(1)対象(誰、何に対して事業を行うのですか?)				◆対象指標(上段:予算要求時点、下段:決算時点)	
	①市民 ②斎場				① 人口	23,581人 22,949人
	(2)意図(この事業により対象をどのような状態にしたいのですか?)				② 斎場施設	1箇所 1箇所
	①遺族や関係者が火葬を滞りなく執り行うことができる。 ②施設が最良の状態で稼働できるように適切な管理を行なう。				◆成果(活動)指標(上段:計画値、下段:実績値)	
	(3)指標以外に考えられる成果				① 施設不具合による停止日数	0日 0日
					② 火葬件数	468件 512件
	事業概要					
	◆長期包括的管理運営委託方式による令和4年度から令和13年度までの10年契約で、民間事業者に次の業務を委託した。 ・火葬場及び火葬場に付随する施設の運営・維持管理(整備、修繕含む)・保守・用役調達等の管理 ・火葬の受付及び斎場使用料の収納業務 ◆管理運営業務モニタリング監理を行った(清掃センター監理兼務)。					
	【事業評価】 振り返り結果から見た改革改善策の具体的内容					
	改革改善の内容	☐ (1)目的妥当性 ☐ (2)有効性 ☐ (3)効率性 ☐ (4)公正・公平性 ☐ (5)市民協働				

令和 6 年度 主要事業実績報告書

事務事業名	塵芥処理事業	
基本目標	4	自然をはぐくみ、景観にすぐれたまちづくり
施策	15	自然環境、生活環境の保全

所管課	市民課
決算額(千円)	155,403

一般会計			款	04	衛生費	項	02	清掃費
目	01	塵芥処理費	事業	000300	塵芥処理事業			
事務事業の目的	(1)対象(誰、何に対して事業を行うのですか？)					◆対象指標(上段:予算要求時点、下段:決算時点)		
	①市民					①	人口	23,581人
	②世帯							22,949人
	(2)意図(この事業により対象をどのような状態にしたいのですか？)					②	世帯数	10,610世帯
	①良好な生活環境の維持のため、家庭系一般廃棄物を迅速・安全に収集する。 ②リサイクル率向上のため意識の醸成を図る。							10,745世帯
	(3)指標以外に考えられる成果					◆成果(活動)指標(上段:計画値、下段:実績値)		
目的	子ども会や各種団体の資源ごみ集団回収を通じて、3R(リデュース、リユース、リサイクル)の意識が向上する。					①	生活系ごみ排出量	6,813.22t
								6,539.88t
						②	リサイクル率	14.6%
9.7%								
事業概要								
◆一般家庭用分別収集日程表の印刷を行い、市内全戸に配布した。 ◆不法に投棄された一般廃棄物の処分を行った。 ◆一般廃棄物(家庭系ごみ)収集運搬業務を西根・松尾・安代の各地区別に委託し、実施した。 ◆臨時ごみ収集運搬業務を委託し、回収を行った。 ◆資源ごみの集団回収事業に対して奨励金を支出した。 ◆盛岡広域環境組合負担金を支出した。 ◆県央ブロックごみ処理体制検討協議会負担金を支出した。								
【事業評価】 振り返り結果から見た改革改善策の具体的内容								
改革改善の内容	☐ (1)目的妥当性 ☒ (2)有効性 ☐ (3)効率性 ☐ (4)公正・公平性 ☐ (5)市民協働							
	有効性:ごみの分別や出し方について、広報誌や出前講座等により周知徹底を図るとともに、プラスチックごみの分別収集、資源化の導入に向けた取り組みを行う。							

事務事業名	し尿処理事業	
基本目標	4	自然をはぐくみ、景観にすぐれたまちづくり
施策	15	自然環境、生活環境の保全

所管課	市民課
決算額(千円)	141,863

一般会計			款	04	衛生費		項	02	清掃費	
目	02	し尿処理費		事業	000300	し尿処理事業				
事務事業の目的	(1)対象(誰、何に対して事業を行うのですか?)						◆対象指標(上段:予算要求時点、下段:決算時点)			
	市民						①	人口	23,581人	
									22,949人	
	(2)意図(この事業により対象をどのような状態にしたいのですか?)						②	世帯数	10,610世帯	
	し尿・汚泥の適正な処理の実施により、良好な生活環境を維持する。								10,745世帯	
	(3)指標以外に考えられる成果						◆成果(活動)指標(上段:計画値、下段:実績値)			
						①	生し尿処理量	6,132kl		
								7,882kl		
6,339kl										
事業概要										
◆盛岡北部行政事務組合に対し、し尿処理に要する経費を組合構成4市町の割合により負担金を支出した。 一般管理費(均等割15%、人口割85%) 衛生費(均等割10%、利用割90%)										
【事業評価】 振り返り結果から見た改革改善策の具体的内容										
改革改善の内容		☐ (1)目的妥当性 ☒ (2)有効性 ☐ (3)効率性 ☐ (4)公正・公平性 ☐ (5)市民協働								

令和 6 年度 主要事業実績報告書

事務事業名	清掃センター管理事業	
基本目標	4	自然をはぐくみ、景観にすぐれたまちづくり
施策	15	自然環境、生活環境の保全

所管課	清掃センター
決算額(千円)	339,990

一般会計		款	04	衛生費	項	02	清掃費
目	03	清掃センター費	事業	000300	清掃センター管理事業		
事業 事業 の 目 的	(1)対象(誰、何に対して事業を行うのですか?)				◆対象指標(上段:予算要求時点、下段:決算時点)		
	①市内から排出されたごみ				①	一般廃棄物処理施設	3施設
	②清掃センター及び最終処分場						3施設
	(2)意図(この事業により対象をどのような状態にしたいのですか?)				②		
	① 安全かつ適切な焼却や処理を行う。						
	② 施設が最良の状態で稼働できるように適切な管理を行なう。						
目 的	(3)指標以外に考えられる成果				◆成果(活動)指標(上段:計画値、下段:実績値)		
	① 安全かつ適切な焼却や処理を行う。				①	ごみ搬入量	9,281.47トン
	② 施設が最良の状態で稼働できるように適切な管理を行なう。						9,290.51トン
	③ 施設が最良の状態で稼働できるように適切な管理を行なう。				②	再資源化量	1,225.8トン
事業概要							
◆長期包括的管理運営委託方式による平成31年度から令和10年度(第2期)までの10年契約で、民間事業者による次の業務を委託した。 ・清掃センター(ごみ焼却施設、粗大・資源ごみ処理施設)、一般廃棄物最終処分場、栗日影沢最終処分場の運営・維持管理(整備、修繕含む)・保守・用役調達等の管理 ・搬入廃棄物の受付、受入監視及びごみ処理手数料の収納事務 ◆清掃センター等管理運営業務に含まれない、旧廃棄物処理施設の管理を行った。 ◆容器包装に係る再商品化業務事務処理(空きビン類、ペットボトル)を行った。 ◆管理運営業務モニタリング監理を行った(斎場監理兼務)。							
【事業評価】 振り返り結果から見た改革改善策の具体的内容							
改革改善の内容		☐ (1)目的妥当性 ☐ (2)有効性 ☐ (3)効率性 ☐ (4)公正・公平性 ☐ (5)市民協働					

その他の事業の成果について

関連する事務事業名	健康づくり推進事業、生活習慣病予防事業		
成果の内容	事業概要詳細		
	健康手帳の配付		
	対 象 者		人数
	40歳以上		306人
	集団健康教育		
	区 分		実施回数
	一般健康教育		10回
	けんしん結果説明会		5回
	市民健康講座		1回
			受診者数
			154人
			80人
			60人
健康相談			
区 分		実施回数	
各地区健康相談		9回	
		受診者数	
		19人	
食生活改善指導			
区 分		実施回数	
栄養教室（依頼事業も含む）		28回	
栄養改善推進活動		8回	
食育教室		8回	
		参加者数	
		274人	
		234人	
		151人	
家庭訪問			
区 分		実人数	
保健師 成人		42人	
精神		7人	
妊婦・産婦		71人	
乳幼児・新生児		102人	
未熟児		0人	
助産師 産婦・乳幼児		3人	
		延べ人数	
		76人	
		17人	
		74人	
		117人	
		0人	
		3人	
		3人	
		(委託)	
生活習慣病予防健診			
区 分		受診者数	
胃がん検診（40歳以上）		1,330人	
大腸がん検診（35歳以上）		2,884人	
肺がん検診（40歳以上。ハイリスク該当者は喀痰検査も実施）		2,882人	
子宮頸がん検診（20歳以上の偶数年齢の女性）		596人	
乳がん検診（40歳以上の偶数年齢の女性）		647人	
前立腺がん検診（50歳以上の男性）		1,037人	
肝炎ウイルス検診（40歳以上で過去に検査を受けたことがない方）		59人	
骨粗しょう症予防検診（20～70歳の5歳刻み年齢の女性）		197人	
健康診査（40歳以上で生活保護受給世帯の者等）		8人	

関連する事務事業名	斎場管理事業																																																	
成果の内容	<table><tr><th colspan="7">【火葬状況】</th></tr><tr><th></th><th>15 歳 以上</th><th>15 歳 未 満</th><th>死 胎</th><th>身体の 一 部</th><th>改 葬</th><th>計</th></tr><tr><td>西根地区</td><td>256</td><td>0</td><td>2</td><td>2</td><td>3</td><td>263</td></tr><tr><td>松尾地区</td><td>101</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>101</td></tr><tr><td>安代地区</td><td>104</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>104</td></tr><tr><td>市 外</td><td>42</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>1</td><td>44</td></tr><tr><td>合 計</td><td>503</td><td>0</td><td>2</td><td>2</td><td>4</td><td>512</td></tr></table>	【火葬状況】								15 歳 以上	15 歳 未 満	死 胎	身体の 一 部	改 葬	計	西根地区	256	0	2	2	3	263	松尾地区	101	0	0	0	0	101	安代地区	104	0	0	0	0	104	市 外	42	0	0	0	1	44	合 計	503	0	2	2	4	512
【火葬状況】																																																		
	15 歳 以上	15 歳 未 満	死 胎	身体の 一 部	改 葬	計																																												
西根地区	256	0	2	2	3	263																																												
松尾地区	101	0	0	0	0	101																																												
安代地区	104	0	0	0	0	104																																												
市 外	42	0	0	0	1	44																																												
合 計	503	0	2	2	4	512																																												

関連する事務事業名	塵芥処理事業																																																								
成果の内容	1 資源ごみ集団回収事業報奨金交付状況																																																								
	<table><tr><td>交付団体数</td><td>交付件数</td><td>交付金額</td></tr><tr><td>34団体</td><td>97件</td><td>499,421円</td></tr></table>	交付団体数	交付件数	交付金額	34団体	97件	499,421円																																																		
	交付団体数	交付件数	交付金額																																																						
	34団体	97件	499,421円																																																						
	2 不法投棄件数																																																								
	<table><tr><td>一般廃棄物</td><td>産業廃棄物</td><td>計</td></tr><tr><td>15件</td><td>0件</td><td>15件</td></tr></table>	一般廃棄物	産業廃棄物	計	15件	0件	15件																																																		
	一般廃棄物	産業廃棄物	計																																																						
	15件	0件	15件																																																						
	3 一般家庭用分別収集事業に努めた。																																																								
	(1) 可燃ごみ、不燃ごみ収集量																																																								
<table><tr><th rowspan="2">区 分</th><th rowspan="2">令和5年度</th><th rowspan="2">令和6年度</th><th colspan="2">比較増減</th></tr><tr><th>収集量</th><th>率</th></tr><tr><td>可燃ごみ</td><td>4,496 t</td><td>4,310 t</td><td>△186 t</td><td>△3.2%</td></tr><tr><td>不燃ごみ</td><td>188 t</td><td>159 t</td><td>△29 t</td><td>△15.4%</td></tr><tr><td>計</td><td>4,684 t</td><td>4,469 t</td><td>△215 t</td><td>△4.6%</td></tr></table>	区 分	令和5年度	令和6年度	比較増減		収集量	率	可燃ごみ	4,496 t	4,310 t	△186 t	△3.2%	不燃ごみ	188 t	159 t	△29 t	△15.4%	計	4,684 t	4,469 t	△215 t	△4.6%																																			
区 分				令和5年度	令和6年度	比較増減																																																			
	収集量	率																																																							
可燃ごみ	4,496 t	4,310 t	△186 t	△3.2%																																																					
不燃ごみ	188 t	159 t	△29 t	△15.4%																																																					
計	4,684 t	4,469 t	△215 t	△4.6%																																																					
(2) 資源ごみ収集量																																																									
<table><tr><th rowspan="2">区 分</th><th rowspan="2">令和5年度</th><th rowspan="2">令和6年度</th><th colspan="2">比較増減</th></tr><tr><th>収集量</th><th>率</th></tr><tr><td>空き缶類</td><td>73 t</td><td>69 t</td><td>△4 t</td><td>△5.5%</td></tr><tr><td>空きびん類</td><td>184 t</td><td>167 t</td><td>△17 t</td><td>△9.2%</td></tr><tr><td>ペットボトル</td><td>75 t</td><td>93 t</td><td>18 t</td><td>24.0%</td></tr><tr><td>段ボール</td><td>99 t</td><td>101 t</td><td>2 t</td><td>2.0%</td></tr><tr><td>新聞紙</td><td>95 t</td><td>89 t</td><td>△6 t</td><td>△6.3%</td></tr><tr><td>雑 誌</td><td>61 t</td><td>56 t</td><td>△5 t</td><td>△8.2%</td></tr><tr><td>雑紙類</td><td>43 t</td><td>43 t</td><td>0 t</td><td>0%</td></tr><tr><td>紙パック</td><td>2 t</td><td>2 t</td><td>0 t</td><td>0%</td></tr><tr><td>トレイ類</td><td>2 t</td><td>2 t</td><td>0 t</td><td>0%</td></tr><tr><td>計</td><td>634 t</td><td>622 t</td><td>△12 t</td><td>△1.9%</td></tr></table>	区 分	令和5年度	令和6年度	比較増減		収集量	率	空き缶類	73 t	69 t	△4 t	△5.5%	空きびん類	184 t	167 t	△17 t	△9.2%	ペットボトル	75 t	93 t	18 t	24.0%	段ボール	99 t	101 t	2 t	2.0%	新聞紙	95 t	89 t	△6 t	△6.3%	雑 誌	61 t	56 t	△5 t	△8.2%	雑紙類	43 t	43 t	0 t	0%	紙パック	2 t	2 t	0 t	0%	トレイ類	2 t	2 t	0 t	0%	計	634 t	622 t	△12 t	△1.9%
区 分				令和5年度	令和6年度	比較増減																																																			
	収集量	率																																																							
空き缶類	73 t	69 t	△4 t	△5.5%																																																					
空きびん類	184 t	167 t	△17 t	△9.2%																																																					
ペットボトル	75 t	93 t	18 t	24.0%																																																					
段ボール	99 t	101 t	2 t	2.0%																																																					
新聞紙	95 t	89 t	△6 t	△6.3%																																																					
雑 誌	61 t	56 t	△5 t	△8.2%																																																					
雑紙類	43 t	43 t	0 t	0%																																																					
紙パック	2 t	2 t	0 t	0%																																																					
トレイ類	2 t	2 t	0 t	0%																																																					
計	634 t	622 t	△12 t	△1.9%																																																					

関連する事務事業名	清掃センター管理事業			
成果の内容	【廃棄物受入状況】 市内一般廃棄物			
		搬入量		計
		家庭系	事業系	
	燃えるごみ	5,320.00 t	2,688.43 t	8,008.43 t
不燃ごみ	燃えないごみ	156.82 t	0 t	156.82 t
	埋立ごみ	14 t	0 t	14 t
	粗大ごみ	329.55 t	103.49 t	433.04 t
資源ごみ	空き缶類	71.90 t	0 t	71.90 t
	空きびん類	184.69 t	36.94 t	221.63 t
	ペットボトル	75.19 t	0.48 t	75.67 t
	段ボール	103.80 t	13.19 t	116.99 t
	新聞紙	89.45 t	0.25 t	89.70 t
	雑誌	63.67 t	1.15 t	64.82 t
	紙パック	2.73 t	0 t	2.73 t
	古着	0.39 t	0.78 t	1.17 t
	雑紙類	30.10 t	0.09 t	30.19 t
	トレイ類	3.20 t	0.22 t	3.42 t
	合 計	6,445.49 t	2,845.02 t	9,290.51 t

令和 6 年度 主要事業実績報告書

事務事業名	雇用促進対策事業	
基本目標	2	ともに学び働き、暮らし豊かなまちづくり
施策	05	地元企業の発展と企業誘致の推進

所管課	商工観光課
決算額(千円)	389

一般会計		款	05	労働費	項	01	労働諸費
目	01	労働諸費	事業	000300	雇用促進対策事業		
事務事業の目的	(1)対象(誰、何に対して事業を行うのですか?)				◆対象指標(上段:予算要求時点、下段:決算時点)		
	15歳以上の市民のうち就業者及び求職者				①	就業者数(R2国勢調査)	12,609人
							12,609人
	(2)意図(この事業により対象をどのような状態にしたいのですか?)				②	求職者数(盛岡管内)	8,740人
	労働者の職業の安定及び完全雇用の達成が図られる。						8,847人
	(3)指標以外に考えられる成果				◆成果(活動)指標(上段:計画値、下段:実績値)		
					①	有効求人倍率(盛岡管内)	1.23倍
							1.22倍
				②	平舘高等学校生徒県内就職率	90%	
						96.9%	
事業概要							
◆求職者のため、ハローワークと連携し、求人情報を広く周知した。 ◆地域の将来を担う人材の地元定着を図ること等を目的に、盛岡広域8市町が連携し盛岡広域圏高校生インターンシップ事業を実施した。 ◆「盛岡地域雇用開発協会」に加盟し、同協会が実施する雇用対策事業及び雇用安定事業を通じて、新規学卒者やフリーター、中途退職者等の雇用促進に寄与した。 ◆出稼労働者の安全就労に寄与するため、出稼労働者手帳を交付するとともに、「ふるさといわて定住財団」が運営する出稼ぎ互助会の会費の一部を補助した。							
【事業評価】 振り返り結果から見た改革改善策の具体的内容							
改革改善の内容	☐ (1)目的妥当性 ☒ (2)有効性 ☐ (3)効率性 ☐ (4)公正・公平性 ☐ (5)市民協働						
	公共機関のほか、民案企業や関係団体等と連携した支援を検討していく。						

令和 6 年度 主要事業実績報告書

事務事業名	農業委員会運営事業	
基本目標	2	ともに学び働き、暮らし豊かなまちづくり
施策	03	産業基盤として持続する農業の推進

所管課	農業委員会事務局
決算額(千円)	27,623

一般会計			款	06	農林水産業費	項	01	農業費
目	01	農業委員会費	事業	000300	農業委員会運営事業			
事業 事業の 目的	(1)対象(誰、何に対して事業を行うのですか?)					◆対象指標(上段:予算要求時点、下段:決算時点)		
	①農業委員会委員・農地利用最適化推進委員					①	農業委員会委員・農地利用最適化推進委員数	46人
	②農家							46人
	(2)意図(この事業により対象をどのような状態にしたいのですか?)					②	総農家数	3,489戸
	①農業委員会の運営を円滑に推進する。							3,376戸
	②八幡平市管内にある農地を対象に、農地利用の最適化を推進する。					◆成果(活動)指標(上段:計画値、下段:実績値)		
目的	(3)指標以外に考えられる成果					①	総会・委員会議の開催	30回
	①農家が農政に関し様々な情報を得ることができる。							32回
	②会議及び研修会に参加することで、委員の資質の向上が図られる。					②	農地集積面積	100ha
								△317ha
事業概要								
◆農業委員会等に関する法律に基づく業務 ・総会、農業委員会議、委員合同会議、委員研修会の開催 ・農業一般に関する調査及び情報の提供、関係行政機関等に対する意見の提出、農地利用の最適化の推進 ◆農地法に基づく業務 ・3条 賃借、所有権移転の審査、許可 ・4・5条 農地転用申請の審査、県へ意見書送付 ◆農業経営基盤強化促進法に基づく業務 ・農用地利用集積計画の決定 ◆農地中間管理事業の推進に関する法律に基づく業務 ・農用地利用集積等促進計画案の決定								
【事業評価】 振り返り結果から見た改革改善策の具体的内容								
改革改善 の内容		☐ (1)目的妥当性 ☐ (2)有効性 ☐ (3)効率性 ☐ (4)公正・公平性 ☐ (5)市民協働						

事務事業名	熱水資源有効活用事業	
基本目標	2	ともに学び働き、暮らし豊かなまちづくり
施策	03	産業基盤として持続する農業の推進

所管課	農林課
決算額(千円)	1,394

一般会計			款	06	農林水産業費		項	01	農業費	
目	03	農業振興費		事業	000300	熱水資源有効活用事業				
事業 事業の 目的	(1)対象(誰、何に対して事業を行うのですか?)					◆対象指標(上段:予算要求時点、下段:決算時点)				
	熱水を利用し施設野菜を生産する団体					①	熱水を利用し施設野菜を生産する団体の構成員	8人		
								8人		
	(2)意図(この事業により対象をどのような状態にしたいのですか?)					②				
	熱水資源を有効活用し、冬季における農産物の生産につなげる。									
	(3)指標以外に考えられる成果					◆成果(活動)指標(上段:計画値、下段:実績値)				
全国的にも稀な地熱を利用した農産物の生産による農家所得の向上が期待できる。					①	熱水使用量	120,000m3			
							36,104m3			
					②					
事業概要										
熱水利用による施設野菜の生産団体が使用する引湯施設を管理した。										
【事業評価】 振り返り結果から見た改革改善策の具体的内容										
改革改善 の内容		☐ (1)目的妥当性 ☒ (2)有効性 ☐ (3)効率性 ☐ (4)公正・公平性 ☐ (5)市民協働								
		計画的な配管の更新をすることにより、安定した熱水の供給が図られる。								

令和 6 年度 主要事業実績報告書

事務事業名	営農振興支援対策事業	
基本目標	2	ともに学び働き、暮らし豊かなまちづくり
施策	03	産業基盤として持続する農業の推進

所管課	農林課
決算額(千円)	1,785

一般会計			款	06	農林水産費	項	01	農業費
目	03	農業振興費	事業	000500	営農振興支援対策事業			
事務事業の目的	(1)対象(誰、何に対して事業を行うのですか?)					◆対象指標(上段:予算要求時点、下段:決算時点)		
	農業者及び農業者団体等					①	JA園芸特産出荷経営体数	600経営体 336経営体
	(2)意図(この事業により対象をどのような状態にしたいのですか?)					②	JA米穀出荷経営体数	1,000経営体 893経営体
	農業経営の安定による農業所得の向上					◆成果(活動)指標(上段:計画値、下段:実績値)		
	(3)指標以外に考えられる成果					①	JA園芸特産販売額	24億円 20億円
	農家所得が向上することにより、地域農業の継続につながる。					②	JA米穀販売額	14億円 16億円
事業概要								
◆八幡平営農振興支援対策事業費補助金								
①遊休施設流動化事業(遊休ハウス移動経費助成)、②品質向上対策事業(リンドウ規格検査指導員配置)、③ピーマン新規・規模拡大苗助成事業、④ピーマン新規・規模拡大資材助成、⑤にんにく規模拡大支援助成、⑥ハウス園芸高温対策事業(遮光幕)、⑦労働力確保支援事業、⑧ねぎ新規栽培者助成、⑨圃場排水対策事業、⑩ほうれん草単収向上対策事業、⑪連作障害対策事業、⑫銀河のしずく品質向上対策事業、⑬八幡平農産物利用促進事業(販売促進、PR)								
◆葉たばこ生産性向上対策事業費補助金								
◆堆肥を活用した土づくり推進事業費補助金								
【事業評価】 振り返り結果から見た改革改善策の具体的内容								
改革改善の内容	☐ (1)目的妥当性 ☐ (2)有効性 ☐ (3)効率性 ☐ (4)公正・公平性 ☐ (5)市民協働							

事務事業名	農の大地担い手育成支援事業	
基本目標	2	ともに学び働き、暮らし豊かなまちづくり
施策	03	産業基盤として持続する農業の推進

所管課	農林課
決算額(千円)	20,000

一般会計		款	06	農林水産業費	項	01	農業費
目	03	農業振興費	事業	000701	農の大地担い手育成支援事業		
事務事業の目的	(1)対象(誰、何に対して事業を行うのですか?)				◆対象指標(上段:予算要求時点、下段:決算時点)		
	認定農業者及び認定新規就農者				①	事業実施経営体数	16経営体 10経営体
	(2)意図(この事業により対象をどのような状態にしたいのですか?)				②		
	地域農業の担い手となる農業者が農業用機械等を整備する場合に要する経費に対し補助金を交付することで、担い手の農業経営基盤の強化と安定に繋げる。				◆成果(活動)指標(上段:計画値、下段:実績値)		
	(3)指標以外に考えられる成果				①	機械等整備事業数	16件 10件
	・農業所得の向上 ・地域農業の継続性の保持 ・農業後継者の確保 ・農地の遊休地化の抑制				②		
事業概要							
◆認定農業者及び認定新規就農者の育成・確保を推進するため、農業用機械等の導入及びドローン講習受講料を支援する。 【農業用機械等】 ・補助率:1／4以内(1補助対象者当たり上限300万円) ・購入先を市内に所在する業者に限定する。 ・機械等の更新に要する経費も補助対象とする。 【ドローン講習受講料】 ・補助率:1／2以内(1人当たり上限10万円、1経営体につき2名まで) 【共通】 ・国、県、市等が実施する他の補助事業の活用を優先する。 ・要望額が予算額を上回る場合は国の事業の「ポイント制」を採用するが、ほうれん草、りんどう、トマト(ミニトマトを含む)、ピーマン、きゅうり又は八幡平牛の生産、加工、流通又は販売のための取組みや、水稻の経営面積が15ha以上となる取組み等には加点する。							
【事業評価】 振り返り結果から見た改革改善策の具体的内容							
改革改善の内容	☐ (1)目的妥当性 ☐ (2)有効性 ☐ (3)効率性 ☐ (4)公正・公平性 ☐ (5)市民協働						

令和 6 年度 主要事業実績報告書

事務事業名	新規就農者等支援事業	
基本目標	2	ともに学び働き、暮らし豊かなまちづくり
施策	03	産業基盤として持続する農業の推進

所管課	農林課
決算額(千円)	12,995

一般会計		款	06	農林水産業費	項	01	農業費
目	03	農業振興費	事業	000703	新規就農者等支援事業		
事務事業の目的	(1)対象(誰、何に対して事業を行うのですか?)				◆対象指標(上段:予算要求時点、下段:決算時点)		
	認定新規就農者又は新規就農希望者				①	新規就農相談者数	20人 17人
	(2)意図(この事業により対象をどのような状態にしたいのですか?)				②		
	早期の経営安定、経営力や技術力の向上及び農業技術や知識の習得				◆成果(活動)指標(上段:計画値、下段:実績値)		
	(3)指標以外に考えられる成果				①	新規就農研修者数	3人 3人
	農業生産額の拡大、担い手の確保及び移住定住の促進				②	新規就農者育成総合対策・農業次世代人材投資資金受給者数	3人 3人
事業概要							
◆新規就農者育成総合対策【対象者:就農時49歳以下の認定新規就農者】 ・経営発展支援事業:1経営体に機械等の導入費用を補助した。(上限1,000万円、経営開始資金交付者は上限500万円)(補助率:国1/2、県1/4、農業者1/4) ・経営開始資金:2経営体に生活資金支援として12.5万円/月を補助した。(補助率:国10/10) ・農業次世代人材投資事業(令和3年度までに事業開始した者) ・継続の1経営体に対して、資金交付及びフォローアップを行った。R2年度就農者:最大150万円/年を最長5年間補助(補助率:国10/10) ◆新規就農者等支援事業補助金 ・新規就農研修支援金:就農研修者3名に対して3経営体で研修を行い資金交付した。基本額:12.5万円/月(夫婦で研修を受ける場合は、1.5倍の額)、子ども加算額:1人あたり2万円/月、家賃の助成:家賃の半額とし、2万円/月を上限。 ・新規就農体験支援金:旅費助成:研修受入農家までの車賃等(最長7カ月)を支援することとしていたが対象者がなかった。 ・研修等受入農家支援金:新規就農研修者3名に対して3経営体で受入し資金交付した。(5万円/月)							
【事業評価】 振り返り結果から見た改革改善策の具体的内容							
改革改善の内容		☐ (1)目的妥当性 ☐ (2)有効性 ☐ (3)効率性 ☐ (4)公正・公平性 ☐ (5)市民協働					

事務事業名	地域農業計画実践支援事業	
基本目標	2	ともに学び働き、暮らし豊かなまちづくり
施策	03	産業基盤として持続する農業の推進

所管課	農林課
決算額(千円)	6,100

一般会計		款	06	農林水産業費	項	01	農業費
目	03	農業振興費	事業	000712	地域農業計画実践支援事業		
事務事業の目的	(1)対象(誰、何に対して事業を行うのですか?)				◆対象指標(上段:予算要求時点、下段:決算時点)		
	地域計画に位置付けられた中心経営体				①	事業実施地域数	3地域 3地域
	(2)意図(この事業により対象をどのような状態にしたいのですか?)				②		
	農業機械等の整備により販売数量、収入等の増加				◆成果(活動)指標(上段:計画値、下段:実績値)		
	(3)指標以外に考えられる成果				①	機械等整備事業数	3件 3件
	・作業の省力化 ・地域特性を活かした競争力の高い園芸産地の形成 ・担い手の確保				②		
事業概要							
◆地域計画に位置付けられた取組みを行う中で、効率的・安定的な経営体の育成や集落営農組織による産地形成、6次産業化の起業に必要な生産・流通販売・加工のための機械等を整備する。 ・負担割合:園芸等:県1/3、市1/6、事業主体1/2							
【事業評価】 振り返り結果から見た改革改善策の具体的内容							
改革改善の内容		☐ (1)目的妥当性 ☐ (2)有効性 ☐ (3)効率性 ☐ (4)公正・公平性 ☐ (5)市民協働					

令和 6 年度 主要事業実績報告書

事務事業名	振興作物推進事業	
基本目標	2	ともに学び働き、暮らし豊かなまちづくり
施策	03	産業基盤として持続する農業の推進

所管課	農林課・花き研究開発センター
決算額(千円)	7,102

一般会計			款	06	農林水産業費	項	01	農業費
目	03	農業振興費	事業	000800	振興作物推進事業			
事業 事業 の 目 的	(1)対象(誰、何に対して事業を行うのですか?)					◆対象指標(上段:予算要求時点、下段:決算時点)		
	りんどう生産経営体 ほうれん草生産経営体					①	りんどう生産経営体数	130経営体 126経営体
	(2)意図(この事業により対象をどのような状態にしたいのですか?)					②	ほうれん草生産経営体数	140経営体 111経営体
	りんどう、ほうれん草の販売数量、販売額の向上							
	(3)指標以外に考えられる成果					◆成果(活動)指標(上段:計画値、下段:実績値)		
	新規就農者や青年就農給付金の対象者などの若手担い手の増加					①	りんどう販売額	13億円 10.7億円
					②	ほうれん草販売額	3億円 2億円	
事業概要								
◆ほうれん草価格補填対策事業 ・販売生産単価が補填基準を下回った場合その差額を補助した。 ・負担割合:市1/5 JA1/5 生産者3/5 ◆りんどう新規栽培者拡大事業 ・新規参入者及び新規参入2年目の者に対する農業用資材等の経費(上限額100万円/10a)の1/4以内を助成。 ・負担割合 市1/4 JA1/4 生産者1/2 ◆りんどう生産拡大支援事業 ・作付け面積の拡大を伴う新植を行ったものに対する支援(上限額66千円/10a)の2/3以内を助成。 ・負担割合:市2/3(うち県補助分1/3) 生産者1/3								
【事業評価】 振り返り結果から見た改革改善策の具体的内容								
改革改善 の内容		☐ (1)目的妥当性 ☐ (2)有効性 ☐ (3)効率性 ☐ (4)公正・公平性 ☐ (5)市民協働						

事務事業名	農業経営基盤強化促進事業	
基本目標	2	ともに学び働き、暮らし豊かなまちづくり
施策	03	産業基盤として持続する農業の推進

所管課	農林課
決算額(千円)	6,004

一般会計			款	06	農林水産業費		項	01	農業費	
目	03	農業振興費		事業	000900	農業経営基盤強化促進事業				
事業 事業 の 目 的	(1)対象(誰、何に対して事業を行うのですか?)						◆対象指標(上段:予算要求時点、下段:決算時点)			
	担い手(認定農業者、認定新規就農者、集落営農組織等)						①	中心となる経営体数		450経営体 415経営体
	(2)意図(この事業により対象をどのような状態にしたいのですか?)						②			
	市の基本構想に基づき担い手の育成、経営指導等により、農業経営の基盤強化を図る						◆成果(活動)指標(上段:計画値、下段:実績値)			
	(3)指標以外に考えられる成果						①	認定農業者数・認定新規就農経営体数	450経営体 415経営体	
							②	農業経営改善計画・就農計画の審査数	102件 63件	
事業概要										
◆担い手指導員2名を配置し、以下の業務を行った。 ・農業者(担い手)の育成・確保及び経営改善指導、助言、事業導入などに関する業務 ・集落営農組織育成指導などに関する業務 ・認定農業者の育成に関する業務 ・認定農業者などの組織活動の指導に関する業務 ◆農業経営改善計画審査委員会を開催し、農業経営改善計画の審査等を行った。 ◆八幡平市認定農業者協議会の活動に対し支援を行った。										
【事業評価】 振り返り結果から見た改革改善策の具体的内容										
改革改善 の内容		☐ (1)目的妥当性 ☐ (2)有効性 ☐ (3)効率性 ☐ (4)公正・公平性 ☐ (5)市民協働								

令和 6 年度 主要事業実績報告書

事務事業名	経営所得安定対策等推進事業	
基本目標	2	ともに学び働き、暮らし豊かなまちづくり
施策	03	産業基盤として持続する農業の推進

所管課	農林課
決算額(千円)	63,710

一般会計		款	06	農林水産業費	項	01	農業費
目	03	農業振興費	事業	001000	経営所得安定対策等推進事業		
事業 事業 の 目 的	(1)対象(誰、何に対して事業を行うのですか?)				◆対象指標(上段:予算要求時点、下段:決算時点)		
	農業経営体				①	農業経営体数	1,897経営体 1,746経営体
	(2)意図(この事業により対象をどのような状態にしたいのですか?)				②		
	農業再生協議会が作成する水田収益力強化ビジョンに沿った作付を促すことにより、需要に応じた米生産の推進及び食料自給率の向上につなげる。また、経営所得安定対策を実施することにより、担い手農家の経営安定に資する。				◆成果(活動)指標(上段:計画値、下段:実績値)		
	(3)指標以外に考えられる成果				①	高収益作物等の水田活用面積	1,870ha 1,584ha
			②	高収益作物等の水田活用率	40% 33.4%		
事業概要							
◆需要に応じた米生産の推進に向けた取組みを行った。 ◆経営所得安定対策等の普及・推進を行った。 ◆事業の流れ 3月～5月 営農計画書、交付申請書の受付 6月～7月 1次現地確認 8月 2次現地確認 9月～10月 作付面積等の確認、国への進達 11月～ 国からの交付金の交付開始 3月 地域座談会の開催							
【事業評価】 振り返り結果から見た改革改善策の具体的内容							
改革改善の内容		☐ (1)目的妥当性 ☐ (2)有効性 ☐ (3)効率性 ☐ (4)公正・公平性 ☐ (5)市民協働					

事務事業名	中山間地域等直接支払交付金事業	
基本目標	2	ともに学び働き、暮らし豊かなまちづくり
施策	03	産業基盤として持続する農業の推進

所管課	農林課
決算額(千円)	19,627

一般会計		款	06	農林水産業費	項	01	農業費
目	03	農業振興費	事業	001100	中山間地域等直接支払事業		
事業 事業 の 目 的	(1)対象(誰、何に対して事業を行うのですか?)				◆対象指標(上段:予算要求時点、下段:決算時点)		
	5年間以上継続して農業生産活動を行う組織				①	協定数	15協定 15協定
	(2)意図(この事業により対象をどのような状態にしたいのですか?)				②		
	中山間地域における継続的な農業生産活動及び維持管理の実施				◆成果(活動)指標(上段:計画値、下段:実績値)		
	(3)指標以外に考えられる成果				①	対象農用地面積	239.3ha 239ha
			②				
事業概要							
◆対象基準を満たす農用地のうち、集落又は個人の協定で活動対象とされている農地において、協定内容に基づき5年間以上継続して農業生産活動を行う農業者に対し、交付金を交付した。 ・交付単価(地目が田の場合):急傾斜地21,000円/10a、緩傾斜地8,000円/10a 等 ・負担割合:国1/2、県1/4、市1/4							
【事業評価】 振り返り結果から見た改革改善策の具体的内容							
改革改善の内容		☐ (1)目的妥当性 ☐ (2)有効性 ☐ (3)効率性 ☐ (4)公正・公平性 ☐ (5)市民協働					

令和 6 年度 主要事業実績報告書

事務事業名	花き品種開発事業	
基本目標	2	ともに学び働き、暮らし豊かなまちづくり
施策	03	産業基盤として持続する農業の推進

所管課	花き研究開発センター
決算額(千円)	37,176

一般会計		款	06	農林水産業費		項	01	農業費	
目	04	花き研究開発センター費		事業	000300	花き品種開発事業			
事務事業の目的	(1)対象(誰、何に対して事業を行うのですか?)					◆対象指標(上段:予算要求時点、下段:決算時点)			
	市内の花き生産者					①	花き生産経営体数		146経営体 141経営体
	(2)意図(この事業により対象をどのような状態にしたいのですか?)					②			
	需要に対応した高品質な品種、強健で生産性が高い品種、新たな需要を創出する品種を提供することで生産者の所得を向上を図る。					◆成果(活動)指標(上段:計画値、下段:実績値)			
	(3)指標以外に考えられる成果					①	花き販売額	13.5億円 11.4億円	
	高品質な品種の提供による販売価格の上乗せ、強健で生産性の高い品種による労力、資材の抑制、新たな需要の創出により長期的、安定的な収入の確保					②	品種登録数	17品種 13品種	
事業概要									
◆日本一のりんどう産地として、高品質な「安代りんどう」の生産及び市場占有率拡大を図るため、オリジナル品種の開発を行った。 ◆切花については、雑種強勢の利用及び開発した品種の流出防止のため、種子系品種(F1品種)の開発を中心にを行った。 ◆鉢物については、そろいの良さが必要であるため、挿し芽で増殖する栄養系品種の開発を中心にを行った。 ◆実用化できる新品種育成のため、試験圃場での調査及び生産者による試験栽培を行った。 ◆F1品種の親株及び栄養系品種については、安定した種苗生産につなげるため、組織培養による親株の維持及び増殖を行った。 ◆花き新品目の研究、開発を行った。 ◆開発した品種については、品種保護のため品種登録申請を行った。(国内1品種、欧州3品種)									
【事業評価】 振り返り結果から見た改革改善策の具体的内容									
改革改善の内容		☐ (1)目的妥当性 ☒ (2)有効性 ☐ (3)効率性 ☐ (4)公正・公平性 ☐ (5)市民協働							
		現在の気象条件等に適した品種開発が急務である。							

事務事業名	花き研究開発センター管理運営事業	
基本目標	2	ともに学び働き、暮らし豊かなまちづくり
施策	03	産業基盤として持続する農業の推進

所管課	花き研究開発センター
決算額(千円)	5,457

一般会計			款	06	農林水産業費	項	01	農業費
目	04	花き研究開発センター費	事業	000400	花き研究開発センター管理運営事業			
事務事業の目的	(1)対象(誰、何に対して事業を行うのですか?)					◆対象指標(上段:予算要求時点、下段:決算時点)		
	①花き研究開発センター施設(花き研究開発センター(雪冷房りんどう培養育苗施設を含む。)、地域資源利活用施設 ②八幡平市内の花き生産者					①	管理する施設	2施設 2施設
	(2)意図(この事業により対象をどのような状態にしたいのですか?)					②	花き生産経営体数	146経営体 141経営体
	施設等の機能を安全に利用できるように維持管理し、品種開発を行い生産者へ品種を提供する。					◆成果(活動)指標(上段:計画値、下段:実績値)		
	(3)指標以外に考えられる成果					①	施設等の修繕箇所数	5件 7件
	種苗等の保管している品種数、種苗数 会議数					②		
事業概要								
◆機能及び安全、快適性を維持するため施設の維持管理を行った。 専門業者等による自家用電気工作物点検、消防設備点検等の設備保守点検を行うとともに、機器及び公用車の故障箇所等の修繕を行った。								
【事業評価】 振り返り結果から見た改革改善策の具体的内容								
改革改善の内容		☐ (1)目的妥当性 ☐ (2)有効性 ☐ (3)効率性 ☐ (4)公正・公平性 ☐ (5)市民協働						

令和 6 年度 主要事業実績報告書

事務事業名	安代りんどう品種海外活用事業	
基本目標	2	ともに学び働き、暮らし豊かなまちづくり
施策	03	産業基盤として持続する農業の推進

所管課	花き研究開発センター
決算額(千円)	3,863

一般会計		款	06	農林水産業費	項	01	農業費
目	04	花き研究開発センター費	事業	000700	安代りんどう品種海外活用事業		
事務事業の目的	(1)対象(誰、何に対して事業を行うのですか?)				◆対象指標(上段:予算要求時点、下段:決算時点)		
	市内りんどう生産者				①	鉢物りんどう生産数	385,000鉢 0鉢
	(2)意図(この事業により対象をどのような状態にしたいのですか?)				②		
	海外でのりんどうの需要を喚起することにより八幡平市「安代りんどう」の国際的ブランド化を図る。併せて国内消費の拡大を図ることで、生産者の所得向上を目指す。				◆成果(活動)指標(上段:計画値、下段:実績値)		
	(3)指標以外に考えられる成果				①	許諾料収入額	2,252千円 1,221千円
	海外で八幡平市品種が一定の地位を占めることにより、ロイヤリティを回収し、継続的に品種育成を図ることが出来る。また、品種育成を通じて八幡平市のりんどう産地としての競争力の向上を図ることが出来る。				②		
事業概要							
◆欧州圏内で鉢物りんどうを2030年までに300万鉢生産することを目標に以下の業務を委託した。 (1)欧州での鉢物生産課題の把握と問題解決に向けた関係者との情報共有、支援 (2)マーケティングツールの共有 (3)ブランディング強化 ◆海外生産地等との連絡業務を委託 (1)ルワンダ、ニュージーランド等との切花生産に関する課題等の解決及び連絡業務 (2)海外における安代りんどうの許諾料管理業務 ◆ルワンダにおける苗生産事業への支援業務							
【事業評価】 振り返り結果から見た改革改善策の具体的内容							
改革改善の内容	☐ (1)目的妥当性 ☒ (2)有効性 ☒ (3)効率性 ☐ (4)公正・公平性 ☐ (5)市民協働						
	有効性:生産技術の向上により生産量の増加を図る。 効率性:人件費と事業費を比較検討しコスト軽減を図る。						

事務事業名	畜産振興事業	
基本目標	2	ともに学び働き、暮らし豊かなまちづくり
施策	03	産業基盤として持続する農業の推進

所管課	農林課
決算額(千円)	12,058

一般会計		款	06	農林水産業費		項	01	農業費	
目	05	畜産業費		事業	000300	畜産振興事業			
事務事業の目的	(1)対象(誰、何に対して事業を行うのですか?)					◆対象指標(上段:予算要求時点、下段:決算時点)			
	畜産経営体					①	畜産経営体数(牛・豚)		232経営体 207経営体
	(2)意図(この事業により対象をどのような状態にしたいのですか?)					②	ブロイラー農場数		22農場 20農場
	経費負担が軽減され、所得が向上する。					◆成果(活動)指標(上段:計画値、下段:実績値)			
	(3)指標以外に考えられる成果					①	飼養頭数(牛・豚)		42,800頭 38,850頭
	・生産意欲の向上 ・計画的な畜産経営					②	飼養羽数		8,360千羽 8,946千羽
事業概要									
◆畜産振興対策事業に一部助成を行った。 ・八幡平市畜産共進会負担金 ・畜産振興対策事業費補助金 ・畜産経営安定対策事業費補助金									
【事業評価】 振り返り結果から見た改革改善策の具体的内容									
改革改善の内容		☐ (1)目的妥当性 ☐ (2)有効性 ☐ (3)効率性 ☐ (4)公正・公平性 ☐ (5)市民協働							

令和 6 年度 主要事業実績報告書

事務事業名	畜産施設管理事業	
基本目標	2	ともに学び働き、暮らし豊かなまちづくり
施策	03	産業基盤として持続する農業の推進

所管課	農林課
決算額(千円)	65,345

一般会計			款	06	農林水産業費		項	01	農業費	
目	05	畜産業費		事業	001000	畜産施設管理事業				
事業 事業 の 目 的	(1)対象(誰、何に対して事業を行うのですか?)						◆対象指標(上段:予算要求時点、下段:決算時点)			
	畜産経営体						①	畜産経営体数	214経営体 188経営体	
	(2)意図(この事業により対象をどのような状態にしたいのですか?)						②	飼養頭数	4,700頭 4,250頭	
	①農家の労働力の軽減。									
	②飼養頭数の拡大。									
	③乳質や乳量の拡大。						◆成果(活動)指標(上段:計画値、下段:実績値)			
	(3)指標以外に考えられる成果						①	牧野放牧頭数	400頭 348頭	
①計画的な畜産経営。										
②景観の保持。						②	繁殖育成センター利用頭数	616頭 310頭		
③牛舎等施設整備への投資の削減。										
事業概要										
◆市営牧野、繁殖育成センター、堆肥センターの管理を行った。										
1. 指定管理による管理										
・市営牧野放牧・採草地 9牧野										
・繁殖育成センター 17施設										
2. 行政財産使用許可による管理										
・堆肥センター 3か所										
【事業評価】 振り返り結果から見た改革改善策の具体的内容										
改革改善 の内容		☐ (1)目的妥当性 ☐ (2)有効性 ☐ (3)効率性 ☐ (4)公正・公平性 ☐ (5)市民協働								

事務事業名	県営事業等促進対策事業	
基本目標	2	ともに学び働き、暮らし豊かなまちづくり
施策	03	産業基盤として持続する農業の推進

所管課	農林課
決算額(千円)	11,560

一般会計			款	06	農林水産業費	項	01	農業費
目	06	農地費	事業	000301	県営事業等促進対策事業			
事業 事業 の 目 的	(1)対象(誰、何に対して事業を行うのですか?)					◆対象指標(上段:予算要求時点、下段:決算時点)		
	農業経営体					①	農業経営体数	1,897経営体 1,897経営体
	(2)意図(この事業により対象をどのような状態にしたいのですか?)					②		
	適切に施設を整備し維持管理することにより、円滑な農作業を継続する。					◆成果(活動)指標(上段:計画値、下段:実績値)		
	(3)指標以外に考えられる成果					①	実施事業数	4件 4件
						②		
事業概要								
◆基幹水利施設ストックマネジメント事業負担金 ◆水利施設管理強化事業負担金 ◆松川土地改良区農業用施設維持管理費用負担金 ◆松川大堰地区県営農業農村整備事業負担金 ◆土地改良区施設維持管理適正化事業負担金								
【事業評価】 振り返り結果から見た改革改善策の具体的内容								
改革改善 の内容		☐ (1)目的妥当性 ☐ (2)有効性 ☐ (3)効率性 ☐ (4)公正・公平性 ☐ (5)市民協働						

令和 6 年度 主要事業実績報告書

事務事業名	県営農業農村整備事業 (後藤川地区ほ場整備事業)	
基本目標	2	ともに学び働き、暮らし豊かなまちづくり
施策	03	産業基盤として持続する農業の推進

所管課	農林課
決算額(千円)	31,530

一般会計			款	06	農林水産業費	項	01	農業費
目	06	農地費	事業	000302	県営農業農村整備事業(後藤川地区ほ場整備事業)			
事業 事業 の 目 的	(1)対象(誰、何に対して事業を行うのですか?)					◆対象指標(上段:予算要求時点、下段:決算時点)		
	後藤川地区ほ場					①	ほ場面積	103.1ha
								103.1ha
	(2)意図(この事業により対象をどのような状態にしたいのですか?)					②		
	区画整備を実施し、担い手に集積することにより生産性を向上させ農業振興を図る。					◆成果(活動)指標(上段:計画値、下段:実績値)		
	(3)指標以外に考えられる成果					①	整備率	69%
							77%	
					②			
事業概要								
◆県営後藤川地区土地改良事業(圃場整備) A=約103.1ha ※ 国事業名:農業競争力強化基盤整備事業(農地整備事業(経営体育成型)) 工事(詳細設計含)H30~R9(10年) 概算事業費2,741百万円(国55%,県30%,市10%,地元5%)対象者224人								
【事業評価】 振り返り結果から見た改革改善策の具体的内容								
改革改善 の内容		☐ (1)目的妥当性 ☐ (2)有効性 ☐ (3)効率性 ☐ (4)公正・公平性 ☐ (5)市民協働						

事務事業名	県営農業農村整備事業 (安代地区ほ場整備事業)	
基本目標	2	ともに学び働き、暮らし豊かなまちづくり
施策	03	産業基盤として持続する農業の推進

所管課	農林課
決算額(千円)	7,600

一般会計			款	06	農林水産業費	項	01	農業費
目	06	農地費	事業	000303	県営農業農村整備事業(安代地区ほ場整備事業)			
事業 事業 の 目 的	(1)対象(誰、何に対して事業を行うのですか?)					◆対象指標(上段:予算要求時点、下段:決算時点)		
	赤坂田地区及び戸沢地区等のほ場					①	面積(戸沢)	0ha
								0ha
	(2)意図(この事業により対象をどのような状態にしたいのですか?)					②	面積(赤坂田)	0ha
	ほ場等を整備し、担い手に農地を集約して農作業を効率的に実施することにより農業振興を図る							0ha
	(3)指標以外に考えられる成果					◆成果(活動)指標(上段:計画値、下段:実績値)		
						①	整備率(戸沢)	0%
37%								
						②	整備率(赤坂田)	0%
					1%			
事業概要								
◆戸沢地区圃場整備 A=11.5ha								
・合意形成 H28～H29								
・調査計画期間 H30～R3 21,754千円(県50%,市50%)								
・工事概算事業費 R4～ 480,000千円(国55%,県30%,市10%,農家5%)								
◆赤坂田地区圃場整備 A=21.4ha								
・合意形成 H28～R元								
・計画調査期間 R2～ 9,000千円(県50%,市50%)								
・工事概算事業費 R6～ 899,000千円(国55%,県30%,市10%,農家5%)								
【事業評価】 振り返り結果から見た改革改善策の具体的内容								
改革改善 の内容		☐ (1)目的妥当性 ☐ (2)有効性 ☐ (3)効率性 ☐ (4)公正・公平性 ☐ (5)市民協働						

令和 6 年度 主要事業実績報告書

事務事業名	農業用施設維持管理事業	
基本目標	2	ともに学び働き、暮らし豊かなまちづくり
施策	03	産業基盤として持続する農業の推進

所管課	農林課・安代総合支所
決算額(千円)	11,992

一般会計	款	06	農林水産業費	項	01	農業費
目	06	農地費	事業	000400	農業用施設維持管理事業	
事務事業の目的	(1)対象(誰、何に対して事業を行うのですか?)			◆対象指標(上段:予算要求時点、下段:決算時点)		
	市管理の農業用施設(農道、農業用水路ほか)			①	農業経営体数	1,897経営体 1,897経営体
	(2)意図(この事業により対象をどのような状態にしたいのですか?)			②		
	適切に施設を維持管理することにより円滑な農作業を継続する。			◆成果(活動)指標(上段:計画値、下段:実績値)		
	(3)指標以外に考えられる成果			①	維持修繕件数	20件 8件
				②		
事業概要						
◆農業用施設(用排水路、取水施設、農道等)の小破修繕等維持管理を行った。						
【事業評価】 振り返り結果から見た改革改善策の具体的内容						
改革改善の内容	☐ (1)目的妥当性 ☐ (2)有効性 ☐ (3)効率性 ☐ (4)公正・公平性 ☐ (5)市民協働					

事務事業名	多面的機能支払交付金事業	
基本目標	2	ともに学び働き、暮らし豊かなまちづくり
施策	03	産業基盤として持続する農業の推進

所管課	農林課
決算額(千円)	263,377

一般会計	款	06	農林水産業費	項	01	農業費
目	06	農地費	事業	000700	多面的機能支払事業	
事務事業の目的	(1)対象(誰、何に対して事業を行うのですか?)			◆対象指標(上段:予算要求時点、下段:決算時点)		
	取組みを実施する活動組織			①	活動組織数	44組織 44組織
	(2)意図(この事業により対象をどのような状態にしたいのですか?)			②		
	農用地・水路・農道等の保安全管理及び施設の長寿命化が図られる。			◆成果(活動)指標(上段:計画値、下段:実績値)		
	(3)指標以外に考えられる成果			①	対象面積	4,353ha 4,303ha
	・水源の涵養、自然環境の保全及び良好な景観の形成等が図られる。 ・地域の共同活動により、地域内の交流が図られる。			②		
事業概要						
◆農地・水・環境の良好な保全と資質向上を図る地域共同の取組を支援した。具体的には、農業者だけでなく、地域住民、自治会、関係団体などが幅広く参加する活動組織を新たに作り、農地、水路、農道等の施設を共同で守っていく活動や、環境に優しい農業に向けた取り組みをして行こうとする活動組織に対し、交付金を交付した。 ・負担割合 国1/2、県1/4、市1/4 ・交付単価(田の場合) ※上限額 農地維持支払 3,000円/10a 資源向上支払(共同活動) 2,400円/10a(取組内容により1,800円又は1,500円となる) 資源向上支払(長寿命化) 4,400円/10a 等						
【事業評価】 振り返り結果から見た改革改善策の具体的内容						
改革改善の内容	☐ (1)目的妥当性 ☒ (2)有効性 ☐ (3)効率性 ☐ (4)公正・公平性 ☐ (5)市民協働 活動組織に対して計画的な事業運営の展開、適正な事業執行を指導することにより成果向上が期待できる。					

令和 6 年度 主要事業実績報告書

事務事業名	農地防災ダム管理事業	
基本目標	6	社会基盤の整備と行政経営の方針
施策	21	安心・安全なまちづくり

所管課	防災ダム管理所
決算額(千円)	63,128

一般会計			款	06	農林水産業費		項	01	農業費	
目	07	農地防災ダム管理費		事業	000300		農地防災ダム管理事業			
事業 事業の 目的	(1)対象(誰、何に対して事業を行うのですか?)						◆対象指標(上段:予算要求時点、下段:決算時点)			
	安代防災ダム群 (荒沢1号ダム、荒沢2号ダム、荒沢3号ム、根石ダム及び付帯施設)						①	防災ダム数		4施設
										4施設
	(2)意図(この事業により対象をどのような状態にしたいのですか?)						②			
	安代防災ダム群の維持、保全管理を行う。									
	(3)指標以外に考えられる成果						①	点検回数		245回
						②				
事業概要										
◆岩手県から受託した安代防災ダム群の維持管理を実施した。 受託施設 防災ダム(管理事務所含む) 4カ所 統合防災ダム管理所 1カ所 観測警報局・警報局・中継局 9カ所 現年 36,282千円 明許 26,847千円										
【事業評価】 振り返り結果から見た改革改善策の具体的内容										
改革改善 の内容		☐ (1)目的妥当性 ☐ (2)有効性 ☐ (3)効率性 ☐ (4)公正・公平性 ☐ (5)市民協働								

事務事業名	有害鳥獣駆除事業	
基本目標	2	ともに学び働き、暮らし豊かなまちづくり
施策	07	山林の保全と林業の活性化

所管課	農林課
決算額(千円)	6,795

一般会計			款	06	農林水産業費	項	02	林業費
目	01	林業総務費	事業	000300	有害鳥獣駆除事業			
事業 事業の 目的	(1)対象(誰、何に対して事業を行うのですか？)					◆対象指標(上段:予算要求時点、下段:決算時点)		
	市民、有害鳥獣、市鳥獣被害対策実施隊、猟友会					①	市民	23,581人
								22,949人
	(2)意図(この事業により対象をどのような状態にしたいのですか？)					②	捕獲等許可特例配分頭数	14頭
	ツキノワグマやイノシシによる被害や目撃が拡大傾向にあることから、有害鳥獣対策を実施し、被害の軽減を図る。							11頭
	(3)指標以外に考えられる成果					◆成果(活動)指標(上段:計画値、下段:実績値)		
住宅地での被害や目撃減少、人身被害の減少、市民の安心増加、ハンター数の増加、農業所得の増加、営農意欲の増進					①	通報件数	85件	
							266件	
						②	農作物被害件数	12件
							10件	
事業概要								
◆1年を通じての有害鳥獣捕獲活動やわなの貸出しを行い、捕獲を強化し、被害の軽減を図った。 ◆農作物被害防止を目的に設置する「電気柵」の導入に対し助成を行い、侵入防止や環境管理対策を図った。 ◆狩猟免許取得に必要な経費の一部を支援し、有害鳥獣駆除活動従事者の確保、育成を図った。 ◆地域住民と猟友会による協働の駆除活動を支援し、地域ぐるみの捕獲体制の構築を推進した。 【事業内容】 ・鳥獣被害対策実施隊員謝礼(55名*@12,000円、2名*@7,000円) ・有害鳥獣捕獲業務委託料(市猟友会へ)・熊用わなセンサーシステム実証実験委託料(わな管理を遠隔で行い、負担軽減を図った。) ・熊対策システム使用料(ツキノワグマの目撃情報をアプリで通報。SNSを活用し、出没情報を発信した。) ・有害鳥獣捕獲用わな購入・農作物等食害防止用電気柵設置費補助金(補助率1/2、個人30件、1,785千円) ・狩猟免許新規取得費補助金(補助率3/4、銃猟免許4人)								
【事業評価】 振り返り結果から見た改革改善策の具体的内容								
改革改善 の内容		☐ (1)目的妥当性 ☐ (2)有効性 ☐ (3)効率性 ☐ (4)公正・公平性 ☐ (5)市民協働						

令和 6 年度 主要事業実績報告書

事務事業名	林道維持補修事業	
基本目標	2	ともに学び働き、暮らし豊かなまちづくり
施策	07	山林の保全と林業の活性化

所管課	農林課・安代総合支所
決算額(千円)	15,732

一般会計			款	06	農林水産業費		項	02	林業費	
目	02	林業振興費		事業	000300	林道維持補修事業				
事務事業の目的	(1)対象(誰、何に対して事業を行うのですか?)						◆対象指標(上段:予算要求時点、下段:決算時点)			
	林道を利用する受益者						①	林道延長	101,951m	
									101,951m	
	(2)意図(この事業により対象をどのような状態にしたいのですか?)						②	未登記林道延長	30,705m	
	林道の適正な維持管理により、林業作業車及び一般通行車両等が安全な通行を確保する。								31,205m	
	(3)指標以外に考えられる成果						◆成果(活動)指標(上段:計画値、下段:実績値)			
林道測量登記の早期整備事業を進めることにより、地権者からの承諾同意が得やすく、林道内の事故責任への対応及び未登記路線解消が図られる。						①	補修路線	30路線		
								30路線		
						500m				
事業概要										
◆林道30路線の維持管理に努めるとともに、林道未登記路線の登記事務を行った。 ・林道維持管理 30路線、延長101,951mの草刈、倒木処理、碎石敷均し等 ・林道1,020mの測量調査										
【事業評価】 振り返り結果から見た改革改善策の具体的内容										
改革改善の内容		☐ (1)目的妥当性 ☐ (2)有効性 ☐ (3)効率性 ☐ (4)公正・公平性 ☐ (5)市民協働								

事務事業名	林業振興事業	
基本目標	2	ともに学び働き、暮らし豊かなまちづくり
施策	07	山林の保全と林業の活性化

所管課	農林課
決算額(千円)	142,971

一般会計		款	06	農林水産業費	項	02	林業費
目	02	林業振興費	事業	000400	林業振興事業		
事務事業の目的	(1)対象(誰、何に対して事業を行うのですか?)				◆対象指標(上段:予算要求時点、下段:決算時点)		
	森林所有者、森林組合、事業体が行う民有林の森林整備 森林資源を利用する市民				①	民有林事業対象面積	21,723ha 21,723ha
	(2)意図(この事業により対象をどのような状態にしたいのですか?)				②	世帯数	10,610世帯 10,745世帯
	民有林の森林整備事業等に対する嵩上補助により、森林資源の循環利用に資する適正な森林整備の促進を図る。				◆成果(活動)指標(上段:計画値、下段:実績値)		
	(3)指標以外に考えられる成果				①	民有林事業実施面積	182ha 219ha
	森林整備を行うことにより水源涵養機能、山地災害防止機能の維持増進が図られるとともに、地域資源である林産物の供給や木質エネルギー利用による省エネルギーやCO2削減による地球環境保全が図られる。				②	薪・ペレットストーブ導入台数	15台 8台
事業概要							
◆民有林の森林整備事業への助成により森林施業の促進を図りながら、計画的な森林経営のための計画作成を促進した。 ◆林業就業者の確保、育成等の支援により林業振興を図った。							
【事業内容】 ・民有林森林整備事業嵩上げ補助(再造林33ha、下刈り131ha、除伐8ha) ・特用林産施設体制整備復興事業(しいたけ原木11,700本、種菌1,580瓶) ・八幡平市木質燃料等利用設備設置事業(薪・ペレットストーブ導入経費の一部助成8台) ・林業新規就業者支援事業 令和5年度からの継続分 新規就労者支援3人、家賃支援0人、受入事業体支援1事業体 令和6年度の新規申請分 新規就労者支援2人、家賃支援0人、受入事業体支援1事業体 ・生活環境保全林整備(1.9ha)							
【事業評価】 振り返り結果から見た改革改善策の具体的内容							
改革改善の内容		☐ (1)目的妥当性 ☐ (2)有効性 ☐ (3)効率性 ☐ (4)公正・公平性 ☐ (5)市民協働					

その他の事業の成果について

関連する事務事業名	農業委員会運営事業																																																																					
成果の内容	(1) 農地法に基づく許認可等事務																																																																					
	<table><tr><th rowspan="2">区 分</th><th>西根</th><th>松尾</th><th>安代</th><th>市外</th><th colspan="2">合 計</th></tr><tr><th>件数</th><th>件数</th><th>件数</th><th>件数</th><th>件数</th><th>面積 (㎡)</th></tr><tr><td>法第3条関係</td><td>28</td><td>10</td><td>6</td><td>7</td><td>51</td><td>290, 227</td></tr><tr><td>法第4条関係</td><td>0</td><td>1</td><td>0</td><td>0</td><td>1</td><td>129</td></tr><tr><td>法第5条関係</td><td>5</td><td>1</td><td>4</td><td>0</td><td>10</td><td>53, 275</td></tr><tr><td>適外証明願</td><td>15</td><td>5</td><td>6</td><td>0</td><td>26</td><td>86, 243</td></tr><tr><td>制限の例外</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td></tr><tr><td>買受適格証明</td><td>1</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>1</td><td>2, 249</td></tr><tr><td>農地改良</td><td>5</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>5</td><td>4, 800</td></tr><tr><td>合 計</td><td>54</td><td>17</td><td>16</td><td>7</td><td>94</td><td>436, 923</td></tr></table>	区 分	西根	松尾	安代	市外	合 計		件数	件数	件数	件数	件数	面積 (㎡)	法第3条関係	28	10	6	7	51	290, 227	法第4条関係	0	1	0	0	1	129	法第5条関係	5	1	4	0	10	53, 275	適外証明願	15	5	6	0	26	86, 243	制限の例外	0	0	0	0	0	0	買受適格証明	1	0	0	0	1	2, 249	農地改良	5	0	0	0	5	4, 800	合 計	54	17	16	7	94	436, 923
	区 分		西根	松尾	安代	市外	合 計																																																															
		件数	件数	件数	件数	件数	面積 (㎡)																																																															
	法第3条関係	28	10	6	7	51	290, 227																																																															
	法第4条関係	0	1	0	0	1	129																																																															
	法第5条関係	5	1	4	0	10	53, 275																																																															
	適外証明願	15	5	6	0	26	86, 243																																																															
	制限の例外	0	0	0	0	0	0																																																															
	買受適格証明	1	0	0	0	1	2, 249																																																															
	農地改良	5	0	0	0	5	4, 800																																																															
	合 計	54	17	16	7	94	436, 923																																																															
	(2) 農業経営基盤強化促進法および農地中間管理事業の推進に関する法律に基づく農地処理状況																																																																					
	・認定農業者等への農用地利用集積																																																																					
	<table><tr><th>区 分</th><th>件数</th><th>面積 (㎡)</th></tr><tr><td>所有権移転</td><td>79</td><td>451, 095</td></tr><tr><td>利用権設定</td><td>734</td><td>4, 401, 647</td></tr><tr><td>合 計</td><td>813</td><td>4, 852, 742</td></tr></table>	区 分	件数	面積 (㎡)	所有権移転	79	451, 095	利用権設定	734	4, 401, 647	合 計	813	4, 852, 742																																																									
	区 分	件数	面積 (㎡)																																																																			
	所有権移転	79	451, 095																																																																			
利用権設定	734	4, 401, 647																																																																				
合 計	813	4, 852, 742																																																																				
(3) 税法に基づく納税猶予申請事務																																																																						
・新規 贈与税 0件																																																																						
不動産取得税 0件																																																																						
・継続 贈与税 12件																																																																						
不動産取得税 7件																																																																						
(4) 耕作証明書発行件数																																																																						
本 庁 237件																																																																						
西根総合支所 34件																																																																						
安代総合支所 26件																																																																						
合 計 297件																																																																						

令和 6 年度 主要事業実績報告書

事務事業名	商工振興対策事業	
基本目標	2	ともに学び働き、暮らし豊かなまちづくり
施策	06	商業の拠点づくりと買い物支援

所管課	商工観光課
決算額(千円)	16,024

一般会計			款	07	商工費	項	01	商工費
目	02	商工振興費	事業	000300	商工振興対策事業			
事業 事業の 目的	(1)対象(誰、何に対して事業を行うのですか?)					◆対象指標(上段:予算要求時点、下段:決算時点)		
	①八幡平市商工会					①	八幡平市商工会	1団体
	②商工関係団体							1団体
	(2)意図(この事業により対象をどのような状態にしたいのですか?)					②	商工関係団体	5団体
	・市商工会の経営安定が図られ、会員の経営指導に寄与できる。							5団体
	(3)指標以外に考えられる成果					◆成果(活動)指標(上段:計画値、下段:実績値)		
目的	・市内商店街の活性化及び商業関係の雇用確保が期待できる。					①	市商工会員数	627人
								606人
						②	空き店舗活用者数	2人
							2人	
事業概要								
◆商工振興対策事業								
①経営改善普及事業(職員の適正配置による円滑かつ効果的な事業を推進、地域中小企業経営の改善発達を支援・経営基盤の充実を図る) 中小企業に対する定期的な巡回相談及び窓口指導、経営に関する講習会の開催及び個別指導、経営革新及び創業に関する相談指導、 記帳機械化の普及促進、伴走型小規模企業支援等の経営発達支援計画の事業実施、職員の資質向上と支援体制の強化を支援した。								
②地域総合振興事業(地域商工業、会員企業の総合的な発展と地域全体の振興に資する) 関係機関の催事への物産出品、観光PR、各部会活動の実施、青年部及び女性部活動の推進を支援した。								
◆商工業担い手育成事業(市内商工業者の認知度の向上、地元で働くことのすばらしさを伝える、市内企業の従業員の定着率の向上) 市内商工業者の事業認知度を高めるイベント(子ども職業体験等)、従業員定着を図る企画会議や交流会、研修会開催経費への助成を行った。								
◆八幡平市創業者支援事業費補助金(空き店舗を利用して新規に開店する者に対して、1店舗150万円を限度に店舗改装費の助成)								
【事業評価】 振り返り結果から見た改革改善策の具体的内容								
改革改善 の内容	☐ (1)目的妥当性 ☐ (2)有効性 ☐ (3)効率性 ☐ (4)公正・公平性 ☐ (5)市民協働							

事務事業名	商工業金融対策事業	
基本目標	2	ともに学び働き、暮らし豊かなまちづくり
施策	06	商業の拠点づくりと買い物支援

所管課	商工観光課
決算額(千円)	182,621

一般会計			款	07	商工費	項	01	商工費
目	02	商工振興費	事業	000500	商工業金融対策事業			
事業 事業の 目的	(1)対象(誰、何に対して事業を行うのですか?)					◆対象指標(上段:予算要求時点、下段:決算時点)		
	商工業者					①	市内事業所数	1,125社
								1,125社
	(2)意図(この事業により対象をどのような状態にしたいのですか?)					②		
	中小企業振興資金及び日本政策金融公庫経営改善資金等の利子等の一部を補助することにより、健全経営が図られる。							
	(3)指標以外に考えられる成果					◆成果(活動)指標(上段:計画値、下段:実績値)		
						①	新規中小企業振興資金融資額	325百万円
								218百万円
						②	新規商工業振興資金融資額	100百万円
							55百万円	
事業概要								
◆市単事業である中小企業振興資金融資制度の運営について、次のとおり継続して実施した。 ・預託金120,000千円を市内3金融機関に預託し、1,200,000千円の融資枠を確保した。 ・当該資金借入により発生する利子のうち、年利1.5%分を補助した。 ・当該資金借入に必要な県信用保証協会に対する保証料について、全額補助した。 ◆日本政策金融公庫が融資する経営改善資金の借入により発生する利子のうち、7割分(年利1.5%限度)を補助した。 ◆新型コロナウイルス感染症の拡大により経営環境が悪化した中小企業者が融資を受けた事業資金の利子及び保証料を全額補助した。								
【事業評価】 振り返り結果から見た改革改善策の具体的内容								
改革改善 の内容		☐ (1)目的妥当性 ☐ (2)有効性 ☐ (3)効率性 ☐ (4)公正・公平性 ☐ (5)市民協働						

令和 6 年度 主要事業実績報告書

事務事業名	商店街活性化推進事業	
基本目標	2	ともに学び働き、暮らし豊かなまちづくり
施策	06	商業の拠点づくりと買い物支援

所管課	商工観光課
決算額(千円)	35,703

一般会計			款	07	商工費	項	01	商工費
目	02	商工振興費	事業	000600	商店街活性化推進事業			
事務事業の目的	(1)対象(誰、何に対して事業を行うのですか?)					◆対象指標(上段:予算要求時点、下段:決算時点)		
	市民					①	人口	23,581人 22,949人
	(2)意図(この事業により対象をどのような状態にしたいのですか?)					②		
	・消費購買力の流出防止及び利便性向上により、市内商業回遊性創出による来街者増を期待する。 ・消費者の購買意欲を喚起し、地元消費拡大を図り、地域経済の活性化に資する。 ・観光客の入れ込みや市内での消費拡大と掲載企業の売上向上を図る。					◆成果(活動)指標(上段:計画値、下段:実績値)		
	(3)指標以外に考えられる成果					①	商店街イベント参加者数	9,000人 8,723人
・各地区の商店街が自主的に計画し実施することから、経営者の意識啓発と特色ある活動ができる。					②	共通商品券販売額	200百万円 206.6百万円	
事業概要								
◆八幡平市商工会が行う商店街活性化推進事業に対して支援を行った。 ①商店街空き店舗活用事業:安代地区の空き店舗を利用し、商店街の賑わいを持たせる事業への助成(よりあい処ぬくもり施設運営事業) ②誘客促進商店街イベント事業:各地区商店街の公募型イベント、グルメ&温泉スタンプラリー、まちなかギャラリー、大更ガーデンフェスティバル、電動自転車を使った商店街回遊事業、あしろマルシェ、はちマルシェへの助成 ◆共通商品券特典事業に対して支援を行った。 ①商工会が発行する5%及び10%プレミアム特典付き商品券事業への助成(現年) ②商工会が発行する20%プレミアム特典付き商品券事業への助成(明許) ◆商工観光情報誌発行事業に対して支援を行った。 ・商工会が発行するフリーマガジン「ハチクラ」の作成経費への助成 現年15,715千円 明許19,988千円								
【事業評価】 振り返り結果から見た改革改善策の具体的内容								
改革改善の内容		☐ (1)目的妥当性 ☐ (2)有効性 ☐ (3)効率性 ☐ (4)公正・公平性 ☐ (5)市民協働						

事務事業名	大更駅前拠点施設整備事業	
基本目標	6	社会基盤の整備と行政経営の方針
施策	18	市街地整備と地域拠点づくり

所管課	商工観光課
決算額(千円)	380,070

一般会計		款	07	商工費	項	01	商工費
目	02	商工振興費	事業	000700	大更駅前拠点施設整備事業		
事務事業の目的	(1)対象(誰、何に対して事業を行うのですか？)				◆対象指標(上段:予算要求時点、下段:決算時点)		
	・(仮称)大更駅前顔づくり施設 ・大更駅前線沿道商業用地取得事業者				①	(仮称)大更駅前顔づくり施設の建設	0施設 0施設
	(2)意図(この事業により対象をどのような状態にしたいのですか？)				②	大更駅前線沿道商業用地	10区画 9区画
	・(仮称)大更駅前顔づくり施設を建設する。 ・大更駅前線沿道商業用地取得事業者へ施設整備補助をする。				◆成果(活動)指標(上段:計画値、下段:実績値)		
	(3)指標以外に考えられる成果				①	実施設計・建設工事	1式 1式
	・(仮称)大更駅前顔づくり施設利用者が、大更駅前の商店等を利用すること。 ・様々な機能を1つの施設に集約することから、子育て支援施設や図書館の利用者が増加すること。 ・駅前商店街の再配置を推進(空き店舗の活用の増加)				②	大更駅前線沿道商業用地取得事業者	4人 1人
事業概要							
◆大更駅前周辺の賑わい創出 ◆指定管理者制度に係る先見視察 ◆大更駅前顔づくり施設建設工事 ◆大更駅前顔づくり施設建設工事管理業務 ◆大更駅前線沿道商業用地施設整備事業費補助金 大更駅前線沿道商業用地で施設整備を行う事業者に対する補助を実施。1事業者当たりの上限1,000万円(補助率1/2)。							
【事業評価】振り返り結果から見た改革改善策の具体的内容							
改革改善の内容		☐ (1)目的妥当性 ☐ (2)有効性 ☐ (3)効率性 ☐ (4)公正・公平性 ☐ (5)市民協働					

令和 6 年度 主要事業実績報告書

事務事業名	観光振興対策事業	
基本目標	2	ともに学び働き、暮らし豊かなまちづくり
施策	04	おもてなしの観光による交流人口の増加

所管課	商工観光課
決算額(千円)	81,510

一般会計	款	07	商工費	項	01	商工費
目	03	観光費	事業	000300	観光振興対策事業	
事務事業の目的	(1)対象(誰、何に対して事業を行うのですか?)			◆対象指標(上段:予算要求時点、下段:決算時点)		
	一般社団法人八幡平市観光協会			①	事業連携団体数	2団体
	株式会社八幡平DMO					2団体
	(2)意図(この事業により対象をどのような状態にしたいのですか?)			②	委託補助事業件数	4事業
	市と連携した総合的な情報発信・観光事業を行う。					3事業
	(3)指標以外に考えられる成果			◆成果(活動)指標(上段:計画値、下段:実績値)		
			①	観光等宿泊者数	520千人回	
					353千人回	
			②	観光客入込数	2,000千人回	
					1,550千人回	
事業概要 ◆八幡平市観光振興審議会を開催し、市観光振興計画の進行管理を行った。 ◆国際交流員を雇用し、海外(英語圏)向け情報発信の向上、外国人観光客受入態勢の強化を図った。 ◆各種観光関係団体と連携した観光振興を図った。 ◆市観光協会に観光総合案内窓口業務、広告宣伝事業等の観光振興事業を補助支援した。 ◆物価高騰対応として、訪日外国人誘客促進事業を実施した。 現年 63,820千円 明許 17,690千円						
【事業評価】 振り返り結果から見た改革改善策の具体的内容						
改革改善の内容	☒ (1)目的妥当性 ☒ (2)有効性 ☐ (3)効率性 ☐ (4)公正・公平性 ☐ (5)市民協働 目的妥当性:定期的な市観光協議会を開催し、広く観光施策の意見交換を実施しているが、市民の参画の場を設けることで、観光に対してのシビックプライドの向上に繋げる取組みが必要である。 有効性:これまでの取組みを検証し、戦略的な事業を推進する。					

事務事業名	誘客イベント開催補助事業	
基本目標	2	ともに学び働き、暮らし豊かなまちづくり
施策	04	おもてなしの観光による交流人口の増加

所管課	商工観光課
決算額(千円)	18,500

一般会計	款	07	商工費	項	01	商工費
目	03	観光費	事業	000500	誘客イベント開催補助事業	
事務事業の目的	(1)対象(誰、何に対して事業を行うのですか?)			◆対象指標(上段:予算要求時点、下段:決算時点)		
	観光客			①	誘客イベント数	5イベント
	(2)意図(この事業により対象をどのような状態にしたいのですか?)			②		
	イベントへの来場客数を増やす。			◆成果(活動)指標(上段:計画値、下段:実績値)		
	(3)指標以外に考えられる成果			①	イベント来場客数	38,000人回
						30,900人回
			②			
事業概要 ◆市観光イベント実行委員会に下記イベントの運営費補助を行った。 市観光協会に市観光イベント実行委員会の事務局を委託し事務の効率化を図った。 ①八幡平ふるさと花火まつり(8月開催) ②八幡平山賊まつり(10月開催) ◆イベント実行委員会事業に要する経費の補助を行った。						
【事業評価】 振り返り結果から見た改革改善策の具体的内容						
改革改善の内容	☐ (1)目的妥当性 ☒ (2)有効性 ☐ (3)効率性 ☐ (4)公正・公平性 ☐ (5)市民協働					

令和 6 年度 主要事業実績報告書

事務事業名	観光客誘致対策事業	
基本目標	2	ともに学び働き、暮らし豊かなまちづくり
施策	04	おもてなしの観光による交流人口の増加

所管課	商工観光課
決算額(千円)	38,945

一般会計			款	07	商工費	項	01	商工費
目	03	観光費	事業	000600	観光客誘致対策事業			
事業 事業 の 目 的	(1)対象(誰、何に対して事業を行うのですか?)					◆対象指標(上段:予算要求時点、下段:決算時点)		
	①観光客 ②PRを実施する国					①	観光客入込数	2,000千人回 1,550千人回
	(2)意図(この事業により対象をどのような状態にしたいのですか?)					②	PR実施国数	3か国 2か国
	市内施設の宿泊者数を増やす。							
	(3)指標以外に考えられる成果					①	観光等宿泊者数	520千人回 353千人回
								②
事業概要								
◆観光宣伝等広告看板の掲出を行った。 ◆市観光協会に各事業を委託し、観光誘客推進を図った。 ①観光宣伝用のパンフレット・ポスターの作成、ホームページの運用 ②十和田八幡平国立公園誘客対策事業 ◆受入れ観光地としてのコンテンツ開発、スノーリゾート地域活性化に係る事業を推進した。 ①バックカントリー環境整備事業 ②ビューポイントホームページの整備 ◆誘客に向けたバス運行事業を行った。 ①八幡平・安比高原二次交通バス ②八幡平自然散策バス ③盛岡八幡平間冬期バス ◆教育旅行に係る市内宿泊のバス利用に対し補助を行った。 ◆市内事業者の観光客誘致、受入環境整備の支援を行った。								
【事業評価】 振り返り結果から見た改革改善策の具体的内容								
改革改善 の内容	☐ (1)目的妥当性 ☒ (2)有効性 ☒ (3)効率性 ☐ (4)公正・公平性 ☐ (5)市民協働							
	有効性:観光消費額やリピート率などを把握するための方法を検討し、ターゲットとPR方法を明確化する。 効率性:成果と事業費が見合うものとなるよう精査する。							

事務事業名	観光施設維持管理事業	
基本目標	2	ともに学び働き、暮らし豊かなまちづくり
施策	04	おもてなしの観光による交流人口の増加

所管課	商工観光課
決算額(千円)	74,651

一般会計		款	07	商工費	項	01	商工費
目	03	観光費	事業	000700	観光施設維持管理事業		
事業 事業 の 目 的	(1)対象(誰、何に対して事業を行うのですか？)				◆対象指標(上段:予算要求時点、下段:決算時点)		
	①維持管理する観光施設、場所				①	観光施設等数	16箇所 16箇所
	(2)意図(この事業により対象をどのような状態にしたいのですか？)				②		
	①観光客が快適に利用できるように管理する。 ②資料保存を図りながら、環境学習の場とする。				◆成果(活動)指標(上段:計画値、下段:実績値)		
	(3)指標以外に考えられる成果				①	観光施設苦情不具条件数	0件 0件
	観光資源として観光客の誘致に寄与する(松尾鉱山資料館)。				②	松尾鉱山資料館来館者数	4,200人 5,558人
事業概要							
◆松尾八幡平ビジターセンター、八幡平山頂レストハウスの管理を所有者である県から受託し、市内事業者への委託による維持管理業務を行った。 ◆市内観光施設等の維持管理を行った。 ①桜松公園 ②貝梨峠分水嶺公園 ③安比高原さわやかトイレ ④さくら公園 ⑤柏台公共園地 ⑥明治百年記念造園地 ⑦松川溪谷歩道 ⑧七時雨・田代平エリア観光施設 ⑨八幡平見返峠さわやかトイレ ⑩御在所地区中継基地公衆トイレ・駐車場 ⑪長者屋敷公園 ⑫野駄館公園 ⑬七時雨地区体験観光施設 ◆十和田八幡平国立公園八幡平地域周辺の観光資源の環境整備等を行った。 ①自然公園保護管理員による登山道の整備、パトロール等 ②自然保護指導員による区域内での違反行為に対する指導等 ③業務委託による登山道の刈払い ④安比高原遊々の森活性化を目的とした補助金交付 ◆松尾鉱山資料館の事業実施、施設管理を行った。 ◆御在所地区の環境整備を行った。							
【事業評価】 振り返り結果から見た改革改善策の具体的内容							
改革改善 の内容		☐ (1)目的妥当性 ☐ (2)有効性 ☐ (3)効率性 ☐ (4)公正・公平性 ☐ (5)市民協働					

令和 6 年度 主要事業実績報告書

事務事業名	温泉産直施設管理事業	
基本目標	2	ともに学び働き、暮らし豊かなまちづくり
施策	04	おもてなしの観光による交流人口の増加

所管課	商工観光課
決算額(千円)	26,129

一般会計			款	07	商工費	項	01	商工費
目	03	観光費	事業	000800	温泉産直施設管理事業			
事業 事業 の 目的	(1)対象(誰、何に対して事業を行うのですか?)					◆対象指標(上段:予算要求時点、下段:決算時点)		
	①観光施設(温泉・産直施設)					①	温泉産直施設	7箇所
	②八幡平市物産振興会							7箇所
	(2)意図(この事業により対象をどのような状態にしたいのですか?)					②	会員団体	20団体
	①利用者に観光施設(温泉・産直施設)を安全・安心・快適に利用してもらうことができる状態を維持する。 ②市の特産品の販路を拡大するための体制を整える。							18団体
	(3)指標以外に考えられる成果					◆成果(活動)指標(上段:計画値、下段:実績値)		
	①良好な施設の維持管理、効率的運営による収益の増加					①	温泉産直施設利用者数	480千人
	②会員の増加及び特産品の開発に伴う催事での販売額の増加							420千人
					②	物産展への出展回数	6回	
							10回	
事業概要								
◆市内温泉産直施設を指定管理により運営した。 ①八幡平市生産物直売所 道の駅にしね ②岩手山焼走り国際交流村 ③松尾八幡平物産館 あすびーて ④松つちゃん市場 ⑤八幡平温泉館森乃湯 ⑥八幡平市自然休養村 なかやま荘(休止) ⑦八幡平市安代林業センター(休止) ◆施設の改修工事、修繕を実施した。 全ての施設で老朽化が進んでいるため、優先順位をつけ修繕を実施。 ◆八幡平市物産振興会事業費補助金(姉妹都市等の物産展等への参加に伴う旅費等への助成) ◆八幡平市産直連携協議会補助金 ◆食材供給事業費補助金								
【事業評価】 振り返り結果から見た改革改善策の具体的内容								
改革改善 の内容	☐ (1)目的妥当性 ☒ (2)有効性 ☒ (3)効率性 ☒ (4)公正・公平性 ☐ (5)市民協働							
	施設を適正に維持管理するために必要な費用を確保する必要がある。 特産品の販路拡大を図るための効率的な補助方法を検証する必要がある。							

事務事業名	企業誘致推進事業	
基本目標	2	ともに学び働き、暮らし豊かなまちづくり
施策	05	地元企業の発展と企業誘致の推進

所管課	商工観光課
決算額(千円)	17,679

一般会計			款	07	商工費	項	01	商工費
目	04	企業誘致対策費	事業	000300	企業誘致推進事業			
事業 事業 の 目的	(1)対象(誰、何に対して事業を行うのですか？)					◆対象指標(上段:予算要求時点、下段:決算時点)		
	①市内への工場立地意向企業					①	立地照会件数	5社
	②既に市内に立地している誘致企業							22社
	(2)意図(この事業により対象をどのような状態にしたいのですか？)					②	既存誘致企業数	26社
	企業の新規立地や工場等の増設が促進されることにより、雇用創出と地域産業の活性化を図る。							26社
	(3)指標以外に考えられる成果					◆成果(活動)指標(上段:計画値、下段:実績値)		
	・市民所得の向上					①	企業立地数	1社
	・法人税、固定資産税等の税收増加							0社
	・地域産業への取引拡大					②	企業立地による雇用者数	1,100人
								1,119人
事業概要								
◆企業誘致に係る環境整備と既存企業への支援を行った。 ①県や関係団体と連携した企業誘致活動、企業立地セミナーへの参加等 ②既存誘致企業のフォローアップ及び八幡平市企業懇談会への支援 ③工業団地等の環境整備 ④企業立地促進事業費補助金の交付 1件(株式会社エフアンドディ) ⑤工場等設置奨励金の交付 1件(株式会社太極舎)								
【事業評価】 振り返り結果から見た改革改善策の具体的内容								
改革改善 の内容	☐ (1)目的妥当性 ☒ (2)有効性 ☐ (3)効率性 ☐ (4)公正・公平性 ☐ (5)市民協働							
	造成済み産業用地がないため、民有地照会に向けて情報収集が必要。併せて、企業未利用地の活用、空工場の活用が必要である。また、実効性がある企業誘致活動を行うため、企業調査・要望把握による訪問企業の絞込みが必要。併せて、企業未利用地の活用、空工場の活用が必要である。また、実効性がある企業誘致活動を行うため、企業調査・要望把握による訪問企業の絞込みが必要。							

令和 6 年度 主要事業実績報告書

事務事業名	起業家支援対策事業	
基本目標	2	ともに学び働き、暮らし豊かなまちづくり
施策	05	地元企業の発展と企業誘致の推進

所管課	商工観光課
決算額(千円)	4,215

一般会計			款	07	商工費	項	01	商工費
目	04	企業誘致対策費	事業	000400	起業家支援対策事業			
事業 事業 の 目 的	(1)対象(誰、何に対して事業を行うのですか?)					◆対象指標(上段:予算要求時点、下段:決算時点)		
	貸工場に入居している企業					①	貸工場入居企業数	2社 2社
	(2)意図(この事業により対象をどのような状態にしたいのですか?)					②		
	市内への工場立地を促進する。					◆成果(活動)指標(上段:計画値、下段:実績値)		
	(3)指標以外に考えられる成果					①	市内への工場立地数	1社 0社
	法人税、固定資産税等の税収増					②		
事業概要								
◆八幡平市貸工場の維持管理を行った。 ◆貸工場入居企業の市内工場立地に向けた情報提供等の支援を行った。 ◆クラウドファンディングの手数料を補助し、市内起業者の事業化支援を行った。								
【事業評価】 振り返り結果から見た改革改善策の具体的内容								
改革改善 の内容		☐ (1)目的妥当性 ☒ (2)有効性 ☐ (3)効率性 ☐ (4)公正・公平性 ☐ (5)市民協働						
		入居企業の2次展開を促進させるための産業用地を整備していく必要がある。						

事務事業名	起業志民プロジェクト事業	
基本目標	2	ともに学び働き、暮らし豊かなまちづくり
施策	05	地元企業の発展と企業誘致の推進

所管課	商工観光課
決算額(千円)	56,526

一般会計			款	07	商工費	項	01	商工費
目	04	企業誘致対策費	事業	000800	起業志民プロジェクト事業			
事業 事業 の 目 的	(1)対象(誰、何に対して事業を行うのですか?)					◆対象指標(上段:予算要求時点、下段:決算時点)		
	起業を志す者					①	スパルタキャンプ申込者数	45人 117人
	(2)意図(この事業により対象をどのような状態にしたいのですか?)					②		
	技術・知識を身に付け、市内で起業する。					◆成果(活動)指標(上段:計画値、下段:実績値)		
	(3)指標以外に考えられる成果					①	起業件数	5件 14件
	起業し、市内に移住する者の増加 大学卒業年齢時における人口減少率の低下					②	起業家支援センター登録者数	45人 37人
事業概要								
◆起業に必要な技術・知識、特にプログラミング講習で起業家を育成し、市内で起業するための環境として起業家支援センターを設置して、開業・法人設立を促すとともに、新たに都内企業1社のサテライトオフィスを誘致した。また、市内で起業した事業者を支援し、医療×テック産業の集積を図るメディテックバレーを推進した。 ①起業家育成事業 スパルタキャンプ(年3回開催・起業相談随時) ②起業環境提供事業 八幡平市起業家支援センター(1カ所) ③事業化促進 八幡平市メディテックバレーコンソーシアム(運営一式)								
【事業評価】 振り返り結果から見た改革改善策の具体的内容								
改革改善 の内容		☐ (1)目的妥当性 ☐ (2)有効性 ☐ (3)効率性 ☐ (4)公正・公平性 ☐ (5)市民協働						

令和 6 年度 主要事業実績報告書

事務事業名	漆工技術研究センター事業	
基本目標	2	ともに学び働き、暮らし豊かなまちづくり
施策	05	地元企業の発展と企業誘致の推進

所管課	安代漆工技術研究センター
決算額(千円)	5,286

一般会計		款	07	商工費	項	01	商工費
目	05	漆工技術研究センター費	事業	000300	漆工技術研究センター事業		
事務事業の目的	(1)対象(誰、何に対して事業を行うのですか?)				◆対象指標(上段:予算要求時点、下段:決算時点)		
	漆工技術習得希望者				①	研修者数	4人
							4人
	(2)意図(この事業により対象をどのような状態にしたいのですか?)				②		
	技術習得により漆器産業への従事や独立を図る。				◆成果(活動)指標(上段:計画値、下段:実績値)		
	(3)指標以外に考えられる成果				①	工房開設者数、従事者数	19人
・市外研修者の定住が見込まれる。						19人	
・伝統工芸品の安定的な生産が可能となる。				②			
事業概要							
◆漆工技術習得希望者を市内外から募集し、漆器産業に従事できる技術者を養成した。 ・基礎課程…研修期間2年。1年生は基本的な漆の扱いや汁椀などの丸物の商品を基本に研修し、2年生は重箱など高度な技術を研修し、繰り返しにより高度な生産技術を指導。漆器工房との連携により量産に対応できる技術も指導。 ・専攻課程…研修期間1年。基礎課程修了者又は同等の技術を有する者を対象とし、漆基礎技術を生かした量産実習、販売実習、経理等の各種講義や商品構成、木地発注等の実務を中心として研修。							
【事業評価】 振り返り結果から見た改革改善策の具体的内容							
改革改善の内容		☐ (1)目的妥当性 ☐ (2)有効性 ☐ (3)効率性 ☐ (4)公正・公平性 ☐ (5)市民協働					

事務事業名	安比塗漆器工房事業	
基本目標	2	ともに学び働き、暮らし豊かなまちづくり
施策	05	地元企業の発展と企業誘致の推進

所管課	安代漆工技術研究センター
決算額(千円)	7,757

一般会計		款	07	商工費	項	01	商工費
目	06	安比塗漆器工房費	事業	000300	安比塗漆器工房事業		
事務事業の目的	(1)対象(誰、何に対して事業を行うのですか?)				◆対象指標(上段:予算要求時点、下段:決算時点)		
	漆器購買者				①	顧客数	420人
							511人
	(2)意図(この事業により対象をどのような状態にしたいのですか?)				②		
	顧客数を増やし販売増につなげる。				◆成果(活動)指標(上段:計画値、下段:実績値)		
	(3)指標以外に考えられる成果				①	年間販売額	24,000千円
・本物の漆器を使うことにより食事マナーの向上につながる。						18,611千円	
・日本古来の伝統工芸品への理解が深まる。				②	物産展参加回数	20回	
						15回	
事業概要							
◆地場産業の振興のため、漆工技術研究センター修了生で組織する企業組合に、漆器の生産及び販売業務を委託。販売先は、市内小売業者をはじめ県内、首都圏の百貨店など。各種物産展へ参加し顧客の確保と店舗開拓に努めた。漆器生産体験や教育旅行の受け入れを実施。							
【事業評価】 振り返り結果から見た改革改善策の具体的内容							
改革改善の内容		☐ (1)目的妥当性 ☐ (2)有効性 ☐ (3)効率性 ☐ (4)公正・公平性 ☐ (5)市民協働					

令和 6 年度 主要事業実績報告書

事務事業名	消費者行政相談事業	
基本目標	6	社会基盤の整備と行政経営の方針
施策	24	協働による行政経営

所管課	市民課
決算額(千円)	13,161

一般会計		款	07	商工費	項	01	商工費
目	07	消費者行政推進費	事業	000300	消費者行政相談事業		
事務事業の目的	(1)対象(誰、何に対して事業を行うのですか?)				◆対象指標(上段:予算要求時点、下段:決算時点)		
	市民				①	人口	23,581人 22,949人
	(2)意図(この事業により対象をどのような状態にしたいのですか?)				②		
	①専門の相談員による質の高い消費者相談サービスの提供を受けることができる。 ②盛岡広域市町が消費者トラブルに連携した対応を受けることができる。				◆成果(活動)指標(上段:計画値、下段:実績値)		
	(3)指標以外に考えられる成果				①	市内の消費生活相談件数	120件 116件
	①悪質商法、リコール商品等についての認知数						
	②市民からの情報提供数				②	出前講座実施件数	15回 17回
	③出前講座における悪質商法対策等の啓発活動による被害の未然防止						
	事業概要						
	◆消費者相談業務の一部を盛岡市に委託し、「盛岡広域市町消費者行政共同実施」を行った。 ◆市に専任の消費生活相談員を配置し、岩手県や盛岡広域グループと連携してトラブル解決等に当たった。 ◆消費生活トラブル情報等を活用し市民が被害を受けないよう情報発信啓発した。 ◆市民への啓発活動として消費生活に係る出前講座「悪質商法対処講座」を実施した。 ◆様々な悪質商法等に対応するため、国・県等が開催する研修会等に参加し、消費生活相談員・担当者の資質向上を図った。 ◆家庭用品品質表示法及び消費生活用製品安全法に係る事務を実施し、一般消費者の利益を保護した。 ◆消費者信用生活協同組合が実施している消費者救済資金貸付制度に10,000千円を預託した。						
【事業評価】 振り返り結果から見た改革改善策の具体的内容							
改革改善の内容	☐ (1)目的妥当性 ☐ (2)有効性 ☐ (3)効率性 ☐ (4)公正・公平性 ☐ (5)市民協働						

令和 6 年度 主要事業実績報告書

事務事業名	公園管理事業	
基本目標	6	社会基盤の整備と行政経営の方針
施策	18	市街地整備と地域拠点づくり

所管課	建設課・安代総合支所
決算額(千円)	4,569

一般会計			款	08	土木費	項	01	土木管理費
目	01	土木総務費	事業	000300		公園管理事業		
事務事業の目的	(1)対象(誰、何に対して事業を行うのですか?)					◆対象指標(上段:予算要求時点、下段:決算時点)		
	公園					①	公園	19箇所 19箇所
						②		
	(2)意図(この事業により対象をどのような状態にしたいのですか?)							
	適正な維持管理により安全安心に利用できる。					◆成果(活動)指標(上段:計画値、下段:実績値)		
	(3)指標以外に考えられる成果					①	遊具基準不適合箇所	0箇所 1箇所
管理業務を地元自治会等に委託することにより、地域住民が公園に愛着を持つとともに、活動の場・憩いの場としての利用促進が期待される。					②	要整備箇所	0箇所 0箇所	
事業概要								
◆直営又は委託により公園を適正に管理した。 【西根・松尾地区】 ・業務委託(10箇所):妻の神広場キャンプ場、山崎堀切地区河川公園、涼川河川公園、平館まちかど公園、田頭館山公園、ひまわりニュータウン公園 赤松ニュータウン公園、新大更ニュータウン公園、松川河川敷公園、湯の又河川公園 ・直営管理(5箇所):大更ニュータウン公園(1・2)、ステラタウン公園、パークタウン仲町公園、西根ニュータウン公園 【安代地区】 ・業務委託(4箇所):川原河川公園、小柳田河川公園、五日市河川公園、米白河川公園 ◆遊具の点検 ・遊具設置公園(4箇所):田頭館山公園、ひまわりニュータウン公園、新大更ニュータウン公園、西根ニュータウン公園 ◆公園施設の修繕・整備:公園施設小破修繕・公園環境整備								
【事業評価】 振り返り結果から見た改革改善策の具体的内容								
改革改善の内容		☐ (1)目的妥当性 ☒ (2)有効性 ☐ (3)効率性 ☐ (4)公正・公平性 ☐ (5)市民協働 遊具基準不適合箇所を早急に修繕する。						

事務事業名	道路管理事務費	
基本目標	6	社会基盤の整備と行政経営の方針
施策	19	交通網・道路網の維持・整備

所管課	建設課
決算額(千円)	17,973

一般会計		款	08	土木費	項	02	道路橋りよう費
目	01	道路橋りよう総務費		事業	000300	道路管理事務費	
事務事業の目的	(1)対象(誰、何に対して事業を行うのですか?)				◆対象指標(上段:予算要求時点、下段:決算時点)		
	市道管理				①	市道実延長	947km 947km
	(2)意図(この事業により対象をどのような状態にしたいのですか?)				②		
	維持管理の作業効率が向上する。				◆成果(活動)指標(上段:計画値、下段:実績値)		
	(3)指標以外に考えられる成果				①	道路台帳整備済延長	947km 947km
				②			
事業概要							
◆市道認定・廃止に伴う道路台帳整備を行った。 ・道路台帳システムのデータ更新及び台帳整備 ・交付税等の基礎資料 ◆道路改良事業に伴う登記事務を行った。 現年 10,603千円 明許 7,370千円							
【事業評価】 振り返り結果から見た改革改善策の具体的内容							
改革改善の内容		☐ (1)目的妥当性 ☐ (2)有効性 ☐ (3)効率性 ☐ (4)公正・公平性 ☐ (5)市民協働					

令和 6 年度 主要事業実績報告書

事務事業名	未登記解消事業		
基本目標	6	社会基盤の整備と行政経営の方針	
施策	19	交通網・道路網の維持・整備	

所管課	建設課
決算額(千円)	6,656

一般会計		款	08	土木費	項	02	道路橋りょう費
目	01	道路橋りょう総務費	事業	000400	未登記解消事業		
事業 事業 の 目 的	(1)対象(誰、何に対して事業を行うのですか?)				◆対象指標(上段:予算要求時点、下段:決算時点)		
	未登記道路用地				①	未登記件数	216件 185件
	(2)意図(この事業により対象をどのような状態にしたいのですか?)				②		
	未登記の解消により適正な管理が図られる。				◆成果(活動)指標(上段:計画値、下段:実績値)		
	(3)指標以外に考えられる成果				①	未登記解消済件数	1,093件 1,137件
	道路用地の適正な管理が図られる。				②	未登記処理件数	40件 14件
事業概要							
◆過去の道路改良工事等において、未登記箇所が存在していることから、相続等の手続きが完了した箇所について、所有権登記を行った。							
【事業評価】 振り返り結果から見た改革改善策の具体的内容							
改革改善 の内容		☐ (1)目的妥当性 ☐ (2)有効性 ☐ (3)効率性 ☐ (4)公正・公平性 ☐ (5)市民協働					

事務事業名	道路等維持補修事業		
基本目標	6	社会基盤の整備と行政経営の方針	
施策	19	交通網・道路網の維持・整備	

所管課	建設課・安代総合支所
決算額(千円)	124,245

一般会計		款	08	土木費	項	02	道路橋りょう費
目	02	道路橋りょう維持費	事業	000300	道路等維持補修事業		
事業 事業 の 目 的	(1)対象(誰、何に対して事業を行うのですか?)				◆対象指標(上段:予算要求時点、下段:決算時点)		
	車両・歩行者及び住民				①	人口	23,581人 22,949人
	(2)意図(この事業により対象をどのような状態にしたいのですか?)				②		
	安全安心な交通の確保、住環境の改善が図られる。				◆成果(活動)指標(上段:計画値、下段:実績値)		
	(3)指標以外に考えられる成果				①	修繕件数	100件 80件
					②	区画線更新延長	25,000m 20,461m
事業概要							
◆冬期の凍結や車両通行による道路付帯構造物の破損箇所の補修、側溝の埋塞土砂の除去、交通安全に係る区画線の設置・更新等の市道維持管理及び改修を行った。 ・区画線設置・修繕 ・舗装面補修 ・道路修繕 ・道路支障物除去 ・側溝等改修工事 ・草刈等維持管理 ・補修用砕石等購入							
【事業評価】 振り返り結果から見た改革改善策の具体的内容							
改革改善 の内容		☐ (1)目的妥当性 ☐ (2)有効性 ☐ (3)効率性 ☐ (4)公正・公平性 ☐ (5)市民協働					

令和 6 年度 主要事業実績報告書

事務事業名	除雪事業	
基本目標	6	社会基盤の整備と行政経営の方針
施策	19	交通網・道路網の維持・整備

所管課	建設課・安代総合支所
決算額(千円)	533,871

一般会計		款	08	土木費	項	02	道路橋りょう費
目	02	道路橋りょう維持費		事業	000400	除雪事業	
事務事業の目的	(1)対象(誰、何に対して事業を行うのですか?)				◆対象指標(上段:予算要求時点、下段:決算時点)		
	冬期間の道路の通行				①	除雪延長	693km 693km
	(2)意図(この事業により対象をどのような状態にしたいのですか?)				②	車両台数	41台 42台
	安全に通行の確保を行う。						
	(3)指標以外に考えられる成果				①	車両更新	1台 1台
	安全性、作業効率の向上、作業時間の短縮						
事業概要							
◆市道農道及び生活道路について、L=693Km(車道:623Km、歩道:70Km)の除雪を実施した。 西根管内→業者委託 松尾管内→直営及び業者委託 安代管内→直営及び業者委託 ◆除雪車両の老朽化による作業効率の低下・修繕等の費用が高むため除雪機械の更新を行った。 ・R6:ロータリ除雪車(2.6m級)1台更新 ◆刈屋重機車庫の屋根塗装工事を実施した。							
【事業評価】 振り返り結果から見た改革改善策の具体的内容							
改革改善の内容	☐ (1)目的妥当性 ☐ (2)有効性 ☐ (3)効率性 ☐ (4)公正・公平性 ☐ (5)市民協働						

事務事業名	橋りょう長寿命化対策事業	
基本目標	6	社会基盤の整備と行政経営の方針
施策	19	交通網・道路網の維持・整備

所管課	建設課
決算額(千円)	100,425

一般会計			款	08	土木費	項	02	道路橋りよう費
目	02	道路橋りよう維持費	事業	000500	橋りよう長寿命化対策事業			
事務事業の目的	(1)対象(誰、何に対して事業を行うのですか?)					◆対象指標(上段:予算要求時点、下段:決算時点)		
	補修を要する橋梁					①	橋梁数	385橋
								377橋
	(2)意図(この事業により対象をどのような状態にしたいのですか?)					②	長寿命化修繕計画数	34橋
	橋を補修して老朽化を防ぎ、安全で安心な交通を確保する。							34橋
	(3)指標以外に考えられる成果					◆成果(活動)指標(上段:計画値、下段:実績値)		
橋の安全性の向上及び長寿命化によるライフサイクルコストを縮減する。 橋梁補修工事に対して国庫補助事業を導入できる。					①	橋梁修繕	6橋	
							1橋	
					19橋			
事業概要								
◆老朽化した橋梁の長寿命化を図るため、橋梁長寿命化修繕計画に基づき橋梁補修工事を実施した。 ・橋梁点検14橋、橋梁補修設計業務、八幡平市橋梁長寿命化修繕計画更新業務、橋梁補修工事1橋(新田橋) 現年 25,201千円 明許 75,224千円								
【事業評価】 振り返り結果から見た改革改善策の具体的内容								
改革改善の内容		☐ (1)目的妥当性 ☐ (2)有効性 ☐ (3)効率性 ☐ (4)公正・公平性 ☐ (5)市民協働						

令和 6 年度 主要事業実績報告書

事務事業名	道路施設点検補修事業		
基本目標	6	社会基盤の整備と行政経営の方針	
施策	19	交通網・道路網の維持・整備	

所管課	建設課
決算額(千円)	3,539

一般会計		款	08	土木費	項	02	道路橋りょう費
目	02	道路橋りょう維持費	事業	000600	道路施設点検補修事業		
事業 事業 の 目 的	(1)対象(誰、何に対して事業を行うのですか?)				◆対象指標(上段:予算要求時点、下段:決算時点)		
	第三者への被害防止				①	市道路線数	1,005路線 1,006路線
	(2)意図(この事業により対象をどのような状態にしたいのですか?)				②		
	道路施設の点検及び補修を実施し、道路利用者の安全を図る。				◆成果(活動)指標(上段:計画値、下段:実績値)		
	(3)指標以外に考えられる成果				①	舗装補修延長	290m 41m
					②	道路施設補修延長	0m 0m
事業概要							
◆大型車両の通行の影響や凍上により老朽化した舗装について、道路利用者の安全確保を図るため補修工事を行った。 ・R6実施 舗装打換工事L=41m(星沢前森山線)							
【事業評価】 振り返り結果から見た改革改善策の具体的内容							
改革改善 の内容		☐ (1)目的妥当性 ☐ (2)有効性 ☐ (3)効率性 ☐ (4)公正・公平性 ☐ (5)市民協働					

事務事業名	道路軽舗装整備事業		
基本目標	6	社会基盤の整備と行政経営の方針	
施策	19	交通網・道路網の維持・整備	

所管課	建設課
決算額(千円)	14,993

一般会計		款	08	土木費	項	02	道路橋りょう費
目	02	道路橋りょう維持費	事業	000700	道路軽舗装整備事業		
事業 事業 の 目 的	(1)対象(誰、何に対して事業を行うのですか?)				◆対象指標(上段:予算要求時点、下段:決算時点)		
	市道等未舗装路線の整備				①	軽舗装要望路線数	90路線 90路線
	(2)意図(この事業により対象をどのような状態にしたいのですか?)				②		
	快適な生活環境の確保				◆成果(活動)指標(上段:計画値、下段:実績値)		
	(3)指標以外に考えられる成果				①	軽舗装整備数	5路線 5路線
	快適な生活環境及び道路維持作業効率の向上				②		
事業概要							
◆市道及び生活道として住民が利用している路線の中には現在も未舗装路線が多く存在し、路面の凹凸や、ほこりの発生など、住民生活に支障をきたしている。また、除雪による飛び石が農地等に入るなどの問題があることから、未舗装路線の軽舗装を行った。 ・R6実施 5路線 L=800m							
【事業評価】 振り返り結果から見た改革改善策の具体的内容							
改革改善 の内容		☐ (1)目的妥当性 ☐ (2)有効性 ☐ (3)効率性 ☐ (4)公正・公平性 ☐ (5)市民協働					

令和 6 年度 主要事業実績報告書

事務事業名	通学路等道路補修事業	
基本目標	6	社会基盤の整備と行政経営の方針
施策	19	交通網・道路網の維持・整備

所管課	建設課
決算額(千円)	5,709

一般会計	款	08	土木費	項	02	道路橋りよう費
目	02	道路橋りよう維持費	事業	000800	通学路等道路補修事業	
事業 事業 の 目的	(1)対象(誰、何に対して事業を行うのですか?)			◆対象指標(上段:予算要求時点、下段:決算時点)		
	通学者及び歩行者			①	児童生徒数	1,313人 1,313人
	(2)意図(この事業により対象をどのような状態にしたいのですか?)			②		
	安全安心で快適な通学路を確保する。			◆成果(活動)指標(上段:計画値、下段:実績値)		
	(3)指標以外に考えられる成果			①	整備延長	25m 24m
				②		
事業概要						
◆通学路における歩道の補修を行った。 R6 市道寄木線歩道補修 L=24m						
【事業評価】 振り返り結果から見た改革改善策の具体的内容						
改革改善 の内容		☐ (1)目的妥当性 ☐ (2)有効性 ☐ (3)効率性 ☐ (4)公正・公平性 ☐ (5)市民協働				

事務事業名	市道等改修事業	
基本目標	6	社会基盤の整備と行政経営の方針
施策	19	交通網・道路網の維持・整備

所管課	建設課
決算額(千円)	53,741

一般会計	款	08	土木費	項	02	道路橋りよう費
目	02	道路橋りよう維持費	事業	001200	市道等改修事業	
事業 事業 の 目的	(1)対象(誰、何に対して事業を行うのですか?)			◆対象指標(上段:予算要求時点、下段:決算時点)		
	車両及び歩行者			①	市道実延長	947Km 947Km
	(2)意図(この事業により対象をどのような状態にしたいのですか?)			②		
	通行車両の安全の確保			◆成果(活動)指標(上段:計画値、下段:実績値)		
	(3)指標以外に考えられる成果			①	整備箇所数	3箇所 3箇所
				②		
事業概要						
◆道路舗装工事、測量設計業務を行った。 ・R6実施 市道谷地中1号線補修工事、市道天間西線舗装工事、市道浅沢線舗装補修工事、市道兄川支線法面補修測量設計業務 現年 38,885千円 明許 14,856千円						
【事業評価】 振り返り結果から見た改革改善策の具体的内容						
改革改善 の内容		☐ (1)目的妥当性 ☐ (2)有効性 ☐ (3)効率性 ☐ (4)公正・公平性 ☐ (5)市民協働				

令和 6 年度 主要事業実績報告書

事務事業名	市道等整備事業	
基本目標	6	社会基盤の整備と行政経営の方針
施策	19	交通網・道路網の維持・整備

所管課	建設課
決算額(千円)	249,667

一般会計		款	08	土木費	項	02	道路橋りょう費
目	03	道路橋りょう新設改良費	事業				
事務事業の目的	(1)対象(誰、何に対して事業を行うのですか?)				◆対象指標(上段:予算要求時点、下段:決算時点)		
	車両及び歩行者				①	市道実延長	947km
							947km
	(2)意図(この事業により対象をどのような状態にしたいのですか?)				②		
	車両の通行安全の確保及び歩行者の安全確保						
					◆成果(活動)指標(上段:計画値、下段:実績値)		
目的	(3)指標以外に考えられる成果				①	道路改良率	76.5%
	歩道整備済延長						76.5%
					②		
事業概要							
現年 139,199千円 (1)市道山子沢線整備事業(改良) 改良舗装工、補償費、(2)市道山子沢線整備事業(通学路) 修正設計、(3)市道牧野線整備事業 改良舗装工 (4)市道松森山後谷地線 排水構造物工、(5)市道森合線外整備事業 詳細設計、補償費、(6)市道鴨志田線外整備事業 改良舗装工 (7)市道十二林線外整備事業 修正設計、(8)市道永持1号線整備事業 修正設計、不動産鑑定、(9)スマートインターチェンジ整備事業 用地測量、詳細設計(負担金) (10)田山パーキング緊急流入路・退出路整備事業 用地費、整備工事(負担金)							
明許 110,468千円 (1)市道山子沢線整備事業(通学路) 水路切替工、補償費、(2)市道森合線外整備事業 道路改良工、詳細設計、土地賃貸借 (3)市道大更東線整備事業 改良舗装工、補償費、(4)スマートインターチェンジ整備事業 詳細設計、(5)田山パーキング緊急流入路・退出路整備事業 整備工、補償費							
【事業評価】 振り返り結果から見た改革改善策の具体的内容							
改革改善 の内容	☐ (1)目的妥当性 ☐ (2)有効性 ☐ (3)効率性 ☐ (4)公正・公平性 ☐ (5)市民協働						

事務事業名	県道維持管理事業	
基本目標	6	社会基盤の整備と行政経営の方針
施策	19	交通網・道路網の維持・整備

所管課	建設課
決算額(千円)	45,776

一般会計			款	08	土木費	項	02	道路橋りよう費
目	04	県道管理費	事業	000300	県道維持管理事業			
事務事業の目的	(1)対象(誰、何に対して事業を行うのですか？)					◆対象指標(上段:予算要求時点、下段:決算時点)		
	権限移譲を受けた県道の維持管理					①	県道維持管理延長	29Km
								29Km
	(2)意図(この事業により対象をどのような状態にしたいのですか？)					②		
	適正な管理による安全な通行							
	(3)指標以外に考えられる成果					◆成果(活動)指標(上段:計画値、下段:実績値)		
権限移譲路線の適正管理					①	修繕件数	5件	
							5件	
					②			
事業概要								
◆権限移譲を受けた6路線において適正な管理が必要であることから、舗装補修や道路関連施設の補修や維持管理を行った。 ◇主要地方道柏台松尾線L＝9,810m ◇一般県道田山停車場線L＝23m ◇一般県道荒屋新町停車場線L＝97m ◇一般県道大更停車場線L＝381m ◇一般県道田代平西根線L＝10,862m ◇一般県道焼走り線L＝8,358m ・草刈等維持管理・舗装面補修・道路付帯構造物補修・道路障害物等撤去 ・チェーン着脱場管理 ・除雪 L＝38Km(車道:25Km、歩道:13Km)								
【事業評価】 振り返り結果から見た改革改善策の具体的内容								
改革改善の内容		☐ (1)目的妥当性 ☐ (2)有効性 ☐ (3)効率性 ☐ (4)公正・公平性 ☐ (5)市民協働						

令和 6 年度 主要事業実績報告書

事務事業名	河川維持管理事業	
基本目標	6	社会基盤の整備と行政経営の方針
施策	21	安心・安全なまちづくり

所管課	建設課・安代総合支所
決算額(千円)	23,357

一般会計		款	08	土木費	項	03	河川費
目	01	河川総務費	事業	000300	河川維持管理事業		
事務事業の目的	(1)対象(誰、何に対して事業を行うのですか?)				◆対象指標(上段:予算要求時点、下段:決算時点)		
	河川及び排水路の維持管理				①	準用河川数	15河川 15河川
	(2)意図(この事業により対象をどのような状態にしたいのですか?)				②		
	河川等の災害防止				◆成果(活動)指標(上段:計画値、下段:実績値)		
	(3)指標以外に考えられる成果				①	整備箇所数	3箇所 2箇所
					②		
事業概要							
◆河川及び排水路の維持管理と、護 修繕、河道掘削を行った。 ・草刈業務及び支障木の撤去 ・小破修繕 ・R6 河道掘削工事2件(松森堰、米代川)							
【事業評価】 振り返り結果から見た改革改善策の具体的内容							
改革改善の内容		☐ (1)目的妥当性 ☐ (2)有効性 ☐ (3)効率性 ☐ (4)公正・公平性 ☐ (5)市民協働					

事務事業名	住宅水洗化リフォーム支援事業	
基本目標	1	未来への希望にもえるまちづくり
施策	01	住んでしあわせを感じるまちづくり

所管課	上下水道課
決算額(千円)	1,986

一般会計		款	08	土木費	項	05	下水道費
目	01	公共下水道費	事業	000500	住宅水洗化リフォーム支援事業		
事務事業の目的	(1)対象(誰、何に対して事業を行うのですか?)				◆対象指標(上段:予算要求時点、下段:決算時点)		
	住宅を水洗化リフォームする市民				①	水洗化リフォーム件数	35件 20件
	(2)意図(この事業により対象をどのような状態にしたいのですか?)				②		
	・市民の居住環境並びに水環境の向上 ・水洗化率の向上				◆成果(活動)指標(上段:計画値、下段:実績値)		
	(3)指標以外に考えられる成果				①	助成件数	35件 20件
	・住宅関連産業の活性化 ・商業を中心とした地域経済の活性化				②		
事業概要							
◆市民が市の排水設備指定工事店により住宅の水洗化リフォームを行う場合、その対象工事経費に対し助成を行った。 ・助成対象者は、助成金の交付請求時に市内に住所を有し、対象住宅に居住している当該住宅の所有者。 ・助成額は、対象工事経費の1/5(上限10万円)で、八幡平市共通商品券により助成。							
【事業評価】 振り返り結果から見た改革改善策の具体的内容							
改革改善の内容		☐ (1)目的妥当性 ☐ (2)有効性 ☐ (3)効率性 ☐ (4)公正・公平性 ☐ (5)市民協働					

令和 6 年度 主要事業実績報告書

事務事業名	市営住宅維持管理事業	
基本目標	6	社会基盤の整備と行政経営の方針
施策	18	市街地整備と地域拠点づくり

所管課	建設課・安代総合支所
決算額(千円)	9,923

一般会計			款	08	土木費	項	06	住宅費
目	01	住宅管理費	事業	000300	市営住宅維持管理事業			
事業 事業の 目的	(1)対象(誰、何に対して事業を行うのですか？)					◆対象指標(上段:予算要求時点、下段:決算時点)		
	市営住宅入居者					①	市営住宅管理戸数(政策空家を 除く戸数)	270戸
								258戸
	(2)意図(この事業により対象をどのような状態にしたいのですか？)					②		
	①住環境の維持 ②入居率の向上							
	(3)指標以外に考えられる成果					◆成果(活動)指標(上段:計画値、下段:実績値)		
市営住宅の構造及び機能の維持					①	市営住宅入居戸数	230戸	
							215戸	
					②	市営住宅入居率	85%	
83.3%								
事業概要								
◆市営住宅の適切な維持管理を図るため、入退去時の空き家修繕及び入居住戸の小破修繕を行なった。 ・水漏れ、外壁のひび割れ、環境整備等、不特定の時期に発生する不具合に対し、その都度実施する経常的な修繕 ・空き家となった住戸の修繕 ・R7年4月現在:管理戸数381戸(内訳 入居戸数215戸、政策空家123戸、空家43戸)								
【事業評価】 振り返り結果から見た改革改善策の具体的内容								
改革改善 の内容		☐ (1)目的妥当性 ☐ (2)有効性 ☐ (3)効率性 ☐ (4)公正・公平性 ☐ (5)市民協働						

事務事業名	市営住宅整備事業	
基本目標	6	社会基盤の整備と行政経営の方針
施策	18	市街地整備と地域拠点づくり

所管課	建設課
決算額(千円)	53,727

一般会計			款	08	土木費	項	06	住宅費
目	01	住宅管理費	事業	000400	市営住宅整備事業			
事業 事業の 目的	(1)対象(誰、何に対して事業を行うのですか?)					◆対象指標(上段:予算要求時点、下段:決算時点)		
	市営住宅					①	整備対象戸数	226戸 12戸
	(2)意図(この事業により対象をどのような状態にしたいのですか?)					②		
	住環境の整備、市営住宅の長寿命化を図る。					◆成果(活動)指標(上段:計画値、下段:実績値)		
	(3)指標以外に考えられる成果					①	整備済み個数(累計)	12戸 12戸
	住宅困窮者の生活の安定・住環境の向上、地震時の安全性が確保される。					②	整備率	8.8% 8.8%
事業概要								
◆R3年度時点で耐用年限を経過又はR22年度までに耐用年限に達する市営住宅は227戸で全体の59.6%を占めている。R3年度に策定した八幡平市市営住宅長寿命化計画(第2期)に基づき、市営住宅の長寿命化を図るため、計画的な改修工事や建替整備を行う。(R6年4月時点での管理戸数:381戸、入居戸数:220戸、政策空家戸数:115戸、空家戸数:46戸) ・八幡平市長寿命化計画(第2期)計画期間内の対象戸数 改修 179戸、建設 47戸、解体 242戸 【計画】 ・R5 仲町第二住宅改修工事実施設計、仲町第二住宅改修工事2棟8戸 ・R6 町裏第二住宅改修工事実施設計、町裏第二改修工事1棟4戸、湯沢住宅1号棟改修工事1棟8戸 ・R7 町裏第二住宅改修工事2棟4戸、湯沢住宅2号棟改修工事1棟8戸、天王下住宅改修実施設計、町裏第三住宅改修工事実施設計 ・R8 湯沢住宅3号棟改修工事 他 ・R9 町裏第三住宅改修工事 他								
【事業評価】 振り返り結果から見た改革改善策の具体的内容								
改革改善 の内容		☐ (1)目的妥当性 ☐ (2)有効性 ☐ (3)効率性 ☐ (4)公正・公平性 ☐ (5)市民協働						

令和 6 年度 主要事業実績報告書

事務事業名	木造住宅建築支援事業	
基本目標	1	未来への希望にもえるまちづくり
施策	01	住んでしあわせを感じるまちづくり

所管課	建設課
決算額(千円)	5,750

一般会計		款	08	土木費	項	06	住宅費
目	01	住宅管理費	事業	000800	木造住宅建築支援事業		
事務事業の目的	(1)対象(誰、何に対して事業を行うのですか?)				◆対象指標(上段:予算要求時点、下段:決算時点)		
	自己が居住する住宅を新築・増改築する市民				①	市内の持ち家戸数	7,390戸 6,880戸
	(2)意図(この事業により対象をどのような状態にしたいのですか?)				②		
	①木材関連産業の活性化 ②定住促進				◆成果(活動)指標(上段:計画値、下段:実績値)		
	(3)指標以外に考えられる成果				①	新築・増改築助成件数	34件 19件
	・市民の居住環境の向上 ・市内の住宅関連産業を中心とした地域経済の活性化				②		
	事業概要						
	◆市民(助成金交付請求時に市内に住所を有する者を含む)が居住目的で木造住宅を新築又は10平方メートルを超える面積の増改築工事をする場合、その対象工事経費に応じて助成する。市産材を5立方メートル以上使用する場合の上乗せ助成は、県事業(いわて木づかい住宅普及促進事業)と重複するため令和4年度から廃止。 ・市内持ち家戸数 6,880戸(R5年住宅・土地統計調査) ・新築・増改築助成 対象工事経費に応じ段階的に助成(上限50万円。市外業者施工の場合は半額)						
	【実績】 ・新築・増改築助成 H24:40件、H25:46件、H26:39件、H27:30件、H28:35件、H29:40件、H30:32件、R1:33件、R2:38件、R3:46件、R4:39件、R5:21件、R6:19件 ・市産材使用助成 H24:25件、H25:25件、H26:20件、H27:14件、H28:16件、H29:22件、H30:17件、R1: 9件、R2:15件、R3:16件						
	【事業評価】 振り返り結果から見た改革改善策の具体的内容						
改革改善の内容	☐ (1)目的妥当性 ☐ (2)有効性 ☐ (3)効率性 ☐ (4)公正・公平性 ☐ (5)市民協働						

令和 6 年度 主要事業実績報告書

事務事業名	盛岡地区広域消防組合負担金	
基本目標	6	社会基盤の整備と行政経営の方針
施策	21	安心・安全なまちづくり

所管課	防災安全課
決算額(千円)	696,912

一般会計		款	09	消防費	項	01	消防費
目	01	常備消防費	事業	000300	盛岡地区広域消防組合負担金		
事務事業の目的	(1)対象(誰、何に対して事業を行うのですか?)				◆対象指標(上段:予算要求時点、下段:決算時点)		
	盛岡地区広域消防組合				①	八幡平市消防署数	3署所 3署所
	(2)意図(この事業により対象をどのような状態にしたいのですか?)				②	八幡平市消防署員数	59人 55人
	消防行政の円滑な執行				◆成果(活動)指標(上段:計画値、下段:実績値)		
	(3)指標以外に考えられる成果				①	救急出動回数	1,300回 1,381回
					②	消火・防火活動等出動回数	50回 16回
事業概要							
◆盛岡地区広域消防組合所属の消防職員の給与支払いや組合所有の消防施設の整備、維持運営を行うにあたって負担金を支払った。							
【事業評価】 振り返り結果から見た改革改善策の具体的内容							
改革改善の内容		☐ (1)目的妥当性 ☐ (2)有効性 ☐ (3)効率性 ☐ (4)公正・公平性 ☐ (5)市民協働					

事務事業名	消防団運営事業	
基本目標	6	社会基盤の整備と行政経営の方針
施策	21	安心・安全なまちづくり

所管課	防災安全課
決算額(千円)	76,499

一般会計		款	09	消防費	項	01	消防費
目	02	非常備消防費	事業	000300	消防団運営事業		
事務事業の目的	(1)対象(誰、何に対して事業を行うのですか?)				◆対象指標(上段:予算要求時点、下段:決算時点)		
	八幡平市消防団員				①	消防団数	1団体 1団体
	(2)意図(この事業により対象をどのような状態にしたいのですか?)				②	消防団員数	752人 715人
	消防団活動を円滑に行う。				◆成果(活動)指標(上段:計画値、下段:実績値)		
	(3)指標以外に考えられる成果				①	消防団員出動回数	1,900回 1,965回
					②		
事業概要							
◆消防団員の報酬・出勤手当・各種消防関係団体への負担金・活動中の事故発生時の補償のための共済掛金の支払い、表彰事務、消防演習等消防団行事の執行、火災や災害等の特定した活動に従事する機能別消防団を勧誘し、消防団活動を円滑に行うための事務を行った。							
【事業評価】 振り返り結果から見た改革改善策の具体的内容							
改革改善の内容		☐ (1)目的妥当性 ☐ (2)有効性 ☐ (3)効率性 ☐ (4)公正・公平性 ☐ (5)市民協働					

令和 6 年度 主要事業実績報告書

事務事業名	消防施設維持管理事業		
基本目標	6	社会基盤の整備と行政経営の方針	
施策	21	安心・安全なまちづくり	

所管課	防災安全課
決算額(千円)	34,302

一般会計	款	09	消防費	項	01	消防費
目	03	消防施設費	事業	000300	消防施設維持管理事業	
事業 事業 の 目的	(1)対象(誰、何に対して事業を行うのですか?)			◆対象指標(上段:予算要求時点、下段:決算時点)		
	消防施設、消防車両等の維持、修繕			①	消防施設	74施設 70施設
	(2)意図(この事業により対象をどのような状態にしたいのですか?)			②		
	消防施設、消防車両等を適切に維持管理をすることで、消防力を維持し、市民の生命、身体、財産を守る。			◆成果(活動)指標(上段:計画値、下段:実績値)		
	(3)指標以外に考えられる成果			①	修繕件数	4件 5件
				②		
事業概要						
◆消防施設及び車両等の維持管理を行った。						
【事業評価】 振り返り結果から見た改革改善策の具体的内容						
改革改善の内容		☐ (1)目的妥当性 ☐ (2)有効性 ☐ (3)効率性 ☐ (4)公正・公平性 ☐ (5)市民協働				

事務事業名	消防施設整備事業		
基本目標	6	社会基盤の整備と行政経営の方針	
施策	21	安心・安全なまちづくり	

所管課	防災安全課
決算額(千円)	30,331

一般会計	款	09	消防費	項	01	消防費
目	03	消防施設費	事業	000400	消防施設整備事業	
事業 事業 の 目的	(1)対象(誰、何に対して事業を行うのですか?)			◆対象指標(上段:予算要求時点、下段:決算時点)		
	消防団に配備する防火水槽及び消防車両			①	防火水槽設置件数	391基 0基
	(2)意図(この事業により対象をどのような状態にしたいのですか?)			②	消防車両数(ポンプ自動車、積載車)	56台 0台
	防火水槽及び消防車両を更新適正配置することで、消防力を維持し、市民の生命、身体、財産を守る。			◆成果(活動)指標(上段:計画値、下段:実績値)		
	(3)指標以外に考えられる成果			①	防火水槽新規設置数	0基 0基
	有事の際に機動力が発揮され、初期消火等が迅速に行われ、火災その他の災害に対する防災力が向上する。			②	消防車両等更新台数	1台 0台
事業概要						
◆消防施設及び車両等の新規整備、更新を行った。 現年 0千円 明許 30,331千円						
【事業評価】 振り返り結果から見た改革改善策の具体的内容						
改革改善の内容		☐ (1)目的妥当性 ☐ (2)有効性 ☐ (3)効率性 ☐ (4)公正・公平性 ☐ (5)市民協働				

令和 6 年度 主要事業実績報告書

事務事業名	災害対策事業	
基本目標	6	社会基盤の整備と行政経営の方針
施策	21	安心・安全なまちづくり

所管課	防災安全課
決算額(千円)	8,222

一般会計		款	09	消防費	項	01	消防費
目	05	災害対策費	事業	000300	災害対策事業		
事務事業の目的	(1)対象(誰、何に対して事業を行うのですか?)				◆対象指標(上段:予算要求時点、下段:決算時点)		
	市民				①	人口	23,581人 22,949人
	(2)意図(この事業により対象をどのような状態にしたいのですか?)				②		
	災害発生時に被害を最小限にする。				◆成果(活動)指標(上段:計画値、下段:実績値)		
	(3)指標以外に考えられる成果				①	災害被災者数	0人 0人
					②		
事業概要							
◆防災業務を専門とする「防災対策専門員」を任用し、防災・減災に係る業務を行った。 ◆防災マップ掲載内容の周知を図った。 ◆防災に係る講習を実施した。 ◆自主防災組織化に係る事業を推進した。 ◆災害時に備え食料等を備蓄した。							
【事業評価】 振り返り結果から見た改革改善策の具体的内容							
改革改善の内容		☒ (1)目的妥当性 ☐ (2)有効性 ☐ (3)効率性 ☐ (4)公正・公平性 ☐ (5)市民協働 防災講座等を通じた防災意識の啓発により、市民協働による自主防災組織の組織化率の向上を図る。					

事務事業名	防災行政無線整備事業	
基本目標	6	社会基盤の整備と行政経営の方針
施策	21	安心・安全なまちづくり

所管課	防災安全課
決算額(千円)	10,160

一般会計		款	09	消防費	項	01	消防費
目	05	災害対策費	事業	000400	防災行政無線整備事業		
事務事業の目的	(1)対象(誰、何に対して事業を行うのですか?)				◆対象指標(上段:予算要求時点、下段:決算時点)		
	市民				①	人口	23,581人 22,949人
	(2)意図(この事業により対象をどのような状態にしたいのですか?)				②	防災無線拡声子局設置数	161基 161基
	防災情報を伝える。				◆成果(活動)指標(上段:計画値、下段:実績値)		
	(3)指標以外に考えられる成果				①	苦情件数	0件 3件
					②	放送件数	50件 35件
事業概要							
◆防災行政無線放送、施設の維持管理を行った。							
【事業評価】 振り返り結果から見た改革改善策の具体的内容							
改革改善の内容		☐ (1)目的妥当性 ☐ (2)有効性 ☐ (3)効率性 ☐ (4)公正・公平性 ☐ (5)市民協働					

令和 6 年度 主要事業実績報告書

事務事業名	防災ステーション維持管理業務		
基本目標	6	社会基盤の整備と行政経営の方針	
施策	21	安心・安全なまちづくり	

所管課	防災安全課
決算額(千円)	9,326

一般会計		款	09	消防費	項	01	消防費
目	05	災害対策費	事業	000500	防災ステーション維持管理事業		
事業 事業 の 目 的	(1)対象(誰、何に対して事業を行うのですか?)				◆対象指標(上段:予算要求時点、下段:決算時点)		
	防災ステーションの管理				①	人口	23,581人 22,949人
	(2)意図(この事業により対象をどのような状態にしたいのですか?)				②		
	火山防災についての知識を広め、防災意識を向上させる。				◆成果(活動)指標(上段:計画値、下段:実績値)		
	(3)指標以外に考えられる成果				①	来館者数	10,000人 7,347人
					②		
事業概要							
◆国土交通省で建設した岩手山火山防災情報ステーションについて、維持管理業務を受託し、施設の運営を行った。							
【事業評価】 振り返り結果から見た改革改善策の具体的内容							
改革改善 の内容		☐ (1)目的妥当性 ☐ (2)有効性 ☐ (3)効率性 ☐ (4)公正・公平性 ☐ (5)市民協働					

その他の事業の成果について

関連する事務事業名	消防団運営事業							
成果の内容	消防団員数							
	(1) 本部							
	団長	副団長	本部長兼 本部分団長	方面隊長	方面副隊長			
	1	1	1	3	6			
	副分団長	部長	副部長	班長	団員	合計		
	1	1	0	2	17	33		
	(2) 各分団							
	分団名	分団長	副分団長	部長	副部長	班長	団員	合計
	第1分団	1	1	3	3	10	71	89
	第2分団	1	1	3	3	6	55	69
	第3分団	1	1	2	2	7	40	53
	第4分団	1	1	3	3	9	62	79
	第5分団	1	1	2	2	6	29	41
	第6分団	1	1	2	2	7	32	45
	第7分団	1	1	2	2	6	47	59
第8分団	1	1	1	1	5	27	36	
第9分団	1	1	1	1	4	31	39	
第10分団	1	1	2	2	8	71	85	
第11分団	1	1	2	2	6	46	58	
ラッパ隊	1	1	1	1	3	22	29	
合計	12	12	24	24	77	533	715	
※ 団員数は、令和7年3月31日現在								

令和 6 年度 主要事業実績報告書

事務事業名	教育指導推進事業	
基本目標	3	心身ともに健康で、活力に満ちたまちづくり
施策	12	地域に根ざした教育の充実

所管課	教育総務課
決算額(千円)	33,897

一般会計			款	10	教育費	項	01	教育総務費
目	02	事務局費	事業	000300	教育指導推進事業			
事業 事業 の 目的	(1)対象(誰、何に対して事業を行うのですか?)					◆対象指標(上段:予算要求時点、下段:決算時点)		
	①市立小学校児童 ②市立中学校生徒					①	市立小学校児童数	852人
								848人
	(2)意図(この事業により対象をどのような状態にしたいのですか?) ・体育及び文化活動の技術の向上 ・確かな学力の向上 ・豊かな心の育成					②	市立中学校生徒数	461人
								456人
	(3)指標以外に考えられる成果					◆成果(活動)指標(上段:計画値、下段:実績値)		
					①	全国学力・学習状況調査(小学6年生)	100%	
							93.5%	
					②	全国学力・学習状況調査(中学3年生)	100%	
							94.5%	
事業概要								
◆地方教育行政を円滑に推進するため、市内小・中学校の管理運営について業務を行った。 ◆(小・中学校)NRT学力検査、知能検査、学級集団調査等により、学習定着度を確認し、学力の向上につなげた。 (成果指標:全国学力・学習状況調査:全国平均正答率を100としたときの割合) ◆小・中学校体育・文化連盟に対し補助を行った。 ・体育及び文化活動を通じて、児童生徒の技能向上と心身の健全育成を図った。 ◆各種教育団体に対し補助を行った。								
【事業評価】 振り返り結果から見た改革改善策の具体的内容								
改革改善 の内容		☐ (1)目的妥当性 ☐ (2)有効性 ☐ (3)効率性 ☐ (4)公正・公平性 ☐ (5)市民協働						

事務事業名	平館高等学校教育振興事業	
基本目標	1	未来への希望にもえるまちづくり
施策	01	住んでしあわせを感じるまちづくり

所管課	教育総務課
決算額(千円)	8,330

一般会計			款	10	教育費	項	01	教育総務費
目	02	事務局費	事業	000400	平館高等学校教育振興事業			
事業 事業 の 目的	(1)対象(誰、何に対して事業を行うのですか？)					◆対象指標(上段:予算要求時点、下段:決算時点)		
	①平館高等学校の生徒					①	生徒数	146人
	②平館高等学校のクラブ							108人
	(2)意図(この事業により対象をどのような状態にしたいのですか？)					②	クラブ数	14部
	・市内中学校から進学率の向上、国公立大学進学率の向上 ・部活動の強化及び各種大会派遣							14部
	(3)指標以外に考えられる成果					◆成果(活動)指標(上段:計画値、下段:実績値)		
・生徒の学力向上と人材育成が図られる。 ・平館高等学校の生徒確保・進学促進					①	市内中学校からの進学率	30%	
							15.4%	
					②	全国大会出場クラブ数	2部	
							2部	
事業概要								
◆岩手県立平館高等学校の教育振興を図ることを目的として、教育支援、部活動の強化、進路指導等の支援を行う平館高等学校教育振興会の事業に対し補助を行った。 ・進路指導事業に対する支援(特別課外授業) ・体育部・文化部の活動強化及び各種大会派遣に対する支援 ・市外からの入学者受入れに対する支援(居住費等支援) ・通学費用等に対する支援(通学定期補助、制服購入費補助) ・学習支援員の配置に対する支援 ・地域みらい留学に対する支援								
【事業評価】 振り返り結果から見た改革改善策の具体的内容								
改革改善 の内容		☐ (1)目的妥当性 ☒ (2)有効性 ☐ (3)効率性 ☐ (4)公正・公平性 ☐ (5)市民協働						
		生徒数確保のため、平館高校と共に事業内容の精査や検討を行う。						

令和 6 年度 主要事業実績報告書

事務事業名	加配事業	
基本目標	3	心身ともに健康で、活力に満ちたまちづくり
施策	12	地域に根ざした教育の充実

所管課	教育総務課
決算額(千円)	65,103

一般会計			款	10	教育費	項	01	教育総務費
目	02	事務局費	事業	000600		加配事業		
事務事業の目的	(1)対象(誰、何に対して事業を行うのですか？)					◆対象指標(上段:予算要求時点、下段:決算時点)		
	通常学級在籍の発達障害等の特別な支援を必要とする児童生徒、特別支援学級在籍の児童生徒					①	特別な支援を必要とする児童	33人 57人
	(2)意図(この事業により対象をどのような状態にしたいのですか？)					②	特別な支援を必要とする生徒	35人 19人
	・個別に丁寧な指示を与えることにより理解が深まり、児童(小学生)については、集団生活における社会性を身に付けさせる。生徒(中学生)については、学力を向上させる。					◆成果(活動)指標(上段:計画値、下段:実績値)		
	(3)指標以外に考えられる成果					①	行動様式に改善が見られた児童の割合	80% 100%
	・支援員の補助を受けてサポートを必要とする児童生徒の行動等が落ち着くことにより、同じ学級で学習する児童生徒も落ち着いて学習等に取り組む環境がつけられ、学力向上につながるなどの効果が期待できる。					②	授業時の困り感が軽減された生徒の割合	90% 100%
事業概要								
◆少人数(複式)学校やADHD(注意欠如・多動症)などの児童生徒のサポートのため、加配教職員を配置しきめ細やかな指導を行った。 ・主に普通学級で学習する児童の日常生活や学習の場面において、サポートを要する児童の支援を行った。(ひかりサポート支援員) ・教員免許のある支援員が、中学校の教科担任の指示を受けながらチームティーチング又は生徒の個別指導を行った。(みのりサポート支援員) ・複式学級の間接指導の補助や単式授業を行った。(にこにこサポート支援員) ・冬期間のスキー合宿など、長期不在となる教員に代わり教科授業を行った。(中学校教科支援員) ・不登校傾向にある児童生徒の学校復帰などを図った。(適応指導教室指導員、適応支援相談員) ・学校図書館運営の改善及び読書活動の推進、新聞閲覧意欲の向上を図った。(学校図書館司書) ・ICTを活用した授業支援、環境整備を行った。(ICT支援員)								
【事業評価】 振り返り結果から見た改革改善策の具体的内容								
改革改善の内容		☐ (1)目的妥当性 ☐ (2)有効性 ☐ (3)効率性 ☐ (4)公正・公平性 ☐ (5)市民協働						

事務事業名	外国語指導助手配置事業	
基本目標	3	心身ともに健康で、活力に満ちたまちづくり
施策	12	地域に根ざした教育の充実

所管課	教育総務課
決算額(千円)	17,105

一般会計			款	10	教育費	項	01	教育総務費
目	02	事務局費	事業	000700	外国語指導助手設置事業			
事務事業の目的	(1)対象(誰、何に対して事業を行うのですか?)					◆対象指標(上段:予算要求時点、下段:決算時点)		
	①市立小学校の児童					①	市立小学校児童数	852人
	②市立中学校の生徒							848人
	(2)意図(この事業により対象をどのような状態にしたいのですか?)					②	市立中学校生徒数	461人
	・小学生は、基本的な英語表現に慣れ親しむ。中学生は、英語の発音や英文の聞き取りとスピーチの向上を図る。							456人
	(3)指標以外に考えられる成果					◆成果(活動)指標(上段:計画値、下段:実績値)		
目的	・外国語の授業に限らず、様々な学校行事や学校生活の中でのALTとの交流を通じて他国の文化に触れることもできるため、異文化交流や国際感覚を身に付けるきっかけにもなる。					①	外国語活動の授業が好きと答えた児童の割合	90%
								76%
						②	英語の勉強が好きと答えた生徒の割合	60%
								65%
事業概要								
◆外国語指導助手を4名採用し、市内14校を4ブロックに分けて配置した。								
◆中学校は週2日以上、小学校は学校規模に合わせて週に半日から2日派遣し、英語教育又は外国語活動の推進を図った。								
・中学校1～3年生の英語学習のチームティーチング指導を行った。								
・小学校は、3、4年生の外国語活動のチームティーチング指導を行い、5、6年生の英語学習のチームティーチング指導を行った。(希望に応じて1～2年生にも対応)								
・小・中学校の授業の空き時間等を利用し、保育所などの行事(クリスマス会等)に派遣した。								
・中学校生徒の長期休業時に英検面接指導等(イングリッシュ・キャンプ)を行った。								
【事業評価】 振り返り結果から見た改革改善策の具体的内容								
改革改善の内容		☐ (1)目的妥当性 ☐ (2)有効性 ☐ (3)効率性 ☐ (4)公正・公平性 ☐ (5)市民協働						

令和 6 年度 主要事業実績報告書

事務事業名	スクールバス運行事業	
基本目標	3	心身ともに健康で、活力に満ちたまちづくり
施策	12	地域に根ざした教育の充実

所管課	教育総務課
決算額(千円)	67,093

一般会計			款	10	教育費	項	01	教育総務費
目	02	事務局費	事業	001000	スクールバス運行事業			
事務事業の目的	(1)対象(誰、何に対して事業を行うのですか?)					◆対象指標(上段:予算要求時点、下段:決算時点)		
	①遠距離通学の児童生徒					①	遠距離通学の児童生徒数(指定校変更を除く)	300人 230人
	(2)意図(この事業により対象をどのような状態にしたいのですか?)					②		
	・スクールバスを運行することにより、遠距離通学の児童生徒の通学の負担を軽減する。					◆成果(活動)指標(上段:計画値、下段:実績値)		
	(3)指標以外に考えられる成果					①	負担が軽減された児童生徒の割合	100%
	・児童生徒の通学の安全を確保する。 ・通学時間の空き時間に学校行事等に活用することにより、学校(担当教師等)の労力及び保護者の経済的負担軽減につながる。					②		100%
事業概要								
◆遠距離通学の児童生徒の安全な通学手段の確保のためスクールバス及びスクールタクシーを運行した。 【登下校バス】 ・西根地区【全部委託】 5系統 ・松尾地区【直営運行】 4系統 ・安代地区【運行委託】 登校6系統、下校7系統 【登下校タクシー】 ・西根地区1系統、松尾地区1系統、平館高校(下校支援) 【校外学習】 ・西根地区・松尾地区【直営運行】、安代地区【運行委託】								
【事業評価】 振り返り結果から見た改革改善策の具体的内容								
改革改善の内容		☐ (1)目的妥当性 ☐ (2)有効性 ☒ (3)効率性 ☐ (4)公正・公平性 ☐ (5)市民協働						
		長期的な展望で運行形態の検討を行う必要がある。						

事務事業名	教育研究所事業	
基本目標	3	心身ともに健康で、活力に満ちたまちづくり
施策	12	地域に根ざした教育の充実

所管課	教育指導課
決算額(千円)	354

一般会計			款	10	教育費	項	01	教育総務費
目	02	事務局費	事業	001300	教育研究所事業			
事務事業の目的	(1)対象(誰、何に対して事業を行うのですか?)					◆対象指標(上段:予算要求時点、下段:決算時点)		
	市内小・中学校教職員					①	市内小・中学校教職員数	146人 166人
	(2)意図(この事業により対象をどのような状態にしたいのですか?)					②		
	意欲的に研修と修養に励む意識の向上					◆成果(活動)指標(上段:計画値、下段:実績値)		
	(3)指標以外に考えられる成果					①	八幡平市学力保障PDCAプランの達成状況の割合	96% 100%
						②		
事業概要								
市内小・中学校教職員の研究と修養を奨励し、本市教育の方針の実現と今日的な課題の解決を図った。 ・調査研究事業(学力調査分析・重点研究・先進研究・研究発表会) ・研修事業(全体研修・公開講座) ・教育相談事業(適応指導教室指導員・適応支援相談員・児童生徒支援員・幼児ことばの教室指導員・学校図書館司書) ・教育情報事業(教育研究所報発行)								
【事業評価】 振り返り結果から見た改革改善策の具体的内容								
改革改善の内容		☐ (1)目的妥当性 ☐ (2)有効性 ☐ (3)効率性 ☐ (4)公正・公平性 ☐ (5)市民協働						

令和 6 年度 主要事業実績報告書

事務事業名	コミュニティ・スクール導入等促進事業	
基本目標	3	心身ともに健康で、活力に満ちたまちづくり
施策	12	地域に根ざした教育の充実

所管課	教育指導課
決算額(千円)	1,129

一般会計			款	10	教育費	項	01	教育総務費
目	02	事務局費	事業	001400	コミュニティ・スクール導入等促進事業			
事務事業の目的	(1)対象(誰、何に対して事業を行うのですか？)					◆対象指標(上段:予算要求時点、下段:決算時点)		
	市内小・中学校					①	市内小・中学校	14校
								14校
	(2)意図(この事業により対象をどのような状態にしたいのですか？)					②		
	各学校において学校運営協議会を2回以上実施し、地域との連携・協働を図る。							
	(3)指標以外に考えられる成果					①	学校運営協議会の実施回数が2回以上の学校	14校
					②			
事業概要								
・市内全小・中学校において、コミュニティ・スクールとして、学校運営協議会を実施し、学校の特色や地域の良さを活かした教育活動を行った。								
【事業評価】 振り返り結果から見た改革改善策の具体的内容								
改革改善の内容		☐ (1)目的妥当性 ☐ (2)有効性 ☐ (3)効率性 ☐ (4)公正・公平性 ☐ (5)市民協働						

事務事業名	高等学校等通学定期券購入費補助金交付事業	
基本目標	1	未来への希望にもえるまちづくり
施策	02	安心して子育てができるまちづくり

所管課	教育総務課
決算額(千円)	4,301

一般会計			款	10	教育費	項	01	教育総務費
目	02	事務局費	事業	001800	高等学校等通学定期券購入費補助金交付事業			
事務事業の目的	(1)対象(誰、何に対して事業を行うのですか？)					◆対象指標(上段：予算要求時点、下段：決算時点)		
	高等学校等への通学に、公共交通機関を利用する生徒・児童の保護者 市外に居住し、公共交通機関を利用して平館高等学校へ通学する生徒の保護者					①	対象者数(生徒数)	487人
								487人
	(2)意図(この事業により対象をどのような状態にしたいのですか？)					②		
	通学に要する経済的負担を軽減 県立平館高等学校の生徒確保、進学促進					◆成果(活動)指標(上段：計画値、下段：実績値)		
(3)指標以外に考えられる成果					①	補助金を交付した生徒数(実数)	250人	
							275人	
					②			
事業概要								
◆子育て期の家庭の経済的負担を減らすため、公共交通機関を利用して高等学校等へ通学する生徒・児童の通学定期購入費の10%を助成した。 ◆県立平館高等学校の生徒確保を図るため、市外から公共交通機関を利用して同校に通学する生徒の通学定期購入費の10%を助成した。								
【事業評価】 振り返り結果から見た改革改善策の具体的内容								
改革改善の内容	☐ (1)目的妥当性 ☒ (2)有効性 ☐ (3)効率性 ☐ (4)公正・公平性 ☐ (5)市民協働							
	補助率を上げることで、さらなる負担軽減は可能である。(現補助率は10%、平成28年度までは7%) 平館高等学校市外通学生徒への補助の制度周知を図り、入学者数を増やす。							

令和 6 年度 主要事業実績報告書

事務事業名	小学校管理事業	
基本目標	3	心身ともに健康で、活力に満ちたまちづくり
施策	12	地域に根ざした教育の充実

所管課	教育総務課
決算額(千円)	234,985

一般会計			款	10	教育費	項	02	小学校費
目	01	学校管理費	事業	000300	小学校管理事業			
事業 事業 の 目 的	(1)対象(誰、何に対して事業を行うのですか？)					◆対象指標(上段:予算要求時点、下段:決算時点)		
	①市立小学校児童 ②市立小学校施設					①	市立小学校児童数	852人
								848人
	(2)意図(この事業により対象をどのような状態にしたいのですか？)					②	市立小学校数	10校
	・適正な施設整備・維持管理により、安全で機能的な教育環境を提供する。							10校
	(3)指標以外に考えられる成果					◆成果(活動)指標(上段:計画値、下段:実績値)		
					①	施設の不備による事故件数	0件	
							0件	
事業概要								
◆学校施設の安全性を確保するため、施設整備を行った。 ・松野小学校トイレ改修工事 ・田頭小学校フェンス設置工事 ◆学校施設を適正に維持管理するため必要な消耗品、備品の整備、修繕、保守点検を行った。 ・校務用パソコン更新 ・岩手県クラウド版統合型校務支援システム導入								
【事業評価】 振り返り結果から見た改革改善策の具体的内容								
改革改善 の内容		☐ (1)目的妥当性 ☐ (2)有効性 ☐ (3)効率性 ☐ (4)公正・公平性 ☐ (5)市民協働						

事務事業名	小学校保健衛生事業	
基本目標	3	心身ともに健康で、活力に満ちたまちづくり
施策	12	地域に根ざした教育の充実

所管課	教育総務課
決算額(千円)	10,784

一般会計			款	10	教育費	項	02	小学校費
目	01	学校管理費	事業	000400	小学校保健衛生事業			
事業 事業 の 目 的	(1)対象(誰、何に対して事業を行うのですか？)					◆対象指標(上段:予算要求時点、下段:決算時点)		
	①市立小学校児童					①	市立小学校児童数	851人
	②市立小学校教職員							848人
	(2)意図(この事業により対象をどのような状態にしたいのですか？)					②	市立小学校教職員数(支援員含む)	160人
	・市立小学校の児童及び教職員の心身の健康の保持増進を図る。							121人
	(3)指標以外に考えられる成果					◆成果(活動)指標(上段:計画値、下段:実績値)		
目的	・学校における教育活動が安全な環境において実施することができる。 ・児童等の保健衛生の確保が図られ、学校教育の円滑な実施が保たれる。					①	所見ありの市立小学校児童延べ人数	0人
								730人
						②	所見ありの市立小学校教職員延べ人数	0人
								57人
事業概要								
◆市内小学校の児童及び教職員の各種健診を実施した。(児童:内科・歯科・眼科・耳鼻科・尿検査・心臓検診、教職員:健康診断・胃がん検診・大腸がん検診・ストレスチェックなど)								
◆安全衛生委員会を開催した。								
◆学校環境の安全を確保した。(プール水及び飲料水検査・空気検査・ダニ検査・照度検査・ホルムアルデヒド検査など)								
◆健康手帳・健康診断票を作成した。								
◆独立行政法人日本スポーツ振興センターの災害共済に加入し、学校生活活動における怪我などへ災害給付金を給付した。								
【事業評価】 振り返り結果から見た改革改善策の具体的内容								
改革改善 の内容	☐ (1)目的妥当性 ☐ (2)有効性 ☐ (3)効率性 ☐ (4)公正・公平性 ☐ (5)市民協働							

令和 6 年度 主要事業実績報告書

事務事業名	小学校教育振興事業		
基本目標	3	心身ともに健康で、活力に満ちたまちづくり	
施策	12	地域に根ざした教育の充実	

所管課	教育総務課
決算額(千円)	28,350

一般会計			款	10	教育費	項	02	小学校費
目	02	教育振興費	事業	000300	小学校教育振興事業			
事業 事業 の 目的	(1)対象(誰、何に対して事業を行うのですか?)					◆対象指標(上段:予算要求時点、下段:決算時点)		
	①市立小学校児童					①	市立小学校児童数	852人
	②経済的な理由により就学困難と認められる児童							848人
	(2)意図(この事業により対象をどのような状態にしたいのですか?)					②	就学援助対象児童数	160人
	・教育の振興を図るため、教材等を整備し学習環境を整える。 ・就学援助が必要と認められる児童に平等な教育環境を整える。							159人
	(3)指標以外に考えられる成果					◆成果(活動)指標(上段:計画値、下段:実績値)		
・学習環境が整うことにより、児童一人一人の個性と能力を伸ばすことができる。 ・経済的な理由で就学が困難状況にある児童に支援をすることで、教育の公平性の堅持につながる。					①	教材等整備額	1,626千円	
							1,303千円	
					②	就学援助受給児童数	160人	
							159人	
事業概要								
◆市内小学校に教材等の整備を行い、教育環境を整えた。 ・社会科副読本の作成(年度改定) ・教材備品・理科教育等設備備品購入 ・令和6年度教科書改訂に伴う教師用教科書・指導書の購入(明許) ◆経済的な理由によって就学困難と認められる児童の保護者に対し、必要な援助を行った。 ・援助対象:新入学用品費、学用品費、校外活動費、学校給食費、医療費等 ◆オンラインによる家庭学習のための通信環境を整備する費用の一部について補助を行った。 現年 26,970千円 明許 1,380千円								
【事業評価】 振り返り結果から見た改革改善策の具体的内容								
改革改善 の内容		☐ (1)目的妥当性 ☐ (2)有効性 ☐ (3)効率性 ☐ (4)公正・公平性 ☐ (5)市民協働						

令和 6 年度 主要事業実績報告書

事務事業名	中学校保健衛生事業	
基本目標	3	心身ともに健康で、活力に満ちたまちづくり
施策	12	地域に根ざした教育の充実

所管課	教育総務課
決算額(千円)	5,090

一般会計			款	10	教育費	項	03	中学校費
目	01	学校管理費	事業	000400	中学校保健衛生事業			
事務事業の目的	(1)対象(誰、何に対して事業を行うのですか?)					◆対象指標(上段:予算要求時点、下段:決算時点)		
	①市立中学校生徒 ②市立中学校教職員					①	市立中学校生徒数	462人
								456人
	(2)意図(この事業により対象をどのような状態にしたいのですか?)					②	市立中学校教職員数(支援員含む)	92人
	・市立中学校の生徒及び教職員の心身の健康の保持増進を図る。							71人
	(3)指標以外に考えられる成果					◆成果(活動)指標(上段:計画値、下段:実績値)		
・学校における教育活動が安全な環境において実施することができる。 ・生徒等の保健衛生の確保が図られ、学校教育の円滑な実施が保たれる。					①	所見ありの市立中学校生徒延べ人数	0人	
							216人	
					②	所見ありの市立中学校教職員延べ人数	0人	
							40人	
事業概要								
◆市内中学校の生徒及び教職員の各種健診を実施した。(生徒:内科・歯科・眼科・耳鼻科・尿検査・心臓検診・生活習慣病予防健診、教職員:健康診断・胃がん検診・大腸がん検診・ストレスチェックなど)								
◆学校環境の安全を確保した。(プール水及び飲料水検査・空気検査・ダニ検査・照度検査・ホルムアルデヒド検査など)								
◆健康手帳・健康診断票を作成した。								
◆独立行政法人日本スポーツ振興センターの災害共済に加入し、学校生活活動における怪我等へ災害給付金を支給した。								
【事業評価】 振り返り結果から見た改革改善策の具体的内容								
改革改善の内容	☐ (1)目的妥当性 ☐ (2)有効性 ☐ (3)効率性 ☐ (4)公正・公平性 ☐ (5)市民協働							

事務事業名	中学校教育振興事業	
基本目標	3	心身ともに健康で、活力に満ちたまちづくり
施策	12	地域に根ざした教育の充実

所管課	教育総務課
決算額(千円)	26,648

一般会計			款	10	教育費	項	03	中学校費
目	02	教育振興費	事業	000300	中学校教育振興事業			
事務事業の目的	(1)対象(誰、何に対して事業を行うのですか?)					◆対象指標(上段:予算要求時点、下段:決算時点)		
	①市立中学校生徒					①	市立中学校生徒数	461人
	②経済的な理由により就学困難と認められる生徒							456人
	(2)意図(この事業により対象をどのような状態にしたいのですか?)					②	就学援助対象生徒数	85人
	・教育振興のため、教材等を整備し学習環境を整える。 ・経済的な理由により就学困難と認められる生徒に平等な教育環境を整える。							79人
	◆成果(活動)指標(上段:計画値、下段:実績値)					①	教材等整備額	2,978千円
(3)指標以外に考えられる成果							2,019千円	
・学習環境が整うことにより、生徒一人一人の個性と能力を伸ばすことができる。 ・経済的な理由で就学が困難状況にある生徒に支援をすることで、教育の公平性の堅持につながる。					②		就学援助受給生徒数	85人
								79人
事業概要								
◆市内中学校に教材等の整備を行い、教育環境を整えた。 ・R7教科書改訂に伴う教師用教科書・指導書の購入 ◆経済的な理由によって就学困難と認められる生徒の保護者に対し、必要な援助を行った。 ・援助対象:新入学学用品費、学用品費、校外活動費、学校給食費、医療費等 ◆市内中学校全学年の生徒1回分の英語検定受験料の補助を行った。 ◆オンラインによる家庭学習のための通信環境を整備する費用の一部について補助を行った。								
【事業評価】 振り返り結果から見た改革改善策の具体的内容								
改革改善の内容		☐ (1)目的妥当性 ☐ (2)有効性 ☐ (3)効率性 ☐ (4)公正・公平性 ☐ (5)市民協働						

令和 6 年度 主要事業実績報告書

事務事業名	総合教育支援事業	
基本目標	3	心身ともに健康で、活力に満ちたまちづくり
施策	13	心豊かな人生を送る学習機会の充実

所管課	文化スポーツ課
決算額(千円)	1,000

一般会計			款	10	教育費	項	05	社会教育費
目	01	社会教育総務費	事業	000400	総合教育支援事業			
事務事業の目的	(1)対象(誰、何に対して事業を行うのですか？)					◆対象指標(上段:予算要求時点、下段:決算時点)		
	講演・実技指導などの教育事業を実施する市内の小・中学校、保育所(園)、幼稚園、学童保育施設 市内小学校5～6年生					①	施設数	38施設 29施設
	(2)意図(この事業により対象をどのような状態にしたいのですか？)					②		
	児童生徒等が健全に育成される。					◆成果(活動)指標(上段:計画値、下段:実績値)		
	(3)指標以外に考えられる成果					①	事業に満足(理解)した児童生徒の割合	100% 97.03%
	各施設の事業に対する満足度					②		
事業概要								
◆市内小・中学校、保育所(園)、学童保育施設において、講演や実技体験を行う場合の経費(講師謝礼、消耗品費)に対して市が支援した。 ・上限支援額:講師謝礼30千円、消耗品費10千円 ◆教育に新聞を教材として用いるNIE(Newspaper In Education＝教育に新聞を)事業を実施し、児童が活字に触れる機会を創出した。								
【事業評価】 振り返り結果から見た改革改善策の具体的内容								
改革改善の内容		☐ (1)目的妥当性 ☐ (2)有効性 ☐ (3)効率性 ☐ (4)公正・公平性 ☐ (5)市民協働						

事務事業名	生涯学習推進事業	
基本目標	3	心身ともに健康で、活力に満ちたまちづくり
施策	13	心豊かな人生を送る学習機会の充実

所管課	文化スポーツ課
決算額(千円)	200

一般会計			款	10	教育費	項	05	社会教育費
目	01	社会教育総務費		事業	000700	生涯学習推進事業		
事務事業の目的	(1)対象(誰、何に対して事業を行うのですか?)					◆対象指標(上段:予算要求時点、下段:決算時点)		
	市民					①	人口	23,581人 22,949人
	(2)意図(この事業により対象をどのような状態にしたいのですか?)					②		
	生涯学習に関心・意欲を持つ。					◆成果(活動)指標(上段:計画値、下段:実績値)		
	(3)指標以外に考えられる成果					①	事業への参加人数	200人 1,173人
						②	まちづくり出前講座開催数	20回 43回
事業概要								
◆市民の生涯学習への関心・意欲を高めるため、生涯学習推進大会を市PTA連絡協議会研修会と合同開催するとともに、市民向けに広く学習機会の情報提供を行った。 ◆まちづくり出前講座を実施し、市民が市の施策・事業について知識を深める場を創出した。								
【事業評価】 振り返り結果から見た改革改善策の具体的内容								
改革改善の内容		☐ (1)目的妥当性 ☐ (2)有効性 ☐ (3)効率性 ☐ (4)公正・公平性 ☐ (5)市民協働						

令和 6 年度 主要事業実績報告書

事務事業名	教育振興運動推進事業	
基本目標	3	心身ともに健康で、活力に満ちたまちづくり
施策	13	心豊かな人生を送る学習機会の充実

所管課	教育総務課
決算額(千円)	3,885

一般会計			款	10	教育費	項	05	社会教育費
目	01	社会教育総務費		事業	000800	教育振興運動推進事業		
事務事業の目的	(1)対象(誰、何に対して事業を行うのですか？)					◆対象指標(上段:予算要求時点、下段:決算時点)		
	①教育振興運動に関わる5者(子ども、親、学校、地域、行政)					①	教育振興運動実践区数	9組織 9組織
	(2)意図(この事業により対象をどのような状態にしたいのですか？)					②	教育振興運動実践班数	51班 47班
	5者が協力して事業を行うことで、教育に関する課題をそれぞれが共有し、一体的に課題解決に取り組むことができる。							
	(3)指標以外に考えられる成果					◆成果(活動)指標(上段:計画値、下段:実績値)		
						①	推進大会の参加人数	250人 139人
②								
事業概要								
◆市教育振興運動推進協議会による市全域を対象とした教育振興運動を推進するとともに、実践区単位や実践班単位による実践活動の支援を行ったが、教育振興の位置づけや活動内容が学校運営協議会やコミュニティセンターなどと重複していることから組織体制や事業内容を整理し、市教育振興運動推進協議会を解散した。								
◆市単位での運動の推進 ・市教育振興運動推進協議会総会、子どもリーダー研修会、市教育振興運動推進協議会臨時総会の開催、市教育振興運動の周知、実践区・実践班の活動支援や指導者養成を行った。								
◆地域で子どもたちを育てていく体制を支援するため、各地区のコミュニティセンター職員を対象に子ども活動支援交流会を行った。								
◆リーダー養成研修「いわて希望塾」事業の参加費を負担した。								
◆三行詩を児童・生徒・市民から募集し、臨時総会にて入選者の表彰を行った。								
◆漢字検定を実施し、児童生徒市民の学習機会を確保した。								
【事業評価】 振り返り結果から見た改革改善策の具体的内容								
改革改善の内容		☐ (1)目的妥当性 ☐ (2)有効性 ☐ (3)効率性 ☐ (4)公正・公平性 ☐ (5)市民協働						

事務事業名	芸術文化振興事業	
基本目標	3	心身ともに健康で、活力に満ちたまちづくり
施策	13	心豊かな人生を送る学習機会の充実

所管課	文化スポーツ課
決算額(千円)	1,626

一般会計			款	10	教育費	項	05	社会教育費
目	01	社会教育総務費		事業	000900	芸術文化振興事業		
事務事業の目的	(1)対象(誰、何に対して事業を行うのですか？)					◆対象指標(上段:予算要求時点、下段:決算時点)		
	市民					①	人口	23,581人 22,949人
	(2)意図(この事業により対象をどのような状態にしたいのですか？)					②		
	住民が自ら文化芸術の創造、発展、継承に取り組む。					◆成果(活動)指標(上段:計画値、下段:実績値)		
	(3)指標以外に考えられる成果					①	芸術祭への来場者数	1,600人 1,588人
						②	芸術祭への出品数	1,100点 1,185点
事業概要								
◆文化芸術推進審議会を開催し市の文化芸術推進基本計画策定に向けた協議を行った。 ・委員報酬、費用弁償 ◆市内生徒(中学校1年生)を対象に青少年劇場を開催し、優れた舞台芸術の鑑賞機会を提供した。 ・負担金297千円 ◆八幡平市芸術文化協会に対して、活動費の一部を助成した。 ・補助金300千円 ◆八幡平市芸術祭実行委員会に対して助成を行った。 ・補助金900千円								
【事業評価】 振り返り結果から見た改革改善策の具体的内容								
改革改善の内容		☐ (1)目的妥当性 ☐ (2)有効性 ☐ (3)効率性 ☐ (4)公正・公平性 ☐ (5)市民協働						

令和 6 年度 主要事業実績報告書

事務事業名	文化財保護事業		
基本目標	3	心身ともに健康で、活力に満ちたまちづくり	
施策	13	心豊かな人生を送る学習機会の充実	

所管課	文化スポーツ課
決算額(千円)	4,429

一般会計			款	10	教育費	項	05	社会教育費
目	02	文化財保護費	事業	000300	文化財保護事業			
事務事業の目的	(1)対象(誰、何に対して事業を行うのですか?)					◆対象指標(上段:予算要求時点、下段:決算時点)		
	市民等に文化財の保護と継承及び啓発を図る。					①	指定文化財の数	56件
	(2)意図(この事業により対象をどのような状態にしたいのですか?)					②		56件
	市指定文化財等が良好に保護及び継承する。					◆成果(活動)指標(上段:計画値、下段:実績値)		
	(3)指標以外に考えられる成果					①	保存保護を行っている指定文化財の件数	56件
						②		56件
事業概要								
◆市内の文化財の保存・活用を図った。 ・市文化財保護審議会の開催 市内に所在する文化財の調査等を行った。 ・無形民俗文化財電子映像記録制作事業 市指定無形文化財を記録保存し、後継者育成と有効活用を図るため、撮影、編集してDVDを制作した(2団体)。 ・指定文化財保護補助金の交付 指定文化財を管理又は保存継承している個人又は団体に補助金を交付した。 ・鹿角街道刈払業務(5カ所) ◆滅失力モシカの処理を業者に委託した。 ◆二戸市と共同で運営する日本遺産奥南部漆物語推進協議会を事業主体として、地域に根差した漆文化の調査・研究を進め、保存・活用を図った。 ◆市内文化財の収蔵資料整理作業を進めた。								
【事業評価】 振り返り結果から見た改革改善策の具体的内容								
改革改善の内容		☐ (1)目的妥当性 ☐ (2)有効性 ☐ (3)効率性 ☐ (4)公正・公平性 ☐ (5)市民協働						

事務事業名	博物館管理運営事業		
基本目標	3	心身ともに健康で、活力に満ちたまちづくり	
施策	13	心豊かな人生を送る学習機会の充実	

所管課	文化スポーツ課
決算額(千円)	14,483

一般会計			款	10	教育費	項	05	社会教育費
目	02	文化財保護費	事業	000700	博物館管理運営事業			
事務事業の目的	(1)対象(誰、何に対して事業を行うのですか？)					◆対象指標(上段:予算要求時点、下段:決算時点)		
	市内、市外からの来館者					①	人口	23,581人 22,949人
	(2)意図(この事業により対象をどのような状態にしたいのですか？)					②		
	・来館者が快適に学習できる環境を整える。 ・資料を適切に管理、保存する。					◆成果(活動)指標(上段:計画値、下段:実績値)		
	(3)指標以外に考えられる成果					①	年間来館者数	1,800人 1,903人
	・保存・展示している地域の歴史文化収蔵物を市内学校等の教育の場として活用できる。 ・観光資源の一つとして、観光客の増加に寄与できる。					②	収蔵点数	2,400点 2,601点
事業概要								
【博物館本館】 ◆博物館施設の施設管理、収蔵物管理、事業運営を行った。 ・施設管理：建物及び敷地を管理 ・収蔵物管理：寄贈・寄託品の手続き、調査、登録、登録された収蔵物の整理、廃棄の手続き、処分 借受品の手続き、返却 ・事業運営：常設展、企画展、トピック展の展示及び付随する事業の開催、各種講座、講演会等の開催 【博物館分館(西根歴史民俗資料館)】 ◆寺田コミュニティセンターを管理する寺田地域振興協議会に管理運営を委託した。								
【事業評価】振り返り結果から見た改革改善策の具体的内容								
改革改善の内容		☐ (1)目的妥当性 ☐ (2)有効性 ☐ (3)効率性 ☐ (4)公正・公平性 ☐ (5)市民協働						

令和 6 年度 主要事業実績報告書

事務事業名	図書館管理事業	
基本目標	3	心身ともに健康で、活力に満ちたまちづくり
施策	13	心豊かな人生を送る学習機会の充実

所管課	図書館
決算額(千円)	34,373

一般会計		款	10	教育費	項	05	社会教育費
目	03	図書館費	事業	000300	図書館管理事業		
事務事業の目的	(1)対象(誰、何に対して事業を行うのですか?)				◆対象指標(上段:予算要求時点、下段:決算時点)		
	市民				①	人口	23,581人 22,949人
	(2)意図(この事業により対象をどのような状態にしたいのですか?)				②		
	市民への読書推進を図る。				◆成果(活動)指標(上段:計画値、下段:実績値)		
	(3)指標以外に考えられる成果				①	市民一人当たりの読書冊数	2.5冊 2.3冊
	図書館の利用促進、来館者、貸出利用者、貸出冊数、図書館ボランティアの育成、各種事業の参加者増が図られる。				②		
事業概要							
◆ボイラー缶体整備点検で補修が必要と判定された部品交換修繕を実施するなど、図書館の管理運営を行った。 ◆図書館協議会を2回開催した。 ◆図書館資料収集方針に基づき図書館資料を収集・整備し、閲覧・貸出等による利活用促進を図った。 ◆NPO法人みずくの一部業務委託契約を締結し、図書館業務の一部委託を行った。 ◆図書館システムクラウド保守業務及び同使用業務契約に基づき、図書館システムの維持管理を行った。 ◆松尾、荒屋コミセン図書室と資料の相互貸借を実施するなど、両コミセン図書室との連携を図った。							
【事業評価】 振り返り結果から見た改革改善策の具体的内容							
改革改善の内容		☐ (1)目的妥当性 ☒ (2)有効性 ☒ (3)効率性 ☒ (4)公正・公平性 ☐ (5)市民協働 有効性:新たなイベントや、過去の岩手日報閲覧システムの導入などが考えられる。 効率性・公平性:交通手段を持たない人でも利用しやすく、雨天時でも子どもが遊ぶことのできる市交流複合施設への移転に伴う相乗効果が期待される。					

事務事業名	体育振興事業	
基本目標	3	心身ともに健康で、活力に満ちたまちづくり
施策	14	スポーツ活動の推進

所管課	文化スポーツ課
決算額(千円)	38,995

一般会計		款	10	教育費	項	06	保健体育費
目	01	保健体育総務費	事業	000300	体育振興事業		
事務事業の目的	(1)対象(誰、何に対して事業を行うのですか?)				◆対象指標(上段:予算要求時点、下段:決算時点)		
	市民				①	人口	23,581人 22,949人
	(2)意図(この事業により対象をどのような状態にしたいのですか?)				②		
	・幼児から高齢者まで幅広くスポーツに親しみ、健康で明るいまちづくりを行う。 ・大会の開催により交流人口の拡大を図る。				◆成果(活動)指標(上段:計画値、下段:実績値)		
	(3)指標以外に考えられる成果				①	参加者数・利用者数	7,000人 7,323人
	各競技団体の自主事業を促進し、市民スポーツ活動の充実が図られる。児童期のスポーツ習慣の獲得により、将来にわたり継続してスポーツを実践することが期待できる。				②		
事業概要							
◆市民スポーツ振興事業を委託した(市民スポーツ大会の開催、スポーツ少年団及び競技団体の育成、国体競技等の選手・指導者の育成強化等)。 ◆ニュースポーツの普及を推進し、スポーツ教室を開催した。 ◆学校体育施設を開放し、スポーツ活動に対する支援を行った。 ◆総合型地域クラブわくわく八幡平への支援を行った。							
【事業評価】 振り返り結果から見た改革改善策の具体的内容							
改革改善の内容		☐ (1)目的妥当性 ☒ (2)有効性 ☐ (3)効率性 ☐ (4)公正・公平性 ☐ (5)市民協働 生涯スポーツに対する市民のニーズや周知方法を調査する。					

令和 6 年度 主要事業実績報告書

事務事業名	八幡平市スキー大会実行委員会		
基本目標	3	心身ともに健康で、活力に満ちたまちづくり	
施策	14	スポーツ活動の推進	

所管課	文化スポーツ課
決算額(千円)	12,073

一般会計		款	10	教育費	項	06	保健体育費
目	01	保健体育総務費	事業	000400	八幡平市スキー大会実行委員会		
事業 事業 の 目 的	(1)対象(誰、何に対して事業を行うのですか?)				◆対象指標(上段:予算要求時点、下段:決算時点)		
	スキー大会、スキー競技者				①	主管大会開催数	8大会 8大会
	(2)意図(この事業により対象をどのような状態にしたいのですか?)				②		
	地元選手の強化と冬期間の地域活性化				◆成果(活動)指標(上段:計画値、下段:実績値)		
	(3)指標以外に考えられる成果				①	選手参加者数	1,000人 1,173人
	合宿の実施及びスキー関係者が多く訪れることによる冬期間の経済効果				②	宿泊者数	1,000人 827人
事業概要							
◆八幡平市を会場に開催されるスキー大会で、市が主催又は共催する大会の実施運営に関する業務を行った。 【主管大会】 田山クロスカントリー大会、岩手県中学校スキー大会、岩手県高等学校スキー大会、岩手県スキー選手権大会、岩手県民体育大会スキー競技会、東日本バイアスロン選手権大会、田山ジュニアサマージャンプ大会、全日本学生スキー選手権大会(ジャンプ・コンバインド)							
【事業評価】 振り返り結果から見た改革改善策の具体的内容							
改革改善の内容		☐ (1)目的妥当性 ☐ (2)有効性 ☐ (3)効率性 ☐ (4)公正・公平性 ☐ (5)市民協働					

事務事業名	スポーツツーリズム推進事業		
基本目標	2	ともに学び働き、暮らし豊かなまちづくり	
施策	04	おもてなしの観光による交流人口の増加	

所管課	文化スポーツ課
決算額(千円)	2,755

一般会計		款	10	教育費	項	06	保健体育費
目	01	保健体育総務費	事業	000700	スポーツツーリズム推進事業		
事業 事業 の 目 的	(1)対象(誰、何に対して事業を行うのですか?)				◆対象指標(上段:予算要求時点、下段:決算時点)		
	スポーツ関係者(観光客)				①	合宿・大会誘致種目数	14競技 12競技
	(2)意図(この事業により対象をどのような状態にしたいのですか?)				②		
	市内施設に宿泊者数を増やす。				◆成果(活動)指標(上段:計画値、下段:実績値)		
	(3)指標以外に考えられる成果				①	スポーツ関係宿泊者数	17,900人 10,233人
	「スポーツのまち」及び「合宿地」としてのイメージが向上する。				②		
事業概要							
◆各種スポーツ大会等への支援を行った。 ①八幡平ヒルクライム(8月開催) ②あっぱりレーマラソン大会(9月開催) ◆スポーツ合宿誘致補助金 市内での宿泊を伴う合宿を行った場合に、施設利用料等の経費の一部を助成した。 ◆いわてスポーツコミッションと連携し合宿誘致等を推進した。							
【事業評価】 振り返り結果から見た改革改善策の具体的内容							
改革改善の内容		☐ (1)目的妥当性 ☒ (2)有効性 ☐ (3)効率性 ☐ (4)公正・公平性 ☐ (5)市民協働 時期や種目、種別をターゲットを絞って戦略的に事業を展開する。					

令和 6 年度 主要事業実績報告書

事務事業名	体育施設維持管理事業	
基本目標	3	心身ともに健康で、活力に満ちたまちづくり
施策	14	スポーツ活動の推進

所管課	文化スポーツ課
決算額(千円)	151,197

一般会計			款	10	教育費	項	06	保健体育費
目	02	体育施設費	事業	000300	体育施設維持管理事業			
事業 目的	(1)対象(誰、何に対して事業を行うのですか?)					◆対象指標(上段:予算要求時点、下段:決算時点)		
	①市民					①	人口	23,581人
	②施設利用者							22,949人
	(2)意図(この事業により対象をどのような状態にしたいのですか?)					②		
	利用者が安全で快適に利用できる施設・設備環境の整備を図る。							
	(3)指標以外に考えられる成果					◆成果(活動)指標(上段:計画値、下段:実績値)		
スポーツ施設利用促進と市民等利用者の健康増進が図られる。					①	利用者数	180千人	
								142千人
					②			
事業概要								
◆体育施設及び付随物品等の適正な維持管理を行った。 ◆体育施設26施設を4団体(一般社団法人八幡平市体育協会、水・木株式会社、八幡平市ライフル射撃・バイアスロン協会、平館地域振興協議会)に指定管理を行った。 ◆施設改修工事等を行った。 ・総合運動公園体育館浄化槽流動担体修繕 ・西根第一中学校屋外運動場照明施設高圧ケーブル修繕 ・矢神飛躍台スモールヒルスタート台修繕 ・総合運動公園体育館中央監視装置更新工事 ・八幡平市総合運動公園野球場グラウンド改修設計業務								
【事業評価】 振り返り結果から見た改革改善策の具体的内容								
改革改善 の内容	☐ (1)目的妥当性 ☒ (2)有効性 ☒ (3)効率性 ☐ (4)公正・公平性 ☐ (5)市民協働							
	有効性:利用者の増加に繋げるため、計画的に施設の修繕などを行い、利用しやすい環境をつくる。 効率性:老朽化した施設については廃止を検討する。また、施設改修を計画的に実施することで施設の長寿命化を図る。							

事務事業名	田山スキー場運営事業	
基本目標	3	心身ともに健康で、活力に満ちたまちづくり
施策	14	スポーツ活動の推進

所管課	田山スキー場
決算額(千円)	30,919

一般会計			款	10	教育費	項	06	保健体育費
目	03	田山スキー場費		事業	000300	田山スキー場運営事業		
事業 目的	(1)対象(誰、何に対して事業を行うのですか?)					◆対象指標(上段:予算要求時点、下段:決算時点)		
	スキー場来場者(リフト利用者)					①	営業日数	90日 89日
	(2)意図(この事業により対象をどのような状態にしたいのですか?)					②		
	安全で快適な運営(リフト運行)					◆成果(活動)指標(上段:計画値、下段:実績値)		
	(3)指標以外に考えられる成果					①	リフト不具合件数	0件 0件
	良好な運営(管理)によるリフト、施設の経年劣化の防止(耐用年数の延長)					②	利用者数	35,000人 30,356人
事業概要								
◆田山スキー場の安全で円滑な運営を図った。 ※リフト設備、圧雪車等の適切な整備による安全運行を図った。 ・第1リフト索受施設等修繕 ・圧雪車等機械の整備 ・ゲレンデの整備(下刈8.2ha)								
【事業評価】 振り返り結果から見た改革改善策の具体的内容								
改革改善 の内容		☐ (1)目的妥当性 ☐ (2)有効性 ☐ (3)効率性 ☐ (4)公正・公平性 ☐ (5)市民協働						

令和 6 年度 主要事業実績報告書

事務事業名	西根地区学校給食センター管理運営事業		
基本目標	3	心身ともに健康で、活力に満ちたまちづくり	
施策	12	地域に根ざした教育の充実	

所管課	西根地区学校給食センター
決算額(千円)	163,277

一般会計			款	10	教育費	項	06	保健体育費
目	04	学校給食費	事業	000300	学校給食事業			
事務事業の目的	(1)対象(誰、何に対して事業を行うのですか?)					◆対象指標(上段:予算要求時点、下段:決算時点)		
	西根、松尾地区小中学校の児童生徒・教職員					①	対象者数(児童生徒、教職員等)	1,346人 1,411人
	(2)意図(この事業により対象をどのような状態にしたいのですか?)					②		
	安心安全な学校給食を提供する。					◆成果(活動)指標(上段:計画値、下段:実績値)		
	(3)指標以外に考えられる成果					①	給食日数	172日 203日
	・良好な給食運営を長期的に維持することにより、成長期にある児童生徒の心身の健全な育成と、基礎体力の向上が図られる。 ・計画的な食の指導により、児童・生徒が発達段階に応じた自らの健康管理に努める。					②	提供する給食数	235,550食 229,968食
事業概要								
◆学校給食法に基づく安全で安心な学校給食を提供するため、給食センターの運営、施設設備の維持及び衛生管理を行うとともに、各学校において食に関する指導を行った。 【給食センター運営事務】 西根・松尾地区の小中学校11校に年間229,968食の給食を提供した。 ・正職員(人件費別事業)2名、学校栄養教諭(県費負担)2名、委託業者(調理・配送)21名 ・調理業務等を委託 【給食配送車管理事務】 学校給食の安定提供を図るため、配送車の維持管理。 【施設保守改修事務】 学校給食衛生管理基準に基づき施設を良好に維持し、適正な給食調理の実施。 ・給食センター施設の保守 ・高圧ケーブル更新 【調理機械等管理事務】 衛生管理基準を遵守し、調理機器の破損による事故(異物混入、欠品等)の発生を防ぎ、計画的な機器の修繕・更新。 ・ガス回転釜更新 ・給食用食器(角仕切皿)更新								
【事業評価】 振り返り結果から見た改革改善策の具体的内容								
改革改善の内容		☐ (1)目的妥当性 ☐ (2)有効性 ☐ (3)効率性 ☐ (4)公正・公平性 ☐ (5)市民協働						

事務事業名	安代地区学校給食センター管理運営事業		
基本目標	3	心身ともに健康で、活力に満ちたまちづくり	
施策	12	地域に根ざした教育の充実	

所管課	安代地区学校給食センター
決算額(千円)	55,097

一般会計			款	10	教育費	項	06	保健体育費
目	04	学校給食費	事業	000300	学校給食事業			
事務事業の目的	(1)対象(誰、何に対して事業を行うのですか？)					◆対象指標(上段:予算要求時点、下段:決算時点)		
	安代地区小・中学校の児童生徒					①	対象者(児童生徒、教職員等)	209人 224人
	(2)意図(この事業により対象をどのような状態にしたいのですか？)					②		
	安心安全な学校給食を安定して提供する。					◆成果(活動)指標(上段:計画値、下段:実績値)		
	(3)指標以外に考えられる成果					①	給食日数	175日 175日
	・良好な給食運営を長期的に維持することにより、成長期にある児童生徒の心身の健全な育成と基礎体力の向上が図られる。 ・計画的な食の指導により、児童生徒が発達段階に応じた健康管理に努める。					②	提供する給食数	36,575食 35,213食
事業概要								
◆学校給食法に基づく安全で安心な学校給食を提供するため、給食センターの運営、施設設備の維持及び衛生管理を行うとともに、各学校において食に関する指導を行った。 【給食センター運営事務】 安代地区の小・中学校3校等に約209食の給食を調理・提供し、施設・設備の管理及び衛生管理を行った。 ・正職員(人件費別事業)1名、学校栄養教諭(県費負担)1名、委託業者(調理・配送)8名 ・調理等業務を委託 【給食配送車管理事務】 学校給食の安定提供を図るため、配送車の維持管理を行った。 【施設設備等管理事務】 学校給食衛生管理基準に基づき施設設備等を保守点検し、適宜、更新を行い、適正に給食調理を行った。 【調理機械等管理事務】 衛生管理基準を順守し、調理機器の破損等による事故(異物混入、欠品等)を防ぎ、計画的に機器を修理・更新した。 給湯器改修工事 繰越明許19,803千円(内訳 手数料3千円 工事請負費19,800千円)								
【事業評価】 振り返り結果から見た改革改善策の具体的内容								
改革改善の内容		☐ (1)目的妥当性 ☐ (2)有効性 ☐ (3)効率性 ☐ (4)公正・公平性 ☐ (5)市民協働						

その他の事業の成果について

関連する事務事業名	小学校管理事業						
成果の内容	小学校の状況 学級数及び児童数 (単位：学級、人)						
	学校名	令和 5 年度		令和 6 年度		増 減	
		学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数
	大更小学校	12	361	12	351	0	▲10
	田頭小学校	5	50	5	53	0	3
	平笠小学校	3	36	4	34	1	▲2
	平舘小学校	6	89	6	88	0	▲1
	寺田小学校	5	44	4	42	▲1	▲2
	松野小学校	6	86	6	76	0	▲10
	寄木小学校	6	71	5	62	▲1	▲9
	柏台小学校	3	32	3	34	0	2
	安代小学校	6	95	6	87	0	▲8
	田山小学校	3	22	3	21	0	▲1
	合 計	55	886	54	848	▲1	▲38
	※学級数、児童数は、各年 5 月 1 日現在						

関連する事務事業名	中学校管理事業						
成果の内容	中学校の状況 学級数及び生徒数 (単位：学級、人)						
	学校名	令和 5 年度		令和 6 年度		増 減	
		学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数
	西根中学校	7	212	8	221	1	9
	西根第一中学校	4	91	4	73	0	▲18
	松尾中学校	4	101	5	115	1	14
	安代中学校	3	47	3	47	0	0
	合 計	18	451	20	456	2	5
	※学級数、生徒数は、各年 5 月 1 日現在						

関連する事務事業名	図書館管理事業				
成果の内容	利用状況				
	(1) 来館者及び貸出利用者等調				
	施設名	開館日数	来館者数	貸出利用者数	貸出点数
	市立図書館	292	14, 251	11, 154	46, 174
	松尾コミセン図書室	316	1, 235	1, 235	6, 836
	荒屋コミセン図書室	321	1, 020	1, 020	4, 640
	合 計		16, 506	13, 409	57, 650
	(2) 図書購入等調				
	施設名	前年度末蔵書数	図書購入等	図書等廃棄	蔵書数
	市立図書館	55, 111	1, 326	2, 356	54, 081
	松尾コミセン図書室	14, 943	229	1, 023	14, 149
	荒屋コミセン図書室	15, 950	266	251	15, 965
	合 計	86, 004	1, 821	3, 630	84, 195
	(3) 移動図書館運行等調				
	施設名	移動図書館の利用状況			
運行日数		貸出利用者数	貸出点数		
松尾コミセン図書室	24	215	3, 211		
荒屋コミセン図書室	32	363	2, 086		
合 計		578	5, 297		

関連する事務事業名	体育振興事業			
成果の内容	広域大会			
	事業名	開催日	会場	参加者数
	八幡平CUPタグラグビー大会	8/4	市ラグビー場	13チーム 87人
	東北小中学生相撲大会	9/1	松尾相撲場	235人
	盛岡広域ゲートボール大会	9/11	アリーナまつお	10チーム 54人
	八幡平カップグラウンド・ゴルフ大会	9/19	松尾総合運動公園	158人
	八幡平市パークゴルフ選手権大会	10/15	田山グラウンド	65人
	北東北学童ジャンプ大会	2/2	矢神飛躍台	11人
	八幡平CUPオープンテニス大会	2/23	アリーナまつお	12チーム 77人
	市民大会			
	事業名	開催日	会場	参加者数
	市民卓球大会	4/27	総合運動公園体育館	39人
	市民健康マラソン大会	5/12	安代地区体育館周辺	100人
	市民春季ゴルフ大会	5/26	南部富士カントリークラブ	40人
	市長杯ゲートボール大会	6/5	アリーナまつお	6チーム 29人
	市民パークゴルフ大会	7/15	総合運動公園特設パークゴルフコース	53人
	市民グラウンド・ゴルフ大会	7/24	松尾総合運動公園	128人
	市民ソフトテニス大会	7/28	アリーナまつお	99人
	市民バドミントン大会	9/7	松尾コミュニティセンター	16人
	市民三ツ石登山大会	9/15	三ツ石山	16人
	市長杯争奪市民野球大会	10/13	総合運動公園野球場	6チーム 75人
	市民フットサル大会	12/8	アリーナまつお	7チーム 64人
	市民ソフトバレーボール大会	1/19	総合運動公園体育館	10チーム 50人
	三ヶ田杯市ジュニアスキー選手権大会兼安代地区小中学生スキー大会	2/8	田山スキー場ほか	176人
	市民大会（地区大会）			
	事業名	開催日	会場	参加者数
	市男女混合バレーボール大会	11/10	総合運動公園体育館	12チーム 87人
	市ナイトビッチボール大会	11/13, 15	安代地区体育館	7チーム 53人
	市小学生フットサル大会	11/16	アリーナまつお	8チーム 58人
	松尾地区スキー大会	2/1	八幡平リゾート パノラマスキー場ほか	97人

関連する事務事業名	体育施設維持管理事業					
成果の内容	各体育施設の利用状況 (単位：件、人)					
	施設名		令和5年度 利用件数 利用者数	令和6年度 利用件数 利用者数		
	西根地区体育館 ※1		0	0	0	0
	三ツ森グラウンド		44	1,019	36	1,027
	総合運動公園 多目的運動広場		23	2,617	22	2,715
	総合運動公園野球場		68	10,551	66	6,910
	総合運動公園体育館		754	21,029	784	21,440
	平舘ふれあい広場テニスコート		292	2,300	389	3,159
	西根相撲練習場 ※2		0	0	0	0
	松尾テニスコート		224	2,237	304	2,235
	松尾相撲場		8	915	2	450
	松尾柔剣道場		95	1,175	138	1,553
	松尾B&G海洋センター		100	2,873	129	2,893
	松尾総合運動公園 多目的運動場		37	11,386	47	12,075
	松尾総合運動公園 多目的屋内運動場		1,787	24,188	1,950	27,043
	安代グラウンド		0	0	0	0
	矢神飛躍台		18	683	32	1,775
	田山グラウンド		125	3,789	115	5,413
	矢神体育館		44	773	15	130
	田山射撃場		38	190	25	119
	田山ローラースキーコース		67	167	49	257
	安代地区体育館		338	4,976	314	4,210
	いこいの村岩手体育館		771	8,483	816	8,237
	市ラグビー場		64	9,226	59	9,138
	鬼清水球技場 ※3		12	3,320	0	0
	中山ラグビー場		35	3,328	27	3,222
	中山野球場		48	1,922	36	945
	※1 西根地区体育館は令和2年度から貸出休止 ※2 西根相撲練習場は令和3年度取り壊し ※3 鬼清水グラウンドは令和5年7月から廃止					

特 別 会 計

国民健康保険特別会計	・ ・ ・ ・ ・	99
------------	-----------	----

令和 6 年度 主要事業実績報告書

事務事業名	特定健康診査事業	
基本目標	3	心身ともに健康で、活力に満ちたまちづくり
施策	08	心も体も健やかに暮らせるまちづくり

所管課	市民課
決算額(千円)	28,221

国民健康保険特別会計		款	04	保健事業費	項	01	特定健康診査等事業費
目	01	特定健康診査等事業費	事業	000301	特定健康診査事業		
事業 事業 の 目 的	(1)対象(誰、何に対して事業を行うのですか?)				◆対象指標(上段:予算要求時点、下段:決算時点)		
	国民健康保険加入者				①	国民健康保険加入者で40歳から74歳までの者	4,800人 4,504人
	(2)意図(この事業により対象をどのような状態にしたいのですか?)				②		
	国民健康保険加入者の健康の保持増進				◆成果(活動)指標(上段:計画値、下段:実績値)		
	(3)指標以外に考えられる成果				①	特定健診受診率	50% 41.2%
	国民健康保険医療費の適正化				②		
事業概要							
◆糖尿病や高脂血症などの生活習慣病の発症や重症化の予防を目的として実施した。 ◆高齢者の医療の確保に関する法律に規定する特定健康診査は被保険者資格を有する者の内、40歳以上74歳以下の方が対象。 ◆集団健診と個別健診の方法により実施した。集団健診は、概ね市内の小中学校を単位に各地区保健推進員の協力を得ながら検診車により実施し、個別健診は八幡平市立病院、安代診療所、東八幡平病院、エールクリニック八幡平、田山診療所、ゆとりが丘クリニック、川久保病院で実施した。 ◆未受診者対策として、対象者の特性に合わせた受診勧奨通知を送付した。 ◆特定健康診査を実施した結果、基準値を超える方については、保健師等による特定保健指導を実施した。							
【事業評価】 振り返り結果から見た改革改善策の具体的内容							
改革改善の内容		☐ (1)目的妥当性 ☐ (2)有効性 ☐ (3)効率性 ☐ (4)公正・公平性 ☐ (5)市民協働					

その他の事業の成果について

関連する事務事業名	国民健康保険特別会計事業			
成果の内容	1 八幡平市国民健康保険の概要			
	(1) 年度平均被保険者数等			
	区 分		合 計	
	年度平均世帯数（国保加入世帯割合）		3,739世帯（34.8%）	
	年度平均被保険者数	一般被保険者	5,609人	
		退職被保険者等	0人	
		合計（国保加入割合）	5,609人（24.4%）	
	（再掲）介護保険第2号被保険者数		1,548人	
	(2) 年度内異動状況			
	増 加		減 少	
	転 入	316人	転 出	175人
	社 保 脱	834人	社保加入	612人
	生保廃止	3人	生保開始	10人
	出 生	6人	死 亡	59人
	後期高齢者離脱	1人	後期高齢者加入	402人
	そ の 他	32人	そ の 他	68人
	合 計	1,192人	合 計	1,326人
	2 国民健康保険税の収入状況			
	区 分	調定額(千円)	収納額(千円)	収納率(%)
	一般医療分	363,038	315,175	86.8
一般後期支援金分	116,123	101,205	87.2	
一般介護分	42,245	33,727	79.8	
退職医療分	25	25	100.0	
退職後期支援金分	8	8	100.0	
退職介護分	6	6	100.0	
計	521,447	450,149	86.3	
(千円未満を切り捨てていますので、計は一致しません。)				
3 一般被保険者に対し、次のとおり療養費を現物給付した。				
区 分		金 額	支給件数等	
一般被保険者療養給付費		1,862,149,902円	97,662 件	
	被保険者1人当たり	331,993円		
	支給件数1件当たり	19,067円		
4 一般被保険者に対し、次のとおり療養費を現金給付した。				
区 分		金 額	支給件数等	
一般被保険者療養費		9,284,083円	1,096件	
	被保険者1人当たり	1,655円		
	支給件数1件当たり	8,471円		
5 一般被保険者に対し、次のとおり高額療養費を支給した。				
区 分		金 額	支給件数等	
一般被保険者高額療養費		314,455,696円	12,568件	
	被保険者1人当たり	56,063円		
	支給件数1件当たり	25,020円		

- 6 被保険者の出産に対し、医療機関等に出産育児一時金を支給した。
4件 支給総額 2,000,000円
- 7 被保険者の死亡に対し、喪主に葬祭費を支給した。
1件 30,000円×支給件数60件=1,800,000円
- 8 医療給付費に係る国民健康保険事業費納付金を支出した。

区 分	金 額
医療給付費	493,364,137円
被保険者1人当たり	87,959円

- 9 後期高齢者支援金等に係る国民健康保険事業費納付金を支出した。

区 分	金 額
後期高齢者支援金等	185,049,556円
被保険者1人当たり	32,992円

- 10 介護納付金に係る国民健康保険事業費納付金を支出した。

区 分	金 額
介護納付金	58,381,254円
被保険者1人当たり	10,408円

公 営 企 業 会 計

水 道 事 業 会 計	・ ・ ・ ・ ・	102
下 水 道 事 業 会 計	・ ・ ・ ・ ・	106
病 院 事 業 会 計	・ ・ ・ ・ ・	111

令和 6 年度 主要事業実績報告書

事務事業名	水道施設管理システム保守及び補正等業務	
基本目標	6	社会基盤の整備と行政経営の方針
施策	20	良質な水環境の提供

所管課	上下水道課
決算額(千円)	10,980

水道事業会計(収益的支出)				款	01	上水道事業費用		項	01	営業費用		
目	01	配給水費		事業								
事務事業の目的	(1)対象(誰、何に対して事業を行うのですか？)						◆対象指標(上段:予算要求時点、下段:決算時点)					
	水道施設管路台帳等(データ)						①	管路台帳等作成延長		4km		
										4.5km		
	(2)意図(この事業により対象をどのような状態にしたいのですか？)						②					
	適時、水道施設管路台帳等(データ)の加除更新を実施することにより配水管等の水道施設を把握し、漏水事故時に迅速な対応ができるようにする。											
							◆成果(活動)指標(上段:計画値、下段:実績値)					
(3)指標以外に考えられる成果						①	漏水修繕件数(漏水事故時台帳活用件数)		20件			
									47件			
適時、水道施設管路台帳等(データ)の加除更新を実施することにより配水管等の情報が保持され、老朽管更新工事の根拠資料となる。						②						
事業概要												
◆安全な水道水を安定して供給していくために、水道施設管路台帳等(データ)の作成が欠かせない状況であり、今後においても、新規配水管及び給水管の布設工事分を管路台帳等(データ)に加除更新する必要があることから、民間に委託し整備を進めた。 ◆整備は、水道施設台帳、配水管管路補正、給水管管路補正、仕切弁及び水圧の現地調査、漏水修繕及び道路占用の情報構築、配水管系統図及び管路図の補正に区分し実施した。												
【事業評価】 振り返り結果から見た改革改善策の具体的内容												
改革改善の内容		☐ (1)目的妥当性 ☐ (2)有効性 ☐ (3)効率性 ☐ (4)公正・公平性 ☐ (5)市民協働										

事務事業名	水道施設維持管理業務	
基本目標	6	社会基盤の整備と行政経営の方針
施策	20	良質な水環境の提供

所管課	上下水道課
決算額(千円)	57,106

水道事業会計(収益的支出)			款	01	上水道事業費用		項	01	営業費用	
目	01	配給水費		事業						
事務事業の目的	(1)対象(誰、何に対して事業を行うのですか?)					◆対象指標(上段:予算要求時点、下段:決算時点)				
	市の水道施設及び使用者に供給する市水道の水質					①	水道管理施設		79施設 79施設	
	(2)意図(この事業により対象をどのような状態にしたいのですか?)					②	水道水質検査		3,255件 3,255件	
	市の水道施設について、適正な運転が保持できるよう維持管理し、良質な水道水質を確保する。					◆成果(活動)指標(上段:計画値、下段:実績値)				
	(3)指標以外に考えられる成果					①	施設修繕件数		10件 12件	
						②	水質基準超過件数		0件 0件	
事業概要										
◆水道施設の維持管理・点検を行い、水道施設の安全運営に加え異常箇所の早期発見及び修繕を行うとともに、水道水質の検査を行い、安全な水道水の安定供給を行った。										
【事業評価】 振り返り結果から見た改革改善策の具体的内容										
改革改善の内容		☐ (1)目的妥当性 ☐ (2)有効性 ☐ (3)効率性 ☐ (4)公正・公平性 ☐ (5)市民協働								

令和 6 年度 主要事業実績報告書

事務事業名	上水道事業消火栓設置・更新事業	
基本目標	6	社会基盤の整備と行政経営の方針
施策	20	良質な水環境の提供

所管課	上下水道課
決算額(千円)	819

水道事業会計(収益的支出)		款	01	上水道事業費用	項	01	営業費用
目	02	受託工事費	事業				
事務事業の目的	(1)対象(誰、何に対して事業を行うのですか?)				◆対象指標(上段:予算要求時点、下段:決算時点)		
	住民要望等により新設または更新する消火栓				①	新設要望基数	1基
							1基
	(2)意図(この事業により対象をどのような状態にしたいのですか?)				②	更新要望基数	0基
	既設の水利施設も考慮したうえで、要望に対する消火栓の新設または更新を実施する。						0基
					◆成果(活動)指標(上段:計画値、下段:実績値)		
目的	(3)指標以外に考えられる成果				①	新設基数	1基
	消防水利による消火可能範囲が増加、充実することで、火災時の消火活動が容易となる。						1基
					②	更新基数	0基
						0基	
事業概要							
◆一般会計からの受託工事収益に基づいて行う事業で、消防防災担当課への住民等要望により消火栓の新設を実施した。							
【事業評価】 振り返り結果から見た改革改善策の具体的内容							
改革改善の内容		☐ (1)目的妥当性 ☐ (2)有効性 ☐ (3)効率性 ☐ (4)公正・公平性 ☐ (5)市民協働					

事務事業名	他事業関連上水道施設移設事業(3条予算)	
基本目標	6	社会基盤の整備と行政経営の方針
施策	20	良質な水環境の提供

所管課	上下水道課
決算額(千円)	27,251

水道事業会計(収益的支出)		款	01	上水道事業費用	項	01	営業費用
目	02	受託工事費	事業				
事務事業の目的	(1)対象(誰、何に対して事業を行うのですか?)				◆対象指標(上段:予算要求時点、下段:決算時点)		
	他事業工事(道路改良事業、下水道事業等)の実施に伴い支障となる水道施設				①	移設予定延長	532m
							245m
	(2)意図(この事業により対象をどのような状態にしたいのですか?)				②		
	他事業の施行に併せ水道施設を移設する。				◆成果(活動)指標(上段:計画値、下段:実績値)		
					①	移設延長	532m
目的	(3)指標以外に考えられる成果						245m
	安全で安定した水道水の供給				②		
事業概要							
◆起因事業者からの補償費により行う事業で、起因事業者との協議により支障水道施設の移設を実施した。							
【事業評価】 振り返り結果から見た改革改善策の具体的内容							
改革改善の内容		☐ (1)目的妥当性 ☐ (2)有効性 ☐ (3)効率性 ☐ (4)公正・公平性 ☐ (5)市民協働					

令和 6 年度 主要事業実績報告書

事務事業名	他事業関連上水道施設移設事業(4条予算)	
基本目標	6	社会基盤の整備と行政経営の方針
施策	20	良質な水環境の提供

所管課	上下水道課
決算額(千円)	0

水道事業会計(資本的支出)		款	01	上水道事業資本的支出	項	01	建設改良費
目	01	配水施設費	事業				
事務事業の目的	(1)対象(誰、何に対して事業を行うのですか?)				◆対象指標(上段:予算要求時点、下段:決算時点)		
	他事業工事(道路改良事業、下水道事業等)の実施に伴い支障となる水道施設				①	移設予定延長	100m 0m
	(2)意図(この事業により対象をどのような状態にしたいのですか?)				②		
	他事業の施行に併せ水道施設を移設する。				◆成果(活動)指標(上段:計画値、下段:実績値)		
	(3)指標以外に考えられる成果				①	移設延長	100m 0m
	安全で安定した水道水の供給				②		
事業概要							
◆起因事業者からの補償費により行う事業で、起因事業者との協議により支障水道施設の移設を予定したが、実施はなかった。							
【事業評価】 振り返り結果から見た改革改善策の具体的内容							
改革改善の内容		☐ (1)目的妥当性 ☐ (2)有効性 ☐ (3)効率性 ☐ (4)公正・公平性 ☐ (5)市民協働					

事務事業名	水道施設更新事業	
基本目標	6	社会基盤の整備と行政経営の方針
施策	20	良質な水環境の提供

所管課	上下水道課
決算額(千円)	203,451

水道事業会計(資本的支出)		款	01	上水道事業資本的支出	項	01	建設改良費
目	01	配水施設費	事業				
事務事業の目的	(1)対象(誰、何に対して事業を行うのですか?)				◆対象指標(上段:予算要求時点、下段:決算時点)		
	経年または老朽化により部品調達が困難となった施設設備				①	改良または更新対象の施設設備	5施設 4施設
	(2)意図(この事業により対象をどのような状態にしたいのですか?)				②		
	改良または更新により施設の適正な維持管理が可能となる。				◆成果(活動)指標(上段:計画値、下段:実績値)		
	(3)指標以外に考えられる成果				①	改良または更新した施設設備	5施設 4施設
	安定した水道水の供給が行われる。				②		
事業概要							
◆安定給水を図るため、老朽化した上水道施設の更新及び改良を行う。また施設設備のうち老朽化が進み部品供給が停止した設備機器についても更新及び改良を行った。 ・田山配水池 ・第1配水池 ・第5配水池 ・戸沢ポンプ場							
【事業評価】 振り返り結果から見た改革改善策の具体的内容							
改革改善の内容		☐ (1)目的妥当性 ☐ (2)有効性 ☐ (3)効率性 ☐ (4)公正・公平性 ☐ (5)市民協働					

令和 6 年度 主要事業実績報告書

事務事業名	統合事業配水連絡管整備事業	
基本目標	6	社会基盤の整備と行政経営の方針
施策	20	良質な水環境の提供

所管課	上下水道課
決算額(千円)	53,559

水道事業会計(資本的支出)		款	01	上水道事業資本的支出	項	01	建設改良費
目	01	配水施設費	事業				
事業 事業 の 目的	(1)対象(誰、何に対して事業を行うのですか?)				◆対象指標(上段:予算要求時点、下段:決算時点)		
	①整備予定配水連絡管				①	配水連絡管整備予定延長	0.06km
	②栴沢地区周辺の未給水住民						0.9km
	(2)意図(この事業により対象をどのような状態にしたいのですか?)				②	栴沢地区周辺の未給水戸数	31戸
	①新小屋の沢配水池からの配水を可能にする。						31戸
	②給水が可能な状態にする。				◆成果(活動)指標(上段:計画値、下段:実績値)		
	(3)指標以外に考えられる成果				①	配水連絡管整備済延長	11.9km
	新小屋の沢配水池に小規模老朽配水池を統合することにより、水質事故や漏水事故の危険性が抑制される。また、県最終処分場整備事業に合わせ栴沢地区への配水管を整備することで未給水地区の解消が図られる。						11.2km
					②	栴沢地区周辺の未給水解消戸数	31戸
							31戸
事業概要							
◆安定した水道供給のため新小屋の沢配水池から配水連絡管を布設する。併せて老朽化した小規模配水池の統合へ向けた配水管布設を実施した。 ・大花森配水池系統統合へ向けた配水管布設工事							
【事業評価】 振り返り結果から見た改革改善策の具体的内容							
改革改善 の内容		☐ (1)目的妥当性 ☐ (2)有効性 ☐ (3)効率性 ☐ (4)公正・公平性 ☐ (5)市民協働					

令和 6 年度 主要事業実績報告書

事務事業名	公共下水道施設管理事業	
基本目標	6	社会基盤の整備と行政経営の方針
施策	20	良質な水環境の提供

所管課	上下水道課
決算額(千円)	64,026

下水道事業会計(収益的支出)		款	01	下水道事業費用	項	01	営業費用
目	01	管きよ費	02	処理場費	事業		
事業 事業 の 目的	(1)対象(誰、何に対して事業を行うのですか?)				◆対象指標(上段:予算要求時点、下段:決算時点)		
	終末処理場、マンホールポンプ				①	終末処理場	1施設 1施設
	(2)意図(この事業により対象をどのような状態にしたいのですか?)				②	マンホールポンプ	29箇所 29箇所
	・下水道施設機能の適正管理により、汚水を適切に処理する。				◆成果(活動)指標(上段:計画値、下段:実績値)		
	(3)指標以外に考えられる成果				①	放流水質基準超過回数	0回 0回
					②	機能停止回数	0回 0回
事業概要							
◆施設等の効率的な維持管理を図るため、業務を民間に委託した。 ◆西根浄化センター及びマンホールポンプの適正運転と日常管理を行った。 日常点検では、異常箇所の早期発見に努め、修繕等の適切な処置を行うことで汚水処理に重大な影響を及ぼす機器の故障を未然に防ぐとともに、施設の適正な運転管理を行った。							
【事業評価】 振り返り結果から見た改革改善策の具体的内容							
改革改善の内容		☐ (1)目的妥当性 ☐ (2)有効性 ☐ (3)効率性 ☐ (4)公正・公平性 ☐ (5)市民協働					

事務事業名	特定環境保全公共下水道施設管理事業	
基本目標	6	社会基盤の整備と行政経営の方針
施策	20	良質な水環境の提供

所管課	上下水道課
決算額(千円)	19,125

下水道事業会計(収益的支出)		款	01	下水道事業費用	項	01	営業費用
目	01	管きよ費	02	処理場費	事業		
事業 事業 の 目的	(1)対象(誰、何に対して事業を行うのですか?)				◆対象指標(上段:予算要求時点、下段:決算時点)		
	終末処理場、マンホールポンプ				①	終末処理場	1施設 1施設
	(2)意図(この事業により対象をどのような状態にしたいのですか?)				②	マンホールポンプ	5箇所 5箇所
	下水道施設の適正管理により、汚水を適切に処理する。				◆成果(活動)指標(上段:計画値、下段:実績値)		
	(3)指標以外に考えられる成果				①	放流水質基準超過回数	0回 0回
					②	機能停止回数	0回 0回
事業概要							
◆施設等の効率的な維持管理を図るため、業務を民間に委託した。 ◆安代浄化センター及びマンホールポンプの適正運転と日常管理を行った。 日常点検では、異常箇所の早期発見に努め、修繕等の適切な処置を行うことで汚水処理に重大な影響を及ぼす機器の故障を未然に防ぐとともに、施設の適正な運転管理を行った。							
【事業評価】 振り返り結果から見た改革改善策の具体的内容							
改革改善の内容		☐ (1)目的妥当性 ☐ (2)有効性 ☐ (3)効率性 ☐ (4)公正・公平性 ☐ (5)市民協働					

令和 6 年度 主要事業実績報告書

事務事業名	公共下水道整備事業	
基本目標	6	社会基盤の整備と行政経営の方針
施策	20	良質な水環境の提供

所管課	上下水道課
決算額(千円)	146,420

下水道事業会計(資本的支出)			款	01	下水道事業資本的支出		項	01	建設改良費		
目	01	管路建設費		事業							
事業 事業の 目的	(1)対象(誰、何に対して事業を行うのですか?)						◆対象指標(上段:予算要求時点、下段:決算時点)				
	大更、平館地区の公共下水道計画区域住民						①	公共下水道計画人口		7,630人	
										7,630人	
	(2)意図(この事業により対象をどのような状態にしたいのですか?)						②				
	下水道に接続するための環境整備を行う。										
	(3)指標以外に考えられる成果						◆成果(活動)指標(上段:計画値、下段:実績値)				
未処理のまま放流される生活雑排水が減少することによって、水路や河川等の水質が保全されるとともに、トイレの水洗化により衛生的で清潔な住みよい住環境づくりが図られる。						①	整備人口		6,470人		
									6,478人		
						84.9%					
事業概要											
◆生活雑排水、し尿を適切に処理し、生活環境の改善や公共用水域の水質保全を図るため、引き続き污水管渠の整備を実施した。 ・社会資本整備総合交付金により実施した。 管渠延長:655m 舗装本復旧:3,404㎡ ◆決算額内訳 ・現年 115,482千円 ・繰越 30,938千円											
【事業評価】 振り返り結果から見た改革改善策の具体的内容											
改革改善 の内容		☐ (1)目的妥当性 ☐ (2)有効性 ☐ (3)効率性 ☐ (4)公正・公平性 ☐ (5)市民協働									

事務事業名	公共下水道施設長寿命化対策事業	
基本目標	6	社会基盤の整備と行政経営の方針
施策	20	良質な水環境の提供

所管課	上下水道課
決算額(千円)	29,458

下水道事業会計(資本的支出)			款	01	下水道事業資本的支出		項	01	建設改良費	
目	01	処理場建設改良費		事業						
事業 事業の 目的	(1)対象(誰、何に対して事業を行うのですか?)						◆対象指標(上段:予算要求時点、下段:決算時点)			
	改築対象施設						①	改築対象事業数		2事業
									1事業	
	(2)意図(この事業により対象をどのような状態にしたいのですか?)						②			
	計画的な施設の改築により長寿命化を図る。						◆成果(活動)指標(上段:計画値、下段:実績値)			
	(3)指標以外に考えられる成果						①	第1期改築対象施設数		49基
	突発的な施設の大規模故障に伴う污水处理機能の停止を未然に防ぐ。								26基	
							②			
事業概要										
西根浄化センター(H16年度供用開始)及び安代浄化センター(H19年度供用開始)は供用開始から15年以上経過しており、施設の老朽化が懸念されている。持続的な下水道機能確保のため、長期的な視点で下水道施設全体の今後における老朽化の進展状況を考慮し、優先順位付けを行ったうえで施設管理を最適化していくため、八幡平市下水道ストックマネジメント計画に基づき改築を実施した。										
【事業評価】 振り返り結果から見た改革改善策の具体的内容										
改革改善 の内容		☐ (1)目的妥当性 ☐ (2)有効性 ☐ (3)効率性 ☐ (4)公正・公平性 ☐ (5)市民協働								

令和 6 年度 主要事業実績報告書

事務事業名	農業集落排水施設管理事業	
基本目標	6	社会基盤の整備と行政経営の方針
施策	20	良質な水環境の提供

所管課	上下水道課
決算額(千円)	64,953

下水道事業会計(収益的支出)		款	01	下水道事業費用	項	01	営業費用
目	01	管きよ費	02	処理場費	事業		
事務事業の目的	(1)対象(誰、何に対して事業を行うのですか?)				◆対象指標(上段:予算要求時点、下段:決算時点)		
	農業集落排水処理施設、マンホールポンプ				①	処理施設	8施設
							8施設
	(2)意図(この事業により対象をどのような状態にしたいのですか?)				②	マンホールポンプ	103箇所
	農業集落排水の水質を基準値に保ち、処理施設、マンホールポンプの機能を適正に維持管理する。						103箇所
	(3)指標以外に考えられる成果				◆成果(活動)指標(上段:計画値、下段:実績値)		
					①	放流水質基準超過回数	0回
							0回
					②	機能停止回数	0回
							0回
事業概要							
◆各施設の効率的な維持管理を図るために、業務を民間に委託した。							
◆市内全域(8地区)農業集落排水施設維持管理 一式							
・地区名:寺田、平館・寺田南、田頭・平笠、松尾、野駄、寄木、細野、田山							
【事業評価】 振り返り結果から見た改革改善策の具体的内容							
改革改善の内容	☐ (1)目的妥当性 ☐ (2)有効性 ☐ (3)効率性 ☐ (4)公正・公平性 ☐ (5)市民協働						

事務事業名	集合浄化槽施設管理事業	
基本目標	6	社会基盤の整備と行政経営の方針
施策	20	良質な水環境の提供

所管課	上下水道課
決算額(千円)	5,745

下水道事業会計(収益的支出)		款	01	下水道事業費用	項	01	営業費用
目	01	管きよ費	02	処理場費	事業		
事務事業の目的	(1)対象(誰、何に対して事業を行うのですか?)				◆対象指標(上段:予算要求時点、下段:決算時点)		
	集合浄化槽処理施設、ポンプ場				①	処理施設	3施設
							3施設
	(2)意図(この事業により対象をどのような状態にしたいのですか?)				②	ポンプ場	2箇所
	公共用水域の水質を基準値に保ち、処理施設及びポンプ場の機能を適正に維持する。						2箇所
	(3)指標以外に考えられる成果				◆成果(活動)指標(上段:計画値、下段:実績値)		
					①	放流水質基準超過回数	0回
							0回
					②	機能停止回数	0回
							0回
事業概要							
◆施設の効率的な維持管理を図るために、業務を民間に委託した。							
◆柏台地域(3地区)集合浄化槽施設維持管理 一式							
・地区名:柏台北区、柏台中区、柏台南区							
【事業評価】 振り返り結果から見た改革改善策の具体的内容							
改革改善の内容	☐ (1)目的妥当性 ☐ (2)有効性 ☐ (3)効率性 ☐ (4)公正・公平性 ☐ (5)市民協働						

令和 6 年度 主要事業実績報告書

事務事業名	農業集落排水施設機能強化対策事業	
基本目標	6	社会基盤の整備と行政経営の方針
施策	20	良質な水環境の提供

所管課	上下水道課
決算額(千円)	42,113

下水道事業会計(収益的支出)		款	01	下水道事業資本的支出	項	01	建設改良費
目	01	管路建設費	事業				
事務事業の目的	(1)対象(誰、何に対して事業を行うのですか?)				◆対象指標(上段:予算要求時点、下段:決算時点)		
	処理施設、マンホールポンプ				①	処理施設	1施設 1施設
	(2)意図(この事業により対象をどのような状態にしたいのですか?)				②	マンホールポンプ	6箇所 0箇所
	処理施設や管路施設等の老朽化した設備の機能回復を図り、正常な稼働状況の維持に努める。				◆成果(活動)指標(上段:計画値、下段:実績値)		
	(3)指標以外に考えられる成果				①	処理施設	1施設 1施設
	機能強化を行うことにより適正な維持管理が図られ、総合的に維持管理費用の平準化と計画的な修繕が図られる。				②	機能強化マンホールポンプ	6箇所 0箇所
事業概要							
◆既に供用開始して7年以上経過している農業集落排水施設の老朽化した機械設備及び電気設備を更新し、施設の機能回復を図った。 ①地区名: 寺田・平館寺田南地区 機能強化対策工事							
【事業評価】 振り返り結果から見た改革改善策の具体的内容							
改革改善の内容		☐ (1)目的妥当性 ☐ (2)有効性 ☐ (3)効率性 ☐ (4)公正・公平性 ☐ (5)市民協働					

事務事業名	市設置型浄化槽施設管理事業	
基本目標	6	社会基盤の整備と行政経営の方針
施策	20	良質な水環境の提供

所管課	上下水道課
決算額(千円)	30,366

下水道事業会計(収益的支出)		款	01	下水道事業費用	項	01	営業費用
目	01	浄化槽費	事業				
事務事業の目的	(1)対象(誰、何に対して事業を行うのですか?)				◆対象指標(上段:予算要求時点、下段:決算時点)		
	浄化槽市町村整備推進事業で設置した浄化槽と浄化槽区域で寄付を受けた浄化槽及びその使用者となる市民。				①	新規浄化槽設置基数	30基 20基
	(2)意図(この事業により対象をどのような状態にしたいのですか?)				②		
	生活雑排水とし尿処理を適切に行い、生活環境を改善することで、住みやすく清潔な住環境を整える。				◆成果(活動)指標(上段:計画値、下段:実績値)		
	(3)指標以外に考えられる成果				①	管理基数	530基 557基
	公共水域(水路・河川)の水質保全及び向上が図られる。				②		
事業概要							
◆浄化槽法に基づき、年4回の保守点検、年1回の法定検査及び清掃・汲み取りを実施し、浄化槽の機能を保持するため、維持管理を民間に委託し、適切に行った。 ◆浄化槽本体の漏水等修繕対応。							
【事業評価】 振り返り結果から見た改革改善策の具体的内容							
改革改善の内容		☐ (1)目的妥当性 ☐ (2)有効性 ☐ (3)効率性 ☐ (4)公正・公平性 ☐ (5)市民協働					

令和 6 年度 主要事業実績報告書

事務事業名	市町村設置型浄化槽整備事業	
基本目標	6	社会基盤の整備と行政経営の方針
施策	20	良質な水環境の提供

所管課	上下水道課
決算額(千円)	29,164

下水道事業会計(資本的支出)		款	01	下水道事業資本的支出	項	01	建設改良費
目	04	浄化槽整備費	事業				
事務事業の目的	(1)対象(誰、何に対して事業を行うのですか?)				◆対象指標(上段:予算要求時点、下段:決算時点)		
	公共下水道、農業集落排水区域外の市民				①	人口	23,581人 22,949人
	(2)意図(この事業により対象をどのような状態にしたいのですか?)				②	浄化槽対象区域内人口	6,013人 6,086人
	市で浄化槽を設置する。				◆成果(活動)指標(上段:計画値、下段:実績値)		
	(3)指標以外に考えられる成果				①	浄化槽設置基数	30基 19基
	未処理のまま放流される生活雑排水が減少することによって、水路や河川等の水質が保全されるとともに、トイレの水洗化により衛生的で清潔な住みよい住環境づくりが図られる。				②		
事業概要							
◆生活雑排水、し尿を適切に処理し、生活環境の改善や公共用水域の水質保全を図るため、戸別浄化槽を設置した。 ・循環型社会形成推進交付金により事業を実施した。							
【事業評価】 振り返り結果から見た改革改善策の具体的内容							
改革改善の内容	☐ (1)目的妥当性 ☐ (2)有効性 ☐ (3)効率性 ☐ (4)公正・公平性 ☐ (5)市民協働						

令和 6 年度 主要事業実績報告書

事務事業名	病院事業(医業費用)	
基本目標	3	心身ともに健康で、活力に満ちたまちづくり
施策	11	安心できる医療の充実

所管課	市立病院
決算額(千円)	1,710,322

病院事業会計			款	01	病院事業費用		項	01	医業費用	
目			事業							
事務事業の目的	(1)対象(誰、何に対して事業を行うのですか?)						◆対象指標(上段:予算要求時点、下段:決算時点)			
	市民及び市内の事業所勤務者						①	人口	23,581人 22,949人	
	(2)意図(この事業により対象をどのような状態にしたいのですか?)						②			
	安心安全な医療を提供することにより、健康が保持され、健やかな生活を送られる。						◆成果(活動)指標(上段:計画値、下段:実績値)			
	(3)指標以外に考えられる成果						①	延入院患者数	16,060人 14,981人	
	・健康診断事業を行うことで、病気の早期発見治療が可能となる。 ・訪問診療、訪問看護を行うことで、安心して自宅療養ができる。 ・介護施設等と連携した医療を行うことで、安定した入所生活が送られる。						②	延外来患者数	46,003人 46,522人	
事業概要										
【市立病院】 ◆内科、外科、小児科、整形外科・リウマチ科及び感染外来の診療を行うとともに、県立中央病院などの専門医による専門外来を実施した。 ◆県立中央病院等と連携し、人工透析治療を実施した。 ◆一般健診、企業健診の他に、保育所、小中学校、県立平館高校での健診を実施した。 ◆夜間、休日等の救急患者の診療を実施した。 ◆訪問診療、訪問看護を実施し、在宅療養を支援した。◆介護施設等と連携し、入所者の診療を実施した。 【安代診療所】 ◆内科外来及び感染外来の診療を行うとともに、往診を実施し、在宅療養を支援した。◆一般健診、企業健診の他に、小中学校の健診を実施した。 【田山診療所】 ◆内科外来及び感染外来の診療を実施した。◆一般健診、企業健診を実施した。										
【事業評価】 振り返り結果から見た改革改善策の具体的内容										
改革改善の内容	☐ (1)目的妥当性 ☒ (2)有効性 ☐ (3)効率性 ☐ (4)公正・公平性 ☐ (5)市民協働									
	八幡平市立病院経営強化プランに基づき経営効率化等の取り組みを行い、八幡平市病院事業評価委員会による点検、評価を実施する。									

事務事業名	病院事業(建設改良費)	
基本目標	3	心身ともに健康で、活力に満ちたまちづくり
施策	11	安心できる医療の充実

所管課	市立病院
決算額(千円)	60,090

病院事業会計			款	02	資本的支出		項	01	建設改良費		
目			事業								
事務事業の目的	(1)対象(誰、何に対して事業を行うのですか?)						◆対象指標(上段:予算要求時点、下段:決算時点)				
	市民及び市内の事業所勤務者						①	人口	23,581人 22,949人		
	(2)意図(この事業により対象をどのような状態にしたいのですか?)						②				
	安心安全な医療を提供することにより、健康が保持され、健やかな生活を送られる。						◆成果(活動)指標(上段:計画値、下段:実績値)				
	(3)指標以外に考えられる成果						①	延入院患者数	16,060人 14,981人		
	病院施設及び医療機器等を整備することにより、地域医療の中核施設としての機能を維持する。						②	延外来患者数	46,003人 46,522人		
事業概要											
◆施設整備費 ・田山診療所ボイラー等改修工事 ◆固定資産購入費 【市立病院】 ・内視鏡システム ・電動診察台 ・半自動血液凝固測定装置 ・解析機能付き心電図検査装置 ・ブレンダー ・冷凍庫 ・画像管理システム ・X線骨密度測定装置 【田山診療所】 ・全自動血圧計											
【事業評価】 振り返り結果から見た改革改善策の具体的内容											
改革改善の内容		☐ (1)目的妥当性 ☐ (2)有効性 ☐ (3)効率性 ☐ (4)公正・公平性 ☐ (5)市民協働									